



少女の
蜜奥
まで
捻じ
込ま
れて
……!

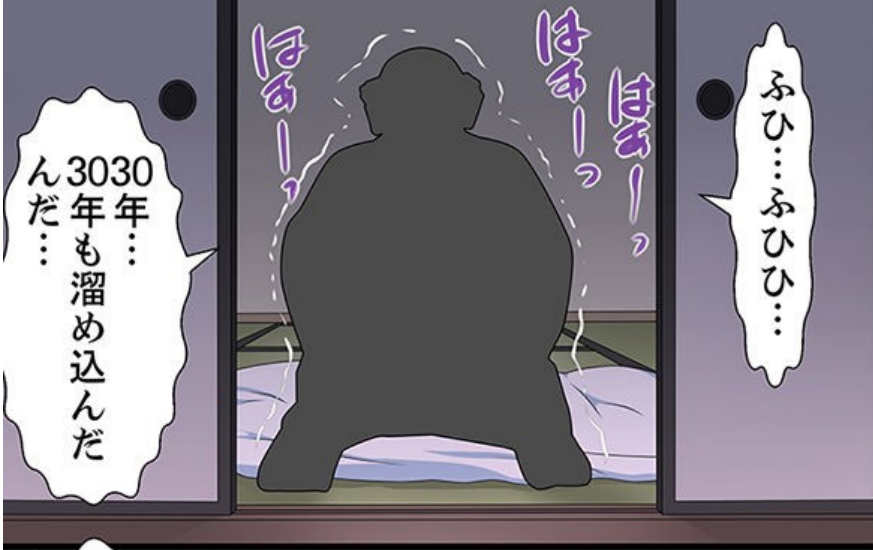
不正 復んだ 讐 セックス ①

完全版

少女の 秘部が 爺に襲われる……!



こころすけ
presented by Korosuke



3030年...
んだ...
溜め込んだ

ふひ...ふひひ...



楓ちゃん...
あんたに
罪はない...

はまーっ
はまーっ
はまーっ



いやらしい
体つきしおって...

なんちゅう乳か!!



っっ!!.....

は!!



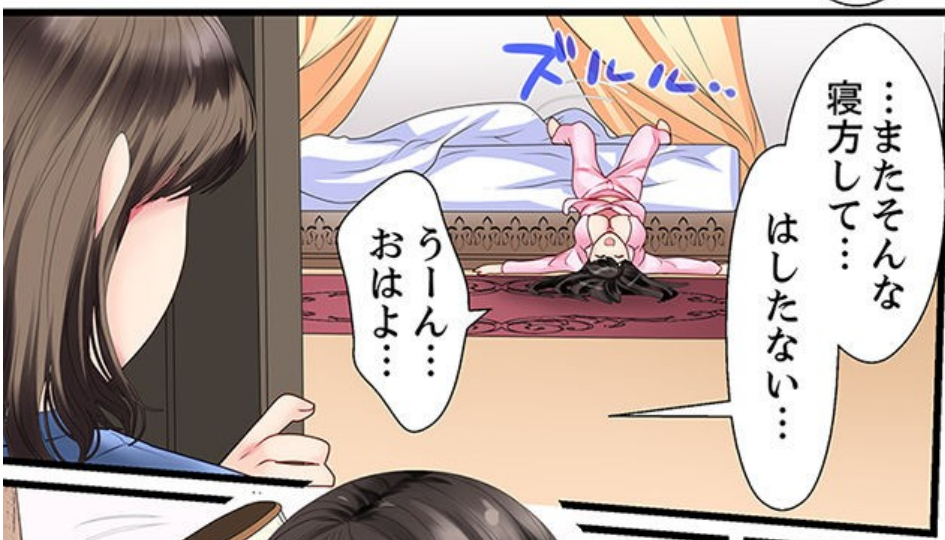
恨むならあんたの
爺様を恨みなさい...

はまーっ
はまーっ



楓朝…

楓ー…!!
楓起きなさい!!



ズルル…

うーん…
おはよ…

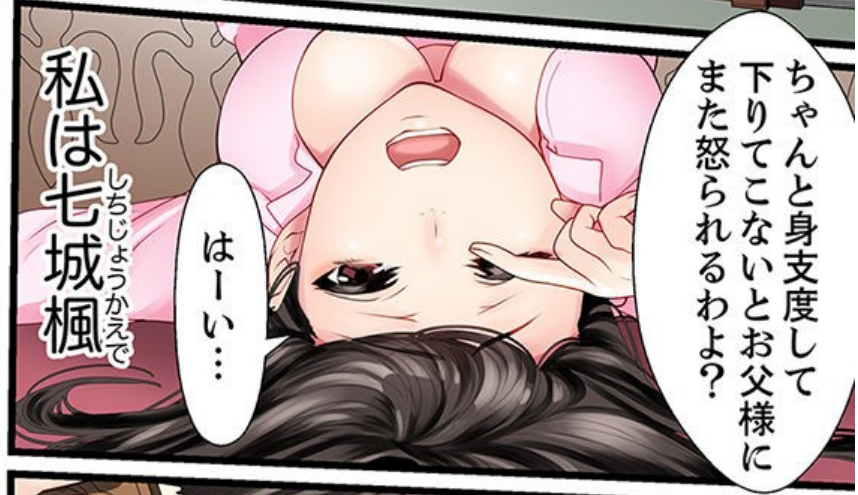
…またそんな
寝方して…
はしたない…



あーもう!
髪型キマらない!

祖父が大物の政治家で
父は脳外科医師…

そんな家柄に生まれた
一人娘…俗に言う
箱入り娘というやつだ…



私は七城楓
しちじょうかえで

はい…

ちゃんと身支度して
下りてこないとお父様に
また怒られるわよ?



フヤッ

フヤッ

とは言い難い…

なんの変哲もない
普通の女子校生…

いってきます！
おばあちゃん！

好きなものは
祖母にもらった
この古い鏡台…



そして嫌いなものは…



お嬢様としての私…

ここでは常に名家の令嬢である
自分を演じなければならぬ…



七城さんこの
問題解けますね？

はい 解答は…



素晴らしい！
正解です！

ほあ

もうこんなの
うんざり…

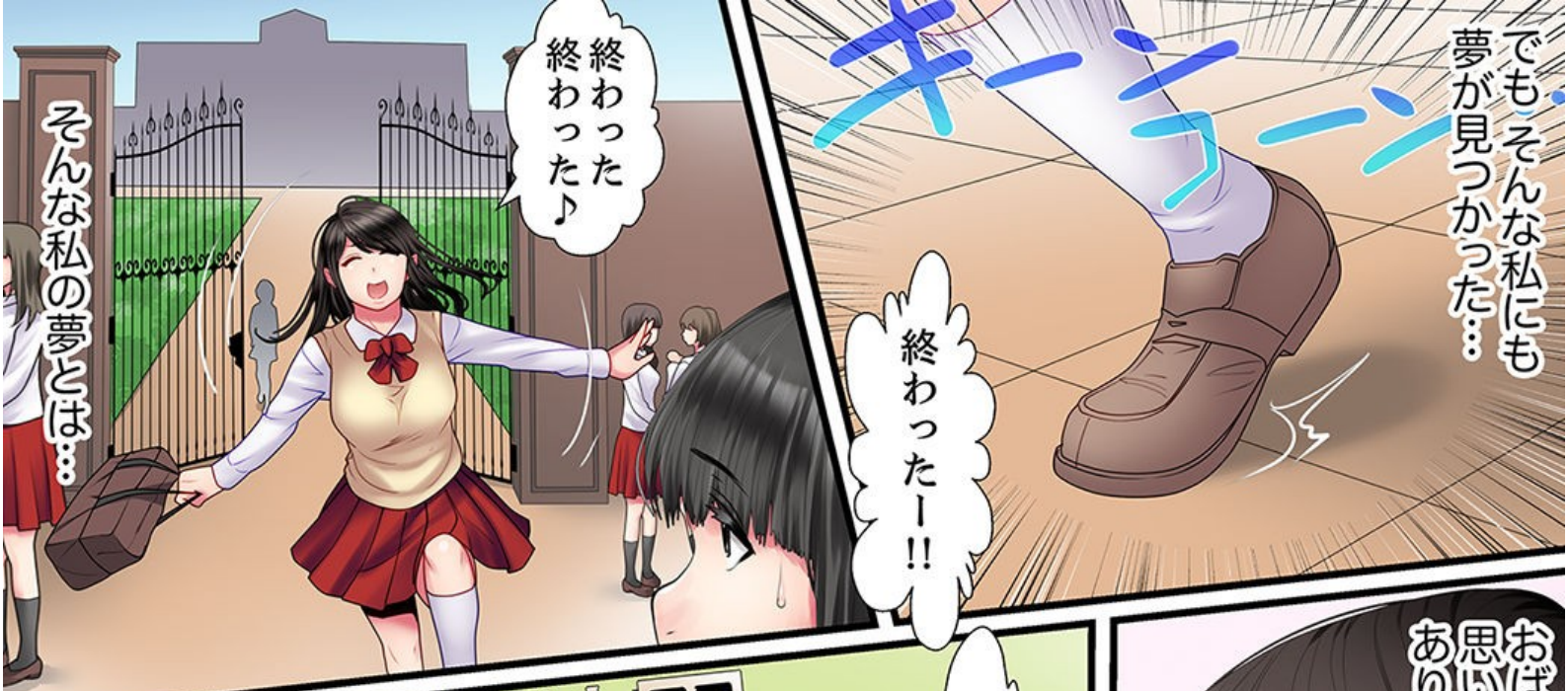


幼い頃から習い事
英才教育を受けてきた…

作法を教え込まれ
将来は七城家の
絶対的な権力者である
祖父の見込んだ人と
結婚させられる…

私の人生はもう
決まっているのだ…



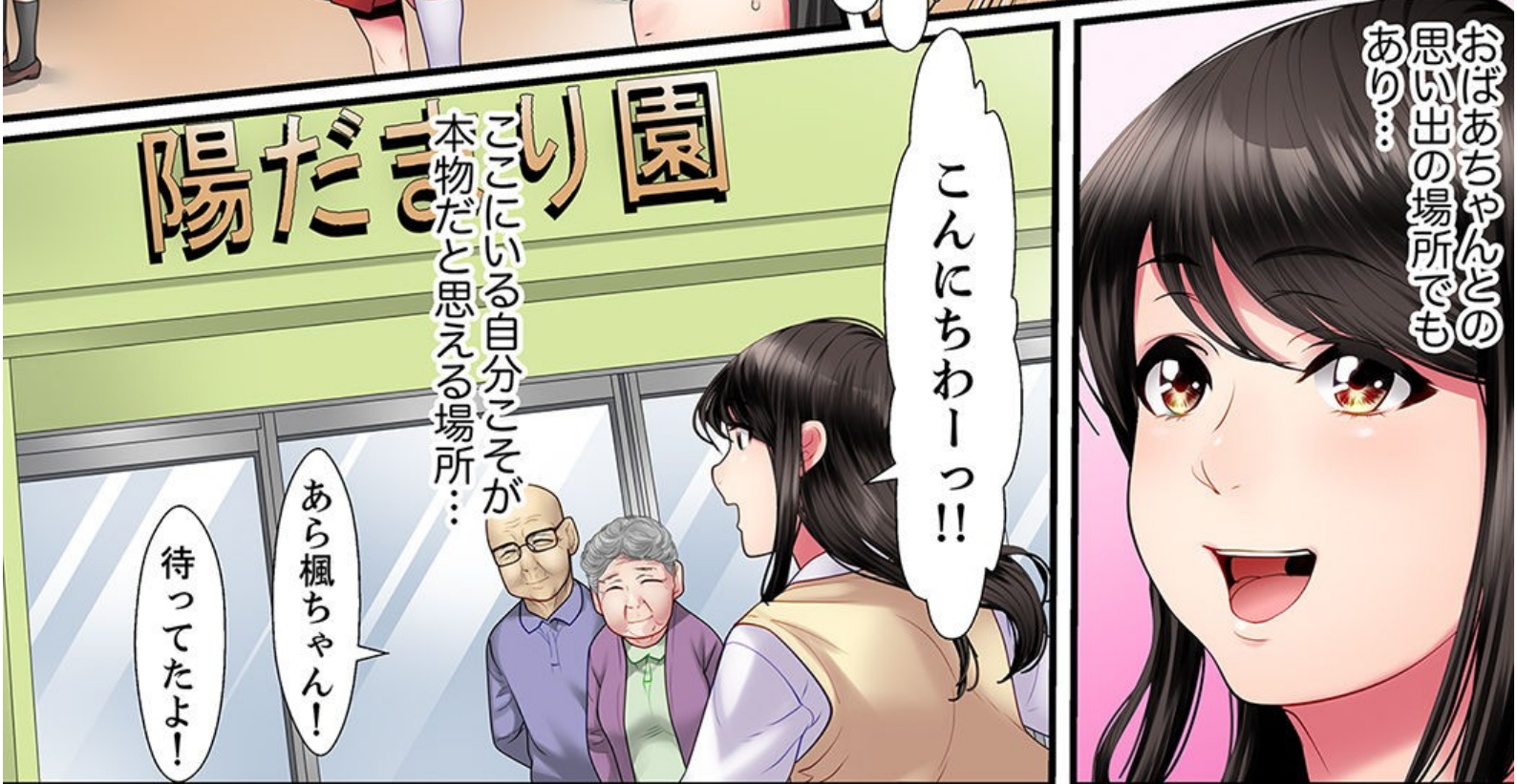


でもそんな私にも夢が見つかった！

終わったー！！

終わった
終わった♪

そんな私の夢とは…



おばあちゃんどの
思い出の場所でも
あり…

こんにちわーっ！！

園
ここに
いる
自分
こそ
が
本
物
だ
と
思
え
る
場
所
…

あら楓ちゃん！

待ってたよ！

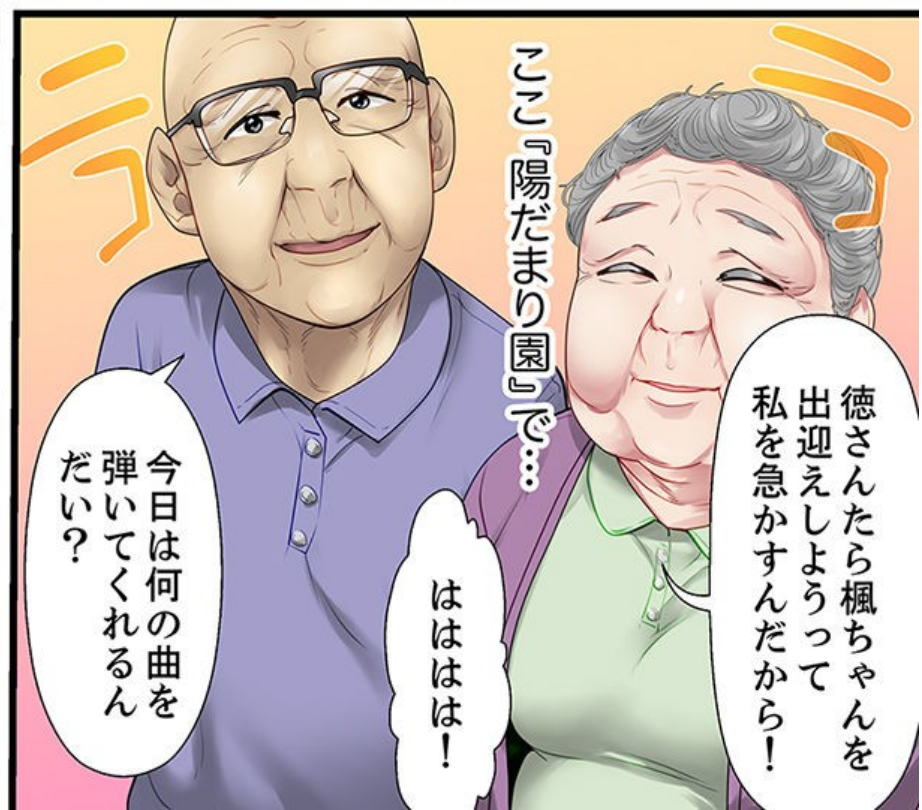


介護士として
働くこと…

今日は新曲！

徳さんの好きな
歌謡曲もやるね！

ほほほ…



ここ「陽だまり園」で…

徳さんたら楓ちゃんを
出迎えしようって
私を急かすんだから！

はははは！

今日は何の曲を
弾いてくれるん
だい？

ここに来るようになって
きっかけも祖母だった…

大好きだった
おばあちゃん…

ハロロロ

いつも私の
味方だった…

あの夜も…

お母様
起きてるかな？

ケータイの充電器
壊れたから貸して
欲しいんだけど…

お母様…

ガチャ
カイン

その夜母に借り物を
しにきた私は…

見てはならないものを見た…

ムクンママ!!

俺の立場が
わからんのか!!

きゃあっ!

親父の前で
二度とっ!!…

あっ!

俺に恥を
かかせるなっ!!

ひっさっ!!

息子なのに俺はあのクソ親父の
機嫌取りばかりさせられる…

はあ…
う…

くだらん
人生だよ!!

おらっ!!
入れてやる!!

んふろろろっ!!

セクンッ

んっ!

あっ!!

ズッ
ズッ
ズッ

ああああっ♡♡
幸人さん♡♡

…っ!!…

母は…あきらかに
暴力を受けていた…

おらっ!
これが
いいのか!?

感じるのかっ!?

ひぎいっ!!

あふろろろっ!!

ああああっ!!
もっ…もっ…
いじめて…

もっ…私を
いたぶってえ
えええっ♡♡

なのに恍惚とした
表情を浮かべている…

その時の私には
その異様な光景が
理解できず呆然と
立っていることしか
できなかった…

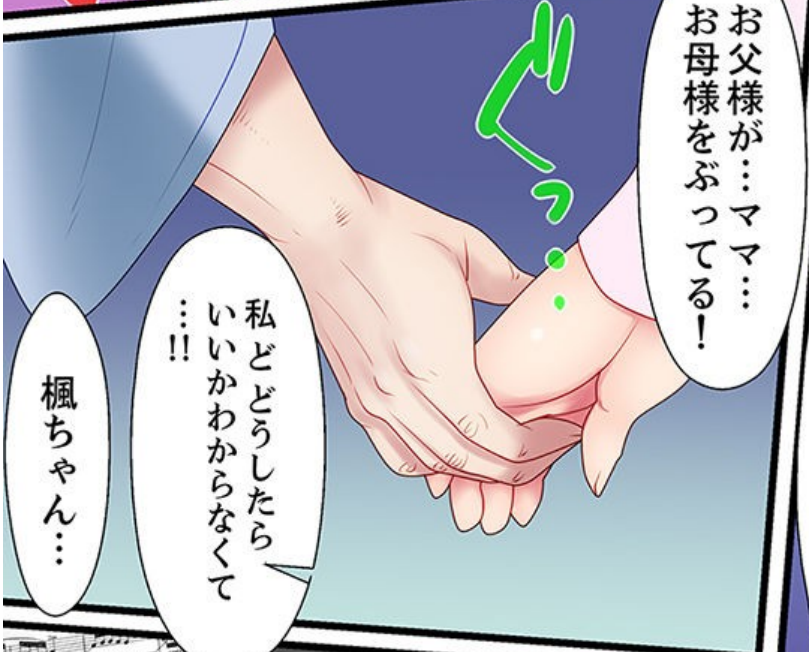
ガッ
ガッ
ガッ
グッ
グッ
グッ



来て…

あなた…♡♡♡♡

あ…♡あ…ツツ♡♡♡♡



お父様が…ママ…
お母様をぶってる！

私どろしたら
いいかわからなくて
…!!

楓ちゃん…



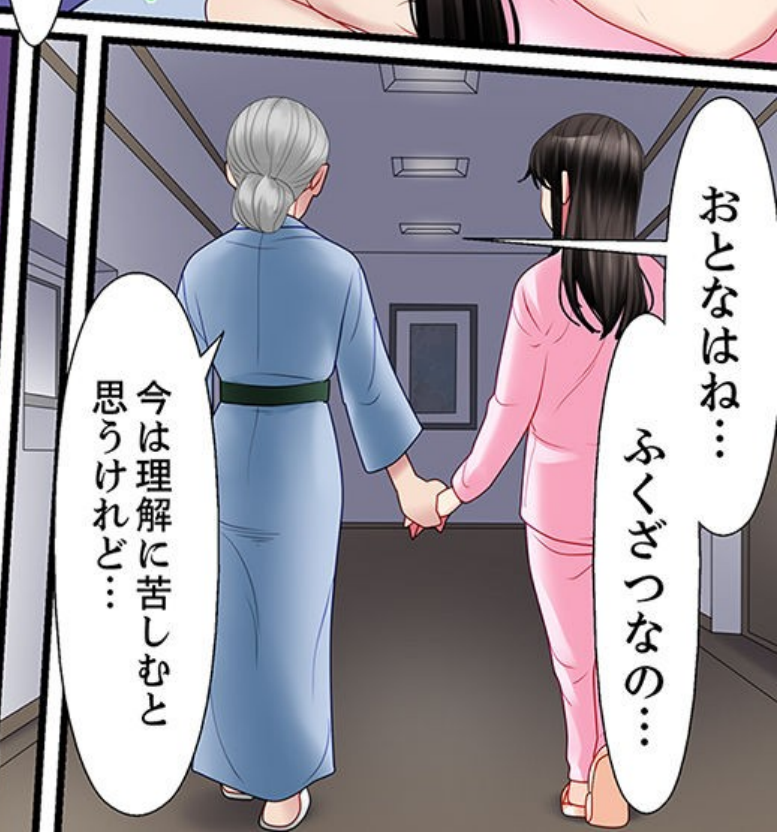
楓ちゃん…

おばあちゃん…



あんな形の愛もあると
いうことを知った
普通じゃないことはわかってる…

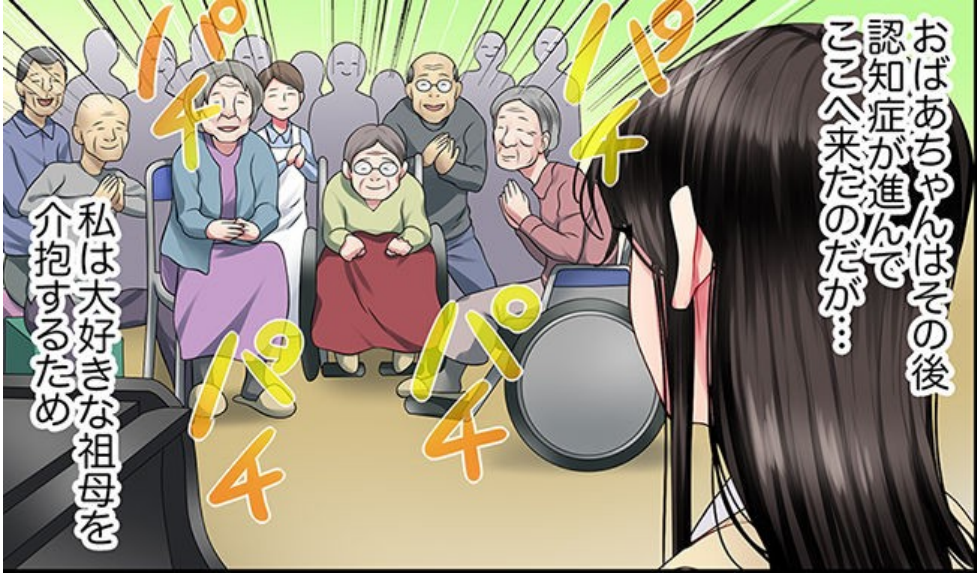
後になって…



おとなはね…

ふくざつなの…

今は理解に苦しむと
思うけれど…



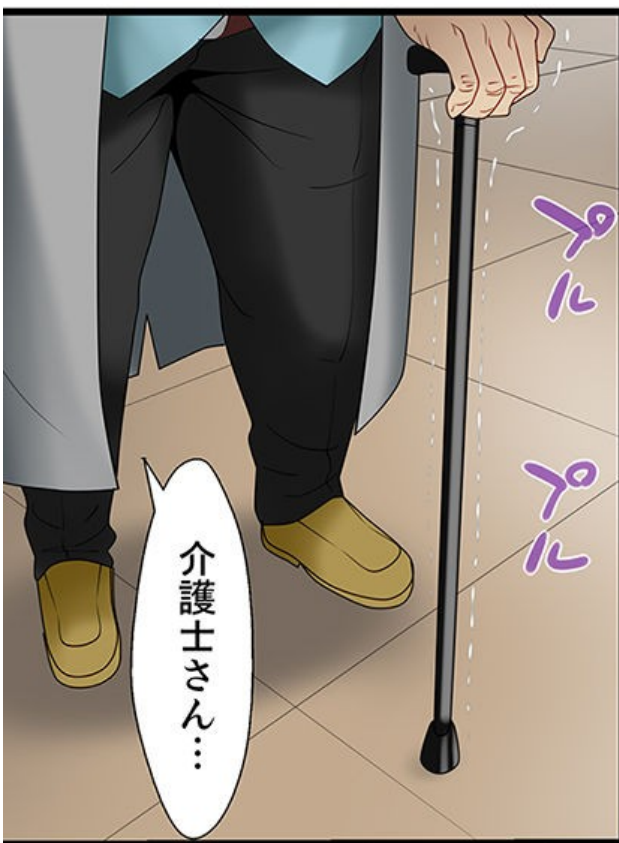
私は大好きな祖母を介抱するため

おばあちゃんはその後認知症が進んでここへ来たのだが...



でも...

おばあちゃんのおかげで私は私でいることができた...



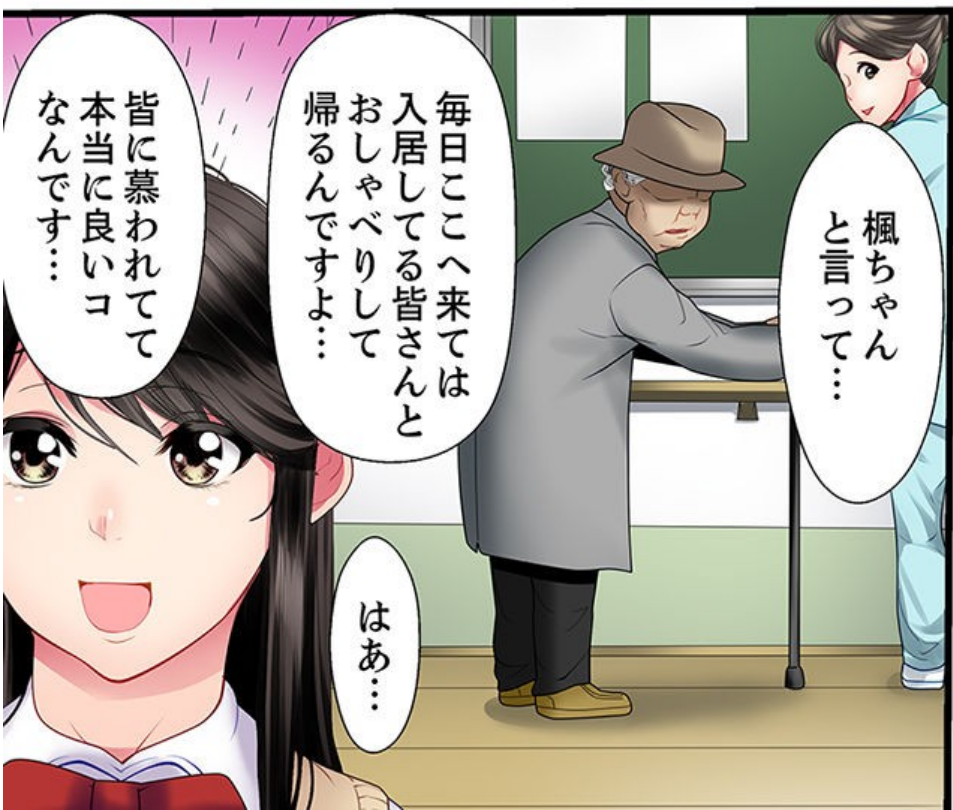
介護士さん...



足しげくこの陽だまり園に通ったのだった...

えへへ!

それがきっかけで福祉や介護への興味を持ち始めた...



毎日ここへ来ては入居してる皆さんとおしゃべりして帰るんですよ...

はあ...

皆に慕われて本当に良いコなんです...

楓ちゃんと言ってる...



はい！なんですか？

あの女の子はどなたかな？

ああ！あのコは...

ここは良いところの
ようすなあ…

気に入りました…

楓!

来てるのか?
楓!!

カッ
カッ
カッ

ふふふ!あのコは
この天使なんですよ

…?

どなたか
来られたよう
ですな…

カッ
カッ

あああはれは…

政治家の七城努
さんですよ…

楓ちゃんはその
お孫さんなんです…

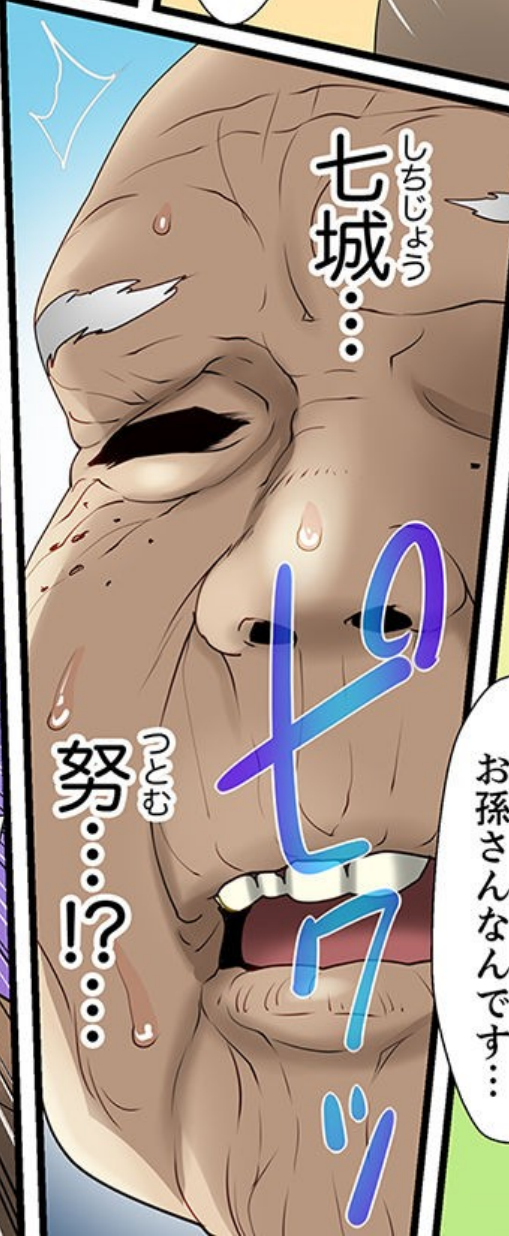
七城…
しちじょう

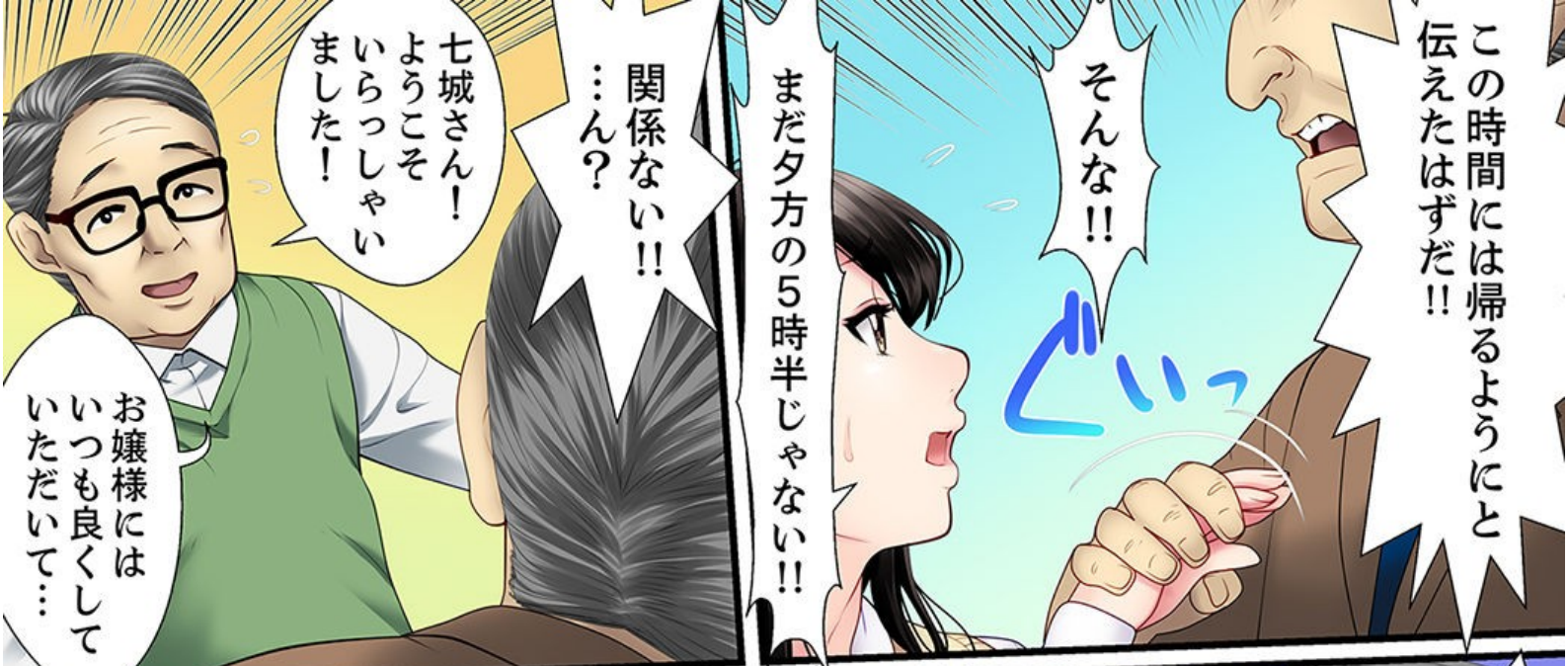
努…!?
つとむ

七
カッ
カッ
カッ

楓!!すぐに
帰るぞ!!

あの…七城努だと…!?





この時間には帰るようと
伝えたはずだ!!

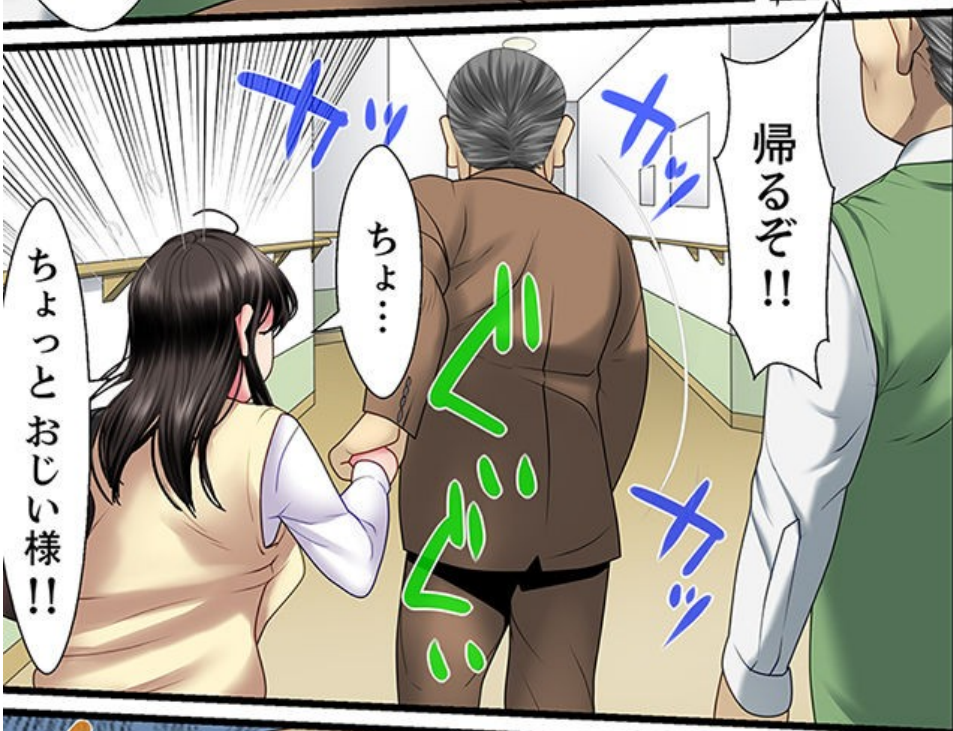
そんな!!

まだ夕方の5時半じゃない!!

関係ない!!
…ん?

七城さん!
よろこそ
いらっしやい
ました!

お嬢様には
いつも良くして
いただいて…



帰るぞ!!

ちよ…

ちよっとおじい様!!



ふん!

孫娘には17時には
帰るよう伝えて
いただけますか?

はい!
しかし…



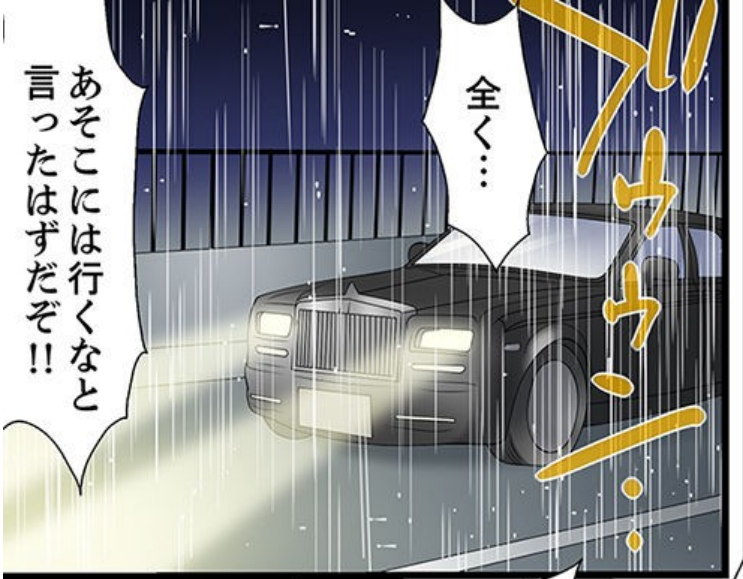
七城努…お前に
そんな可愛い孫が
いたとはね…



可愛そうに…
お手柄が厳しい
から…

何もこんなに
早く連れて
いなくても…

では私も今日はこれで…



あそこには行くなと言ったはずだぞ!!

全く...



また始まった...

お前は外で仕事などせず作法を学び気品を高めわしが認める男と結婚させる!!

そんなことは考えるな!



でも...私将来は福祉の道に...

なにをバカな...!!



大嫌いだ!!

嫌い.....



.....



好きなことはその後でもやれる!

今はわしの言うことをやれ!!

もっ...

キキッ

もう限界!!...

ばん!!

あつ!おい!!
楓何を...!!

っっ!!...

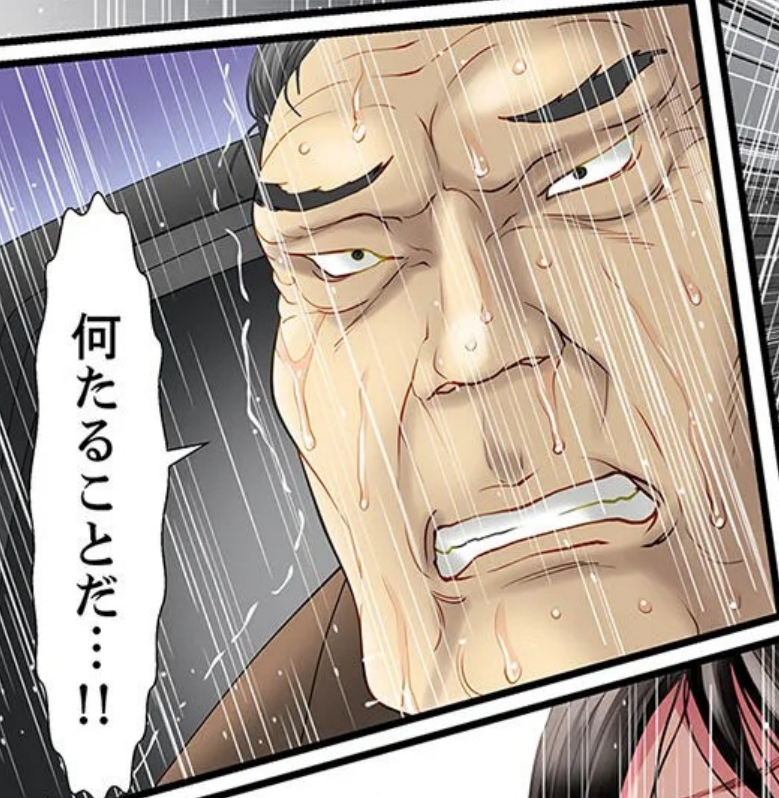


こんなの
耐えられない!!

た、た、

楓—っっ!!

何たることだ...!!



ザッパッパッ

どうしよう...

勢いで出て
きちやった...

家に帰ったら...

ただじゃすまないかも...



トボ トボ

でももう...こんな
がんじがらめの生活は嫌...

あんな家に帰るくらいなら
雨に濡れたほうがマシ...



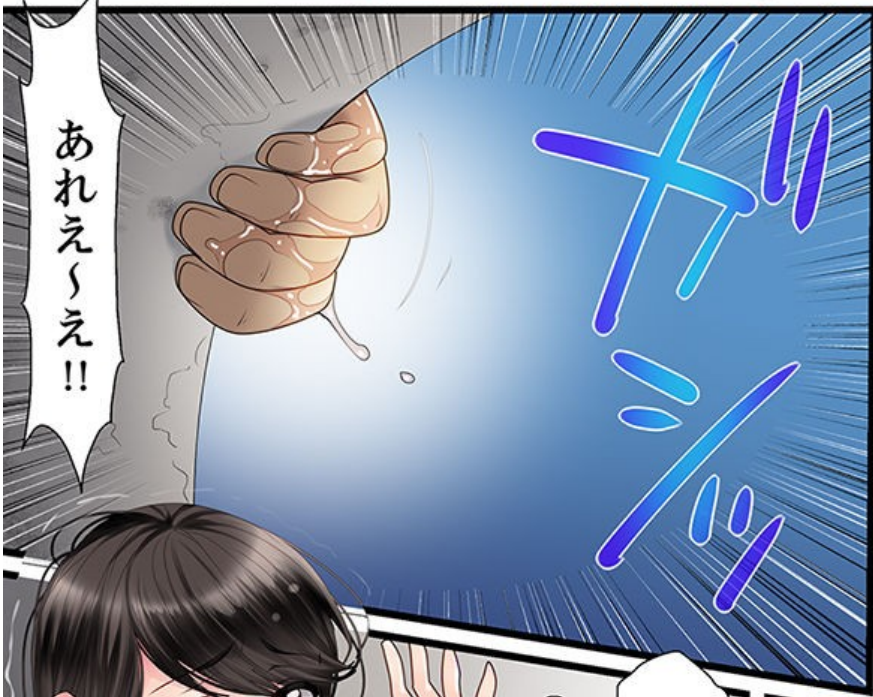


はああ…勢い余って
出てきたものの…

鞆も
車に置いてきちゃう
なんて…バカだな
私ってホント…



ザッ
アアア



ザッ
ニッ

あれえくえ!!



さすがにずぶ濡れで
ここで一晩過ごす
のもな…

これからどうしよう…



ああの…
な何でも
ありませんから…
その…おお構い
なく…

な何だこの人達…!!



ちょ待って
待って!君ここで
何してんの?

ずぶ濡れじゃん!
大丈夫!?

!!



いえあの…
本当に大丈夫
ですから…

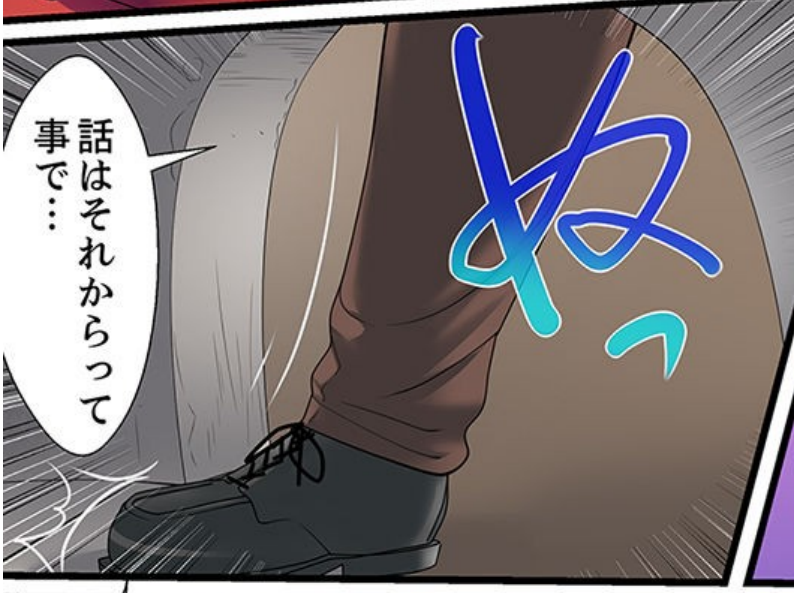
本当に…

こんなとこいたら
風邪ひいちやうよ!!

いやいやそれ
大丈夫じゃない
っしょよ!!

えっ?あの…

ビッ



話はそれからって
事で…

ぬっ



てか俺らも外
雨降ってっからさ…

とりあえず
入れてよ!

えっ!?



俺らが悩み聞いて
あげるよマジで…

どどどっしょん!!
怖い…!!

あもしかして
家出!?あるわ
俺もそういう経験!

ずぶ濡れで
震えてん
じゃん!!



えっ?
あのいや…

はいはい詰めて
詰めて!!

お邪魔しまーっす!!

ズザッ



嫌だ!!...胸触ってる!!

そういうときって
どうすればいいか
知ってる?

大丈夫
大丈夫...
楽にして...

俺らに
任せとけば
大丈夫だから...

これってまさか...

ひゃっ!!...



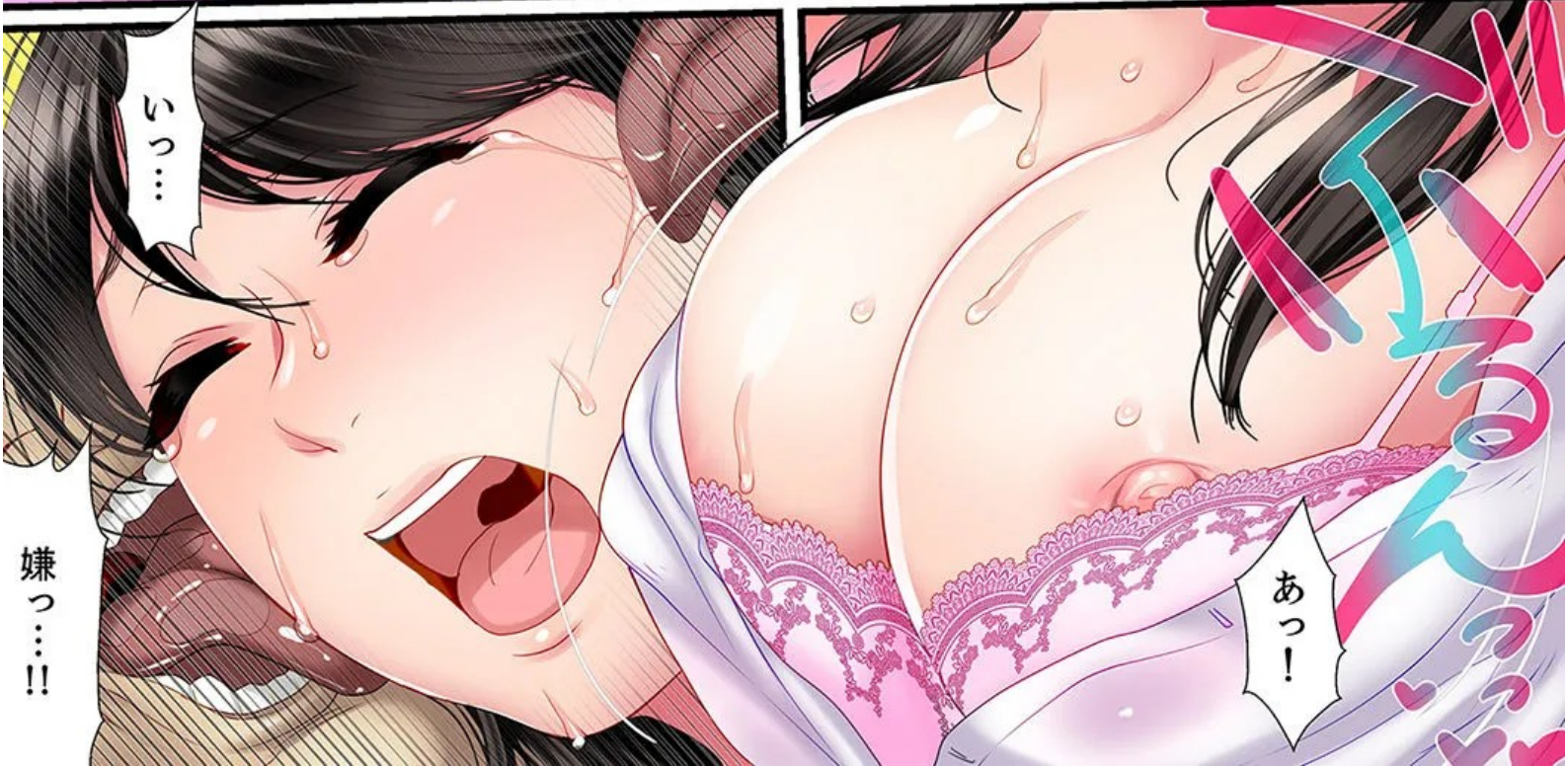
嫌ッ!!あの...!!

やめ!やめて...!!

私の事...襲おうと
してるんじゃない...!!

何してるん
ですか...

お願いやめてええっ!!



あっ!

う...

嫌っ...!!

嫌あああああつっ!!

っ誰か…!!

大丈夫だから!
騒ぐなって!

っっ!!
嫌あああつ!!

誰か助けて
ええっ!!

うはっ!
デカくね!?

ピンクとオレンジの文字

紫の文字

これ以上は…

赤い文字

俺の彼女より
胸でけーぞ!!

マジこのコ
カラダエロくね?

やだ…やだ…!!
お願いもうやめて!!

そんなとこ
触らないでええ!!

青い文字

黄色とオレンジの文字

!!!

なんだよこれ...!!

こんなすげー乳した女
見たことねーぞ!!

るるんっ♡♡♡

そんな...

痛いっ!!...

こんなので
ないよ...!!

触らないでええっ!!

あぁあぁあぁ

まだ好きな人とキスだって
したことないのに...!!

...すん

あぁあぁあぁ

...すんよ...
こんなのに...!!

あぁあぁあぁ



ひっ！広げ…

…ないでええ!!

マジやっちまうかあ?

…なあ…

こりや
すげえわ…

くひゃあああああ…



ハハッ

舐めないで
ええええっ!!

ふあああ!!



ダメ…
そんな…

そっ!!…
そんなとこ…!!

ひちやひちや



いいんじゃ
ねえか?

さっさと
済ませば…

ググググ

ヤベえよこいつマジ
たまんねえ!!

ヤラしすぎんだろ
このエロボディ!!

もう我慢できねえよ!
やっちまおうぜ!!

…っっ!!

…何?

どっしりっつと!!

いっ…
嫌ああっつ!!

やっちまおう
っつ…

放してええっつ!!

お願い!!:
それだけは
許してええっつ!!

っっ!!

それって
まさか…!!



ふはははっ!!
すげええ!!

超キレーな
マ○コしてんじゃん!!

もしかしてだけど
君処女なの?
なんかそれっぽい
けどさあ!

い嫌...見ないでエエ!!!

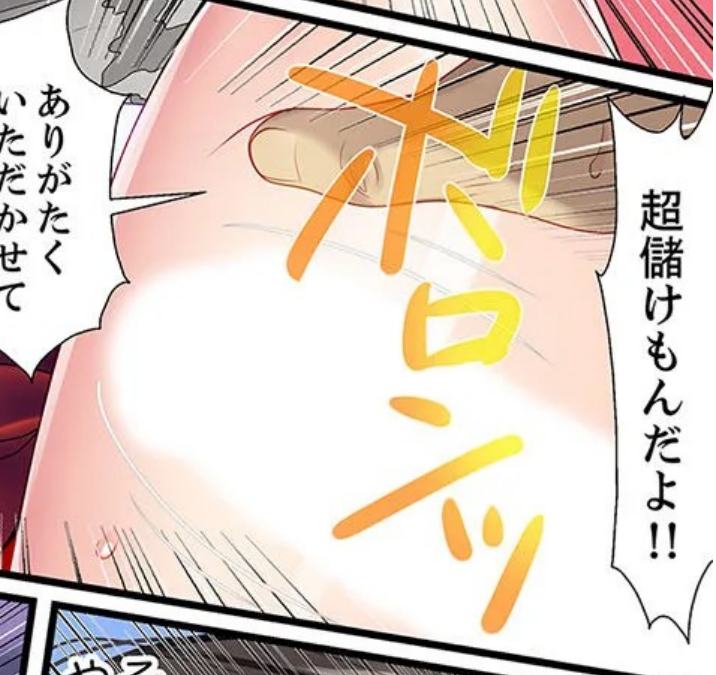
ガッ
ガッ



ありがたく
いただかせて
もらうわ!

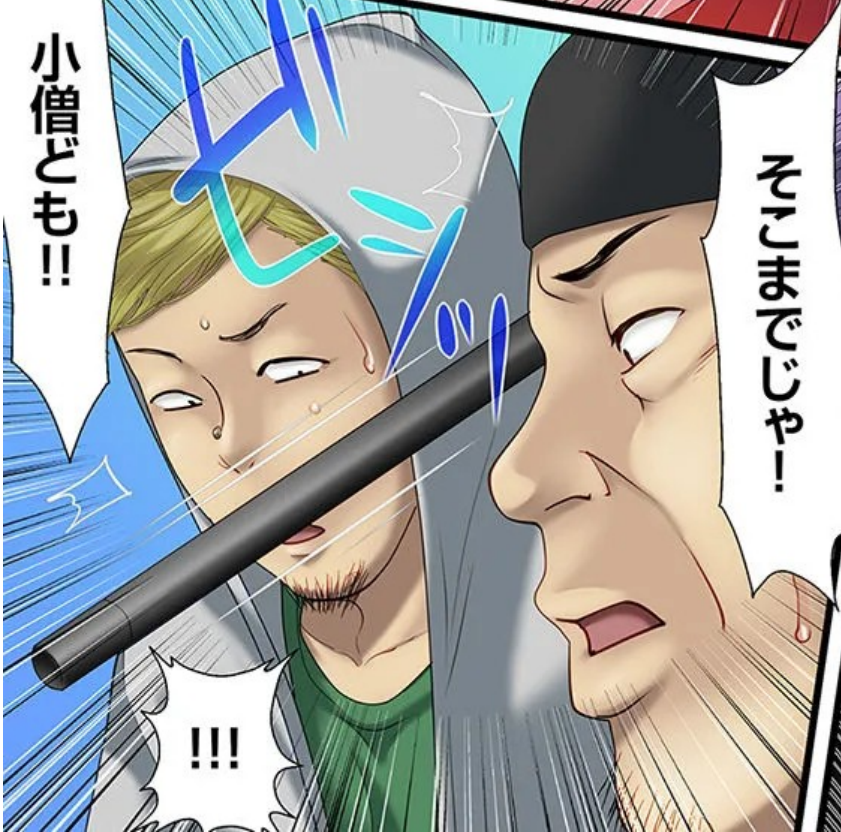
ゼッ
ゼッ

っっ!!



超儲けもんだよ!!

ホロッ
ホロッ



そいつまでじゃー!

小僧ども!!

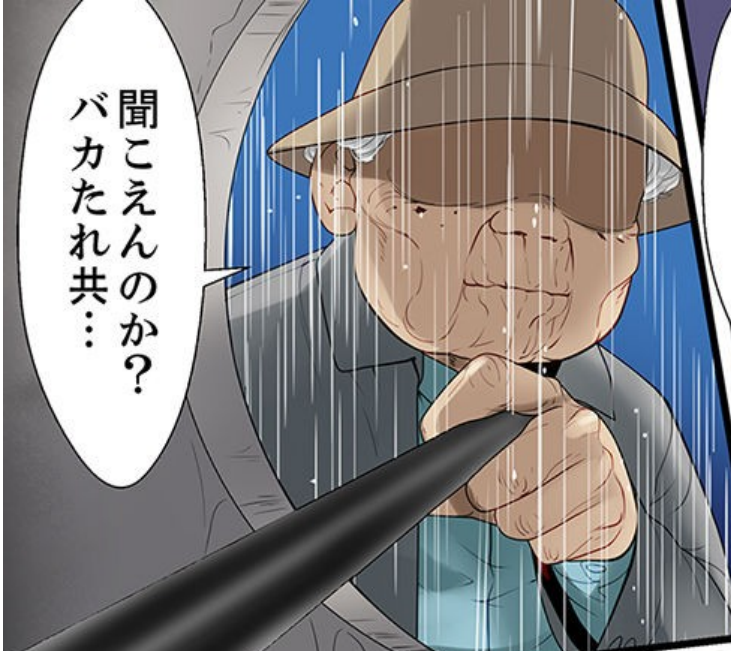
!!!



それだけは...

それだけは
やめてええええっ!!

いやあ
いやあ



聞こえんのか？
バカたれ共…



邪魔すんなよ

…!?

ああっ？



クッソマジかよ
余計な事
しやがって!!

あーあ
もったいねえ!!

クソジジイ!!

ほっほっほ…



早く逃げんと
捕まるぞ？

5分ほど前に
呼んだパトカーの
サイレンじゃ…



だが通報は
でっちあげじゃ…

あいつらが戻って
来ぬうちにここを
出よう

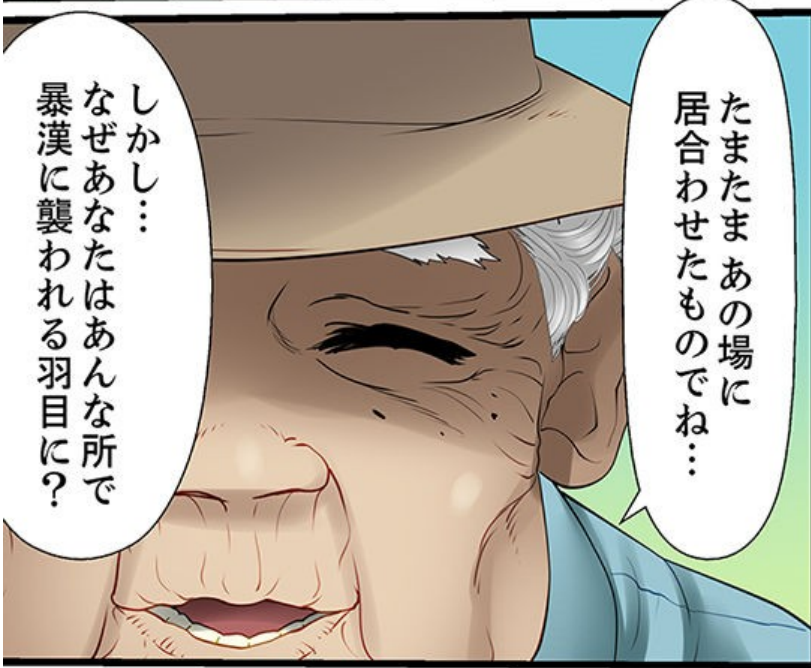
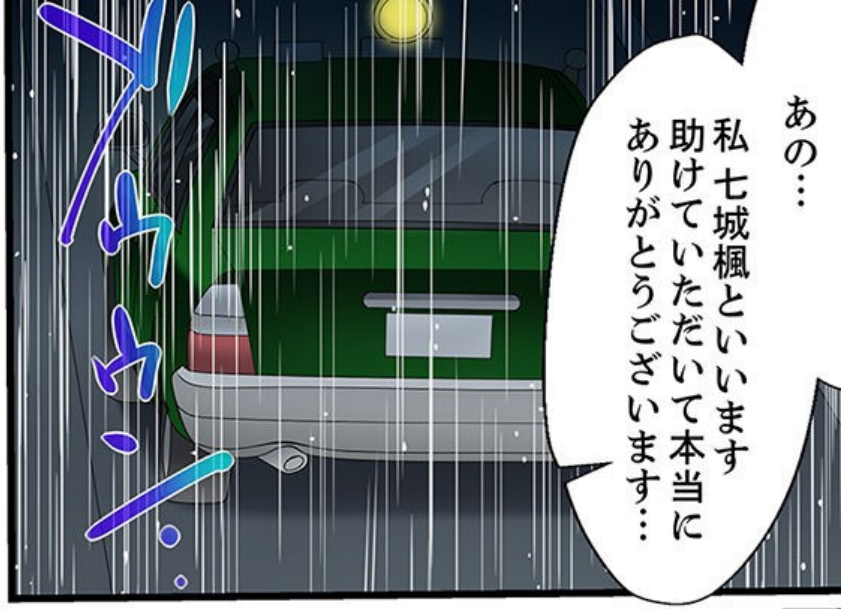
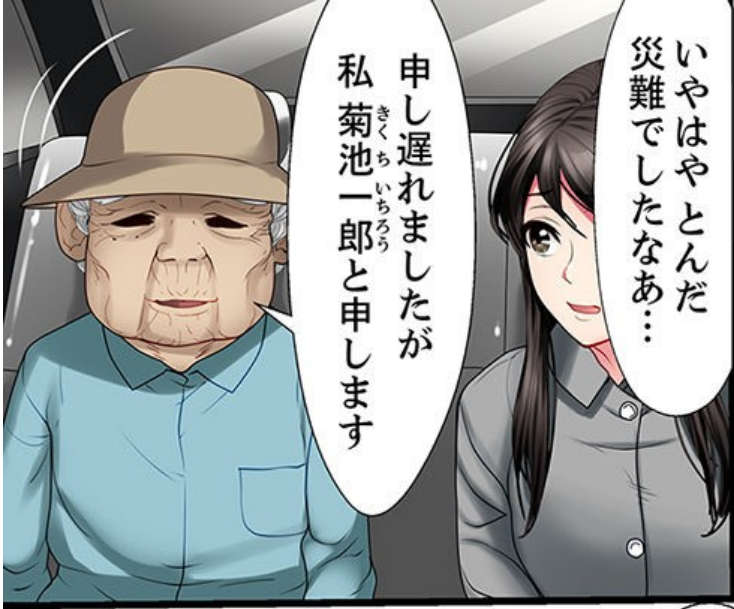
…つつ…



大丈夫かな？
御嬢さん…

もう心配は
いらん…

うっ…うっ…うっ…



私は気が付くと…

菊池さんに
何もかも話していた…

あんなことがあって
動揺したのだから…

菊池さんは静かに
話を聞いてくれた…

そしていつの間にか…

私は普段人に話せない
家族の秘密まで
話していた…

ウチの家族って
変なんです…

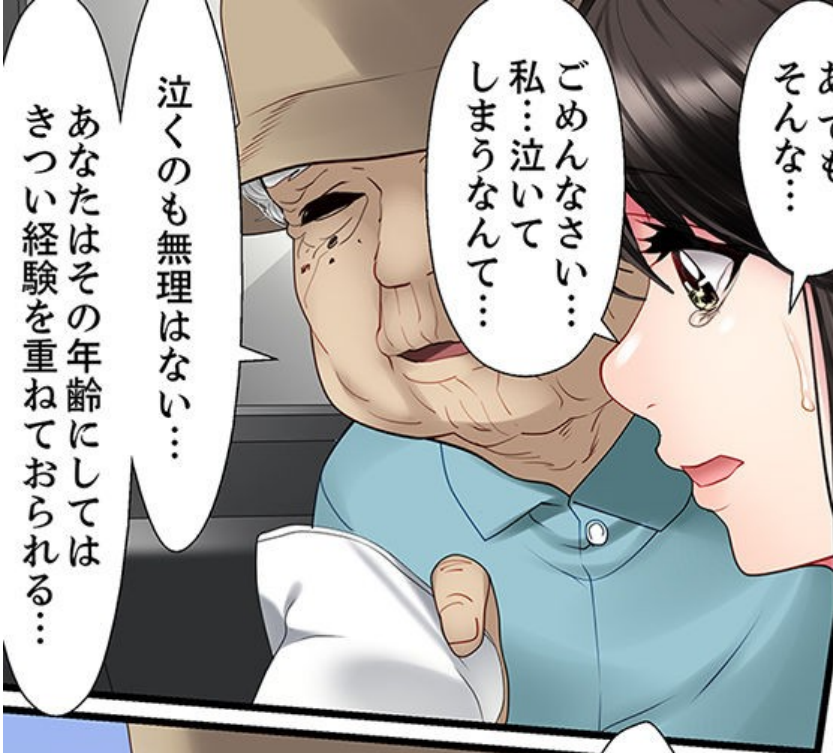
菊池さんが私の家柄や
肩書きを知らないのを
いいことに…

父や母の関係…

厳格な祖父が嫌で
家出したこと…

優しくつた
祖母の思い出…

そして今までに
起こった出来事…

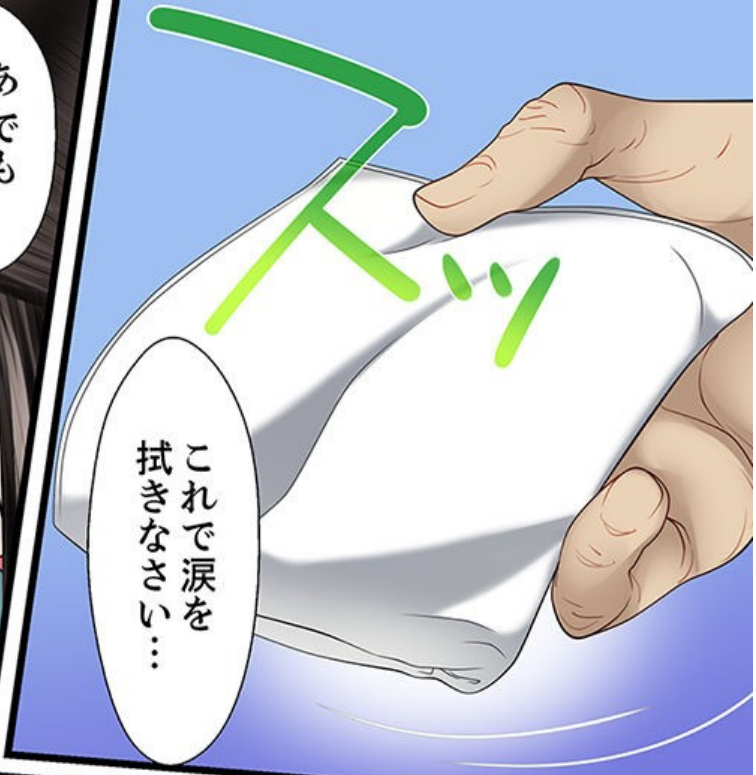


あでも
そんな…

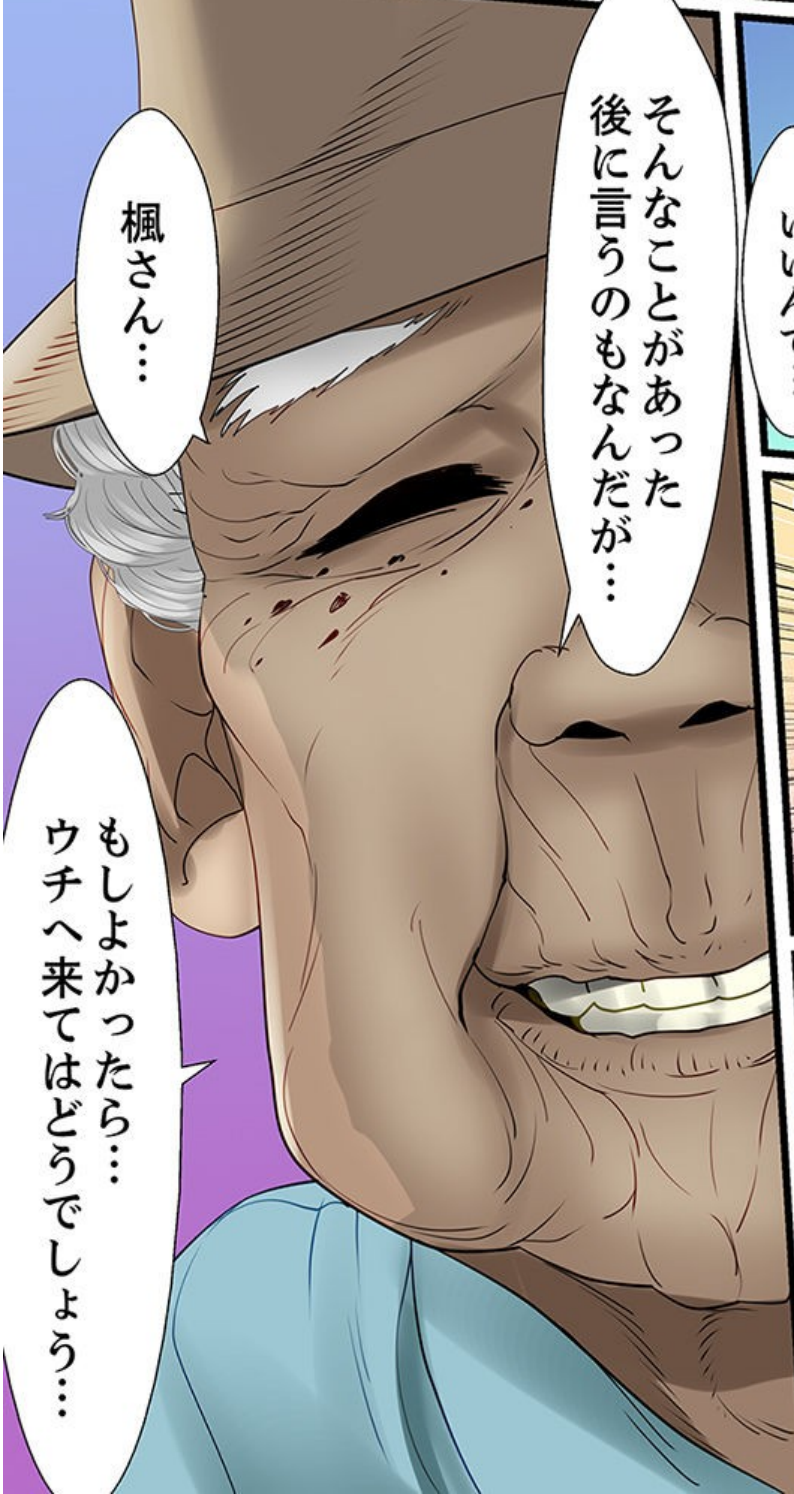
ごめんなさい…
私…泣いて
しまわなんて…

泣くのも無理はない…

あなたはその年齢にしては
きつい経験を重ねておられる…



これで涙を
拭きなさい…



そんなことがあった
後に言うのもなんだが…

楓さん…

もしよかったら…
ウチへ来てはどうでしょう…



ありがとう
ございます…

いいんで…



ははは…
少しは楽に
なったかな？

はい…あの
これ洗って
返します

構わんよ
それより…





えっ?...

で...でも...

さすがに
それはちよつと...

今日初めてお会いした
男性に頼るのは...

ははは無理もない...
あんなことがあった後ではね...

だが私は
見ての通りの
老人だ...

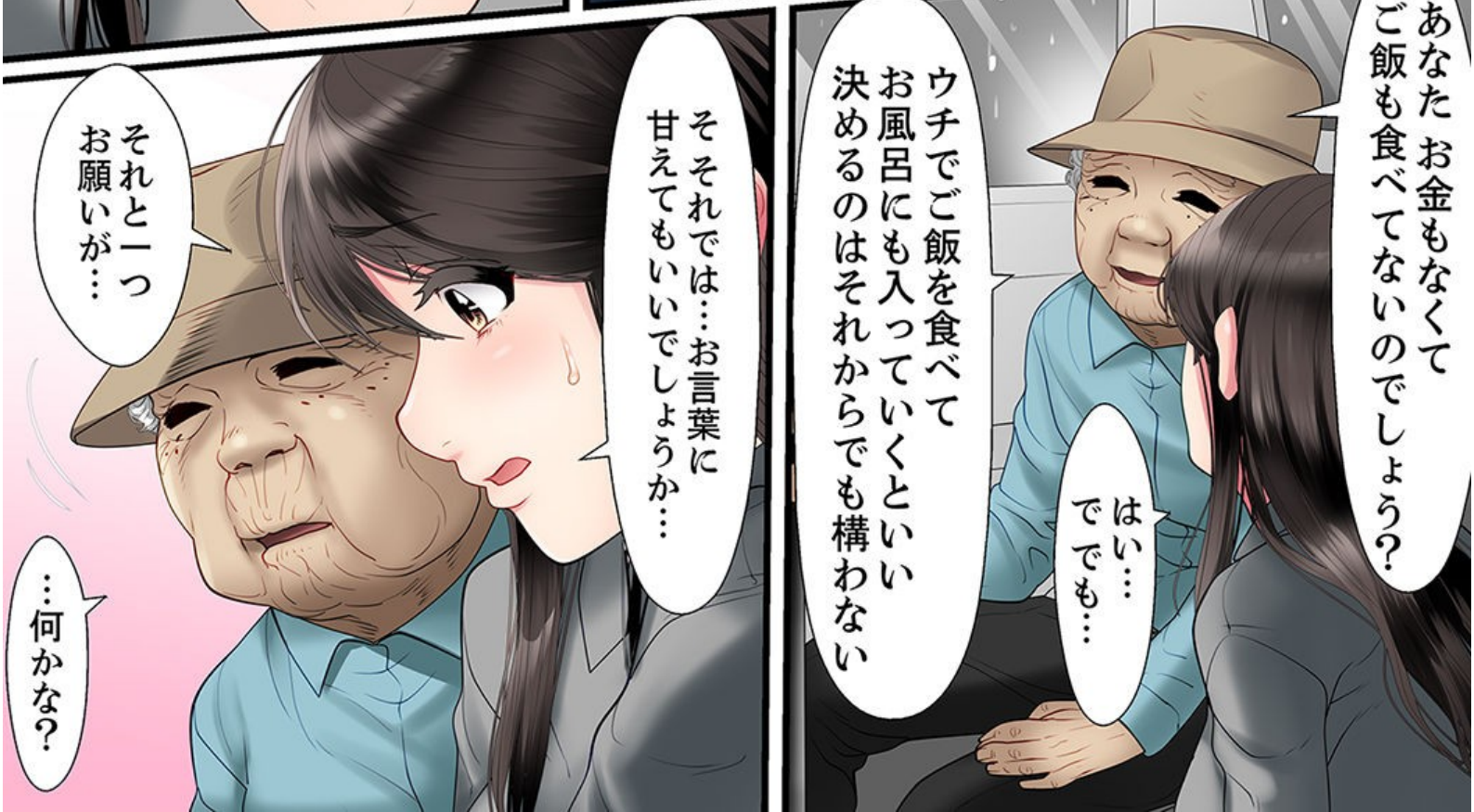


ほとんど目は
見えないし
身寄りもなく
天涯孤独なんです...

施設へ入ろうかと
考えてはいるのだが
どうも慣れ親しんだ家を
離れるのがわびしくてね...

あなたさえよければ
部屋もあるし
お給料をお支払い
してもいいでしょうか?

目...見えてなかったんだ...



あなたお金もなくて
ご飯も食べてないのでしょ...?

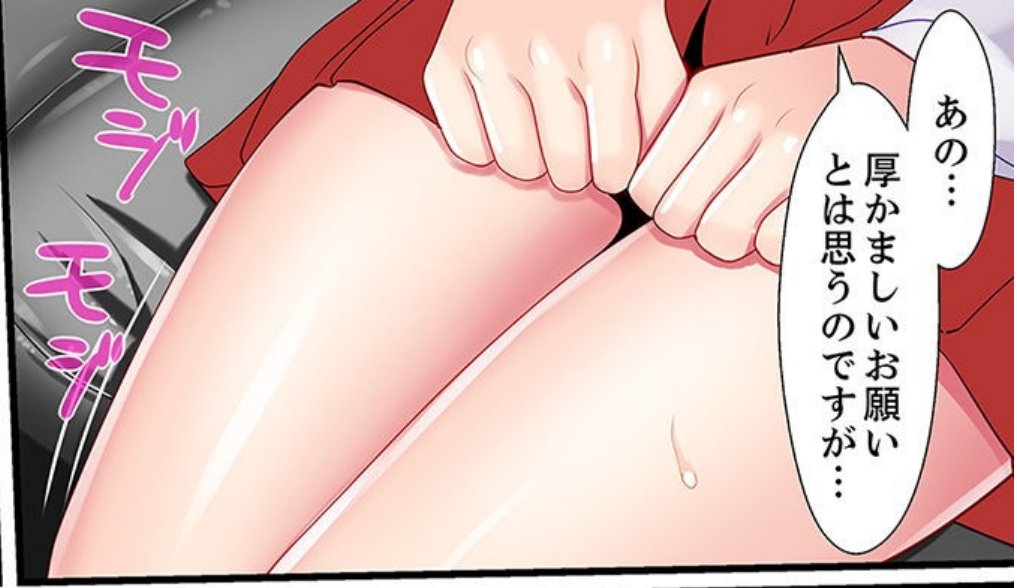
はい...
でも...

うちでご飯を食べて
お風呂にも入っていくといい
決めるのはそれからでも構わない

そそれでは...お言葉に
甘えてもいいでしょうか...

それと一つ
お願いが...

...何かな?



あの…
厚かましいお願い
とは思うのですが…



ではそれも買って
いくとしよう

すみません…

ウウウウ…



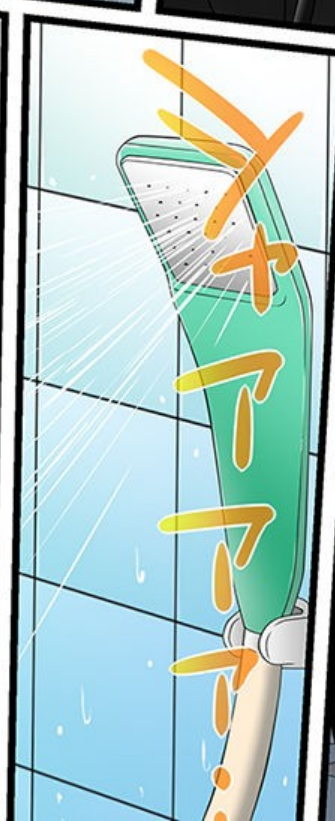
なんと!

さつき男の人に襲われたとき
下着取られちゃったんです
…それで…



助かった…

一時は本当に
どうなるかと
思ったけど…



こんなところで…
一人で暮らしてるんだ…

菊池さん…

目が見えないし
杖だっつついてるのに…

バリアフリーも全然
行き届いてない…

大変だろうな…

でも
いいのかな？…

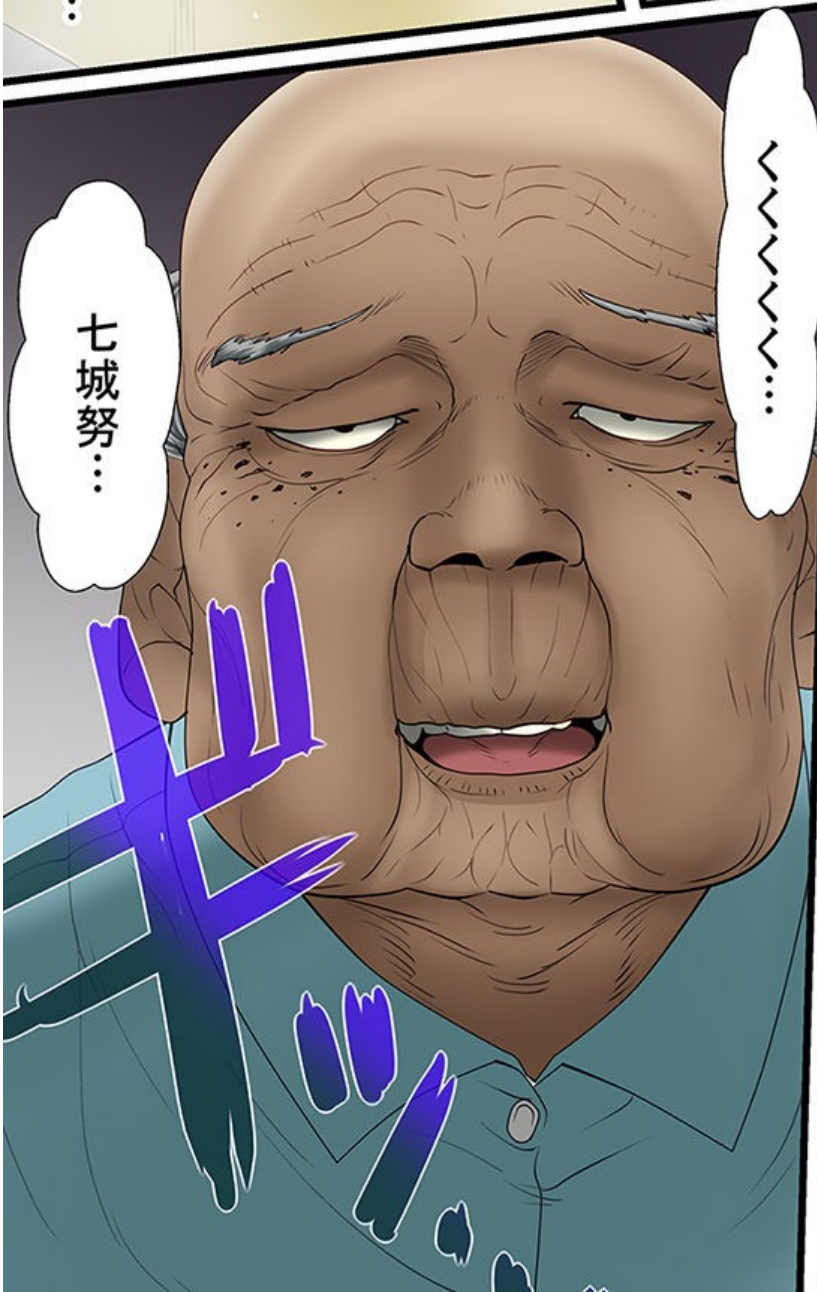


本当に菊池さんの
お世話になっても…



くくくくく…

七城努…



この状況を
貴様が知ったら
どう思うだろうなあ…

ミヤマミヤ

貴様の可愛い孫娘が
今わしの家で
シャワーを浴びている…

くくく…
くくく…
くくく…!!

今ならなんだったって…
なんだってできるぞ七城!!

そろそろ
あがらないと…

わしにはもう
何も残っていない…

失うものなど
何一つない…!!

だから容赦は
せんぞ…

この手で風呂に
押し入り孫娘の首を
絞めることもな…!!

長風呂は
迷惑だよね…

大事なものを
奪ってやる…!!

貴様の命より
大事な物をなあ…!!!

覚えているか？
七城…!!

貴様のせいで
わしは…

わしは30年も
ムシヨ暮らしを
強いられたんだ
からなああ!!

わしのような
前科者は
施設にもなかなか
入れない…

目の見えないフリを
していれば入所できる
だろうと思って
あの『陽だまり園』に
行ったが…

まさかあそこで
お前の娘に会い…

盲目の演技がこんなふうに
役立つとはな…!!

すまんね…

楓さん…
タオルを渡すのを
忘れ…!!

あっ…

うっ!!

ばん



大丈夫…
ですか？
菊池さん…

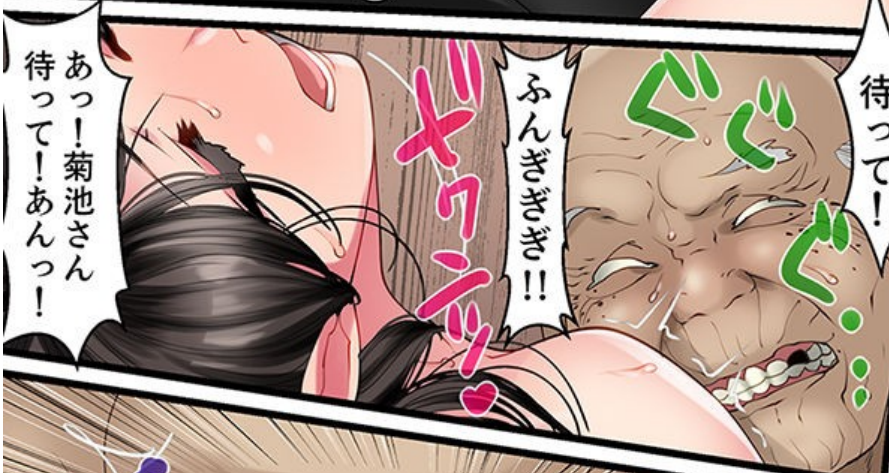
すすまん
こんなつもりは…!!

すぐにどくよ…
上に抜けるからね…

いえ…私も…
ごめんなさい…



い…いたた…



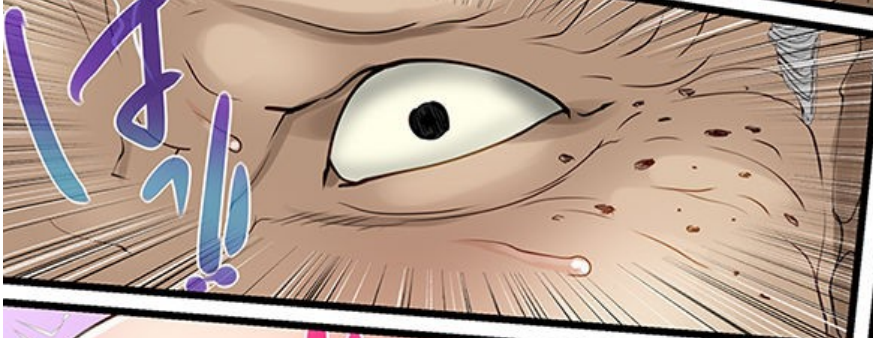
待って!

ふんぎぎぎ!!

あっ!菊池さん
待って!あんっ!



な何か
引つかかって…!!



はっ!



わわしの…!!

セグッ
セグッ
セグッ



抜けない…ツツ!!

め

すまん!!
これは:
不可抗力
じゃ!!

ゼワツ

ややだ!!私
が
ど
き
ま
す
か
ら
...!!

んっ...

うっ!動かし
ちゃ
だ
め
で
す
っ!!

んっ!

ごめんなさいっ!!

ばたばたばたばた

う...

クラクラ

...しかし...

はっ!!

どうした
ことじゃ...!!

しまった!!そんなつもりなど
本当に...!!

バタバタ

あの娘に嫌な思いを
させたに違いないっ!!

この30年不能だった
わしの息子が...

こんな...
こんなにも...!!

ギガギガ



…あの…

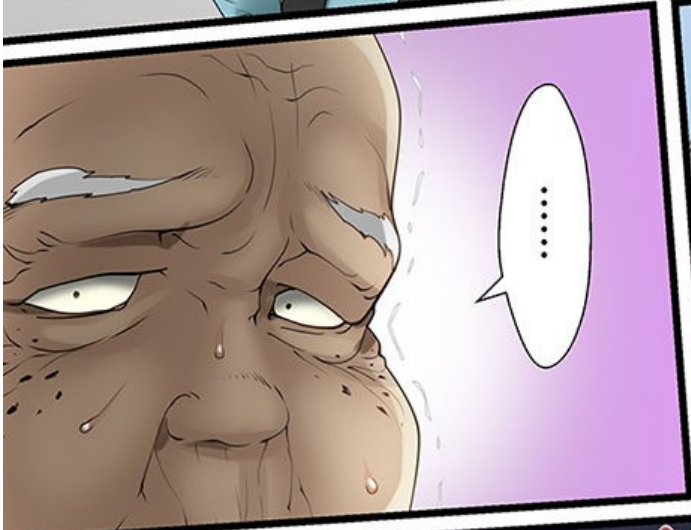
…っ!!

あお風呂貸して
いたいただいてありがとうございます
ございました…

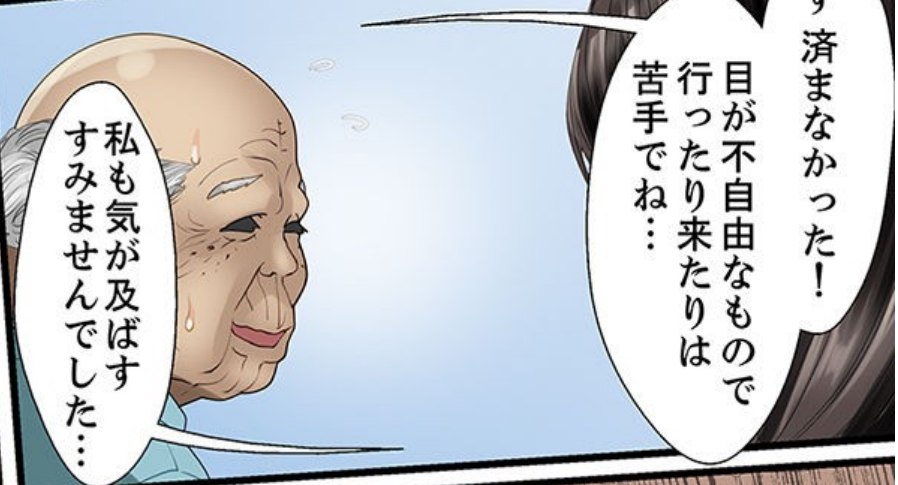
あの…さっきは…

…いいかん!!

ば



……



す済まなかった!
目が不自由なもので
行ったり来たりは
苦手ですね…

私も気が及ばす
すみませんでした…



良いことを
思いついたぞ…

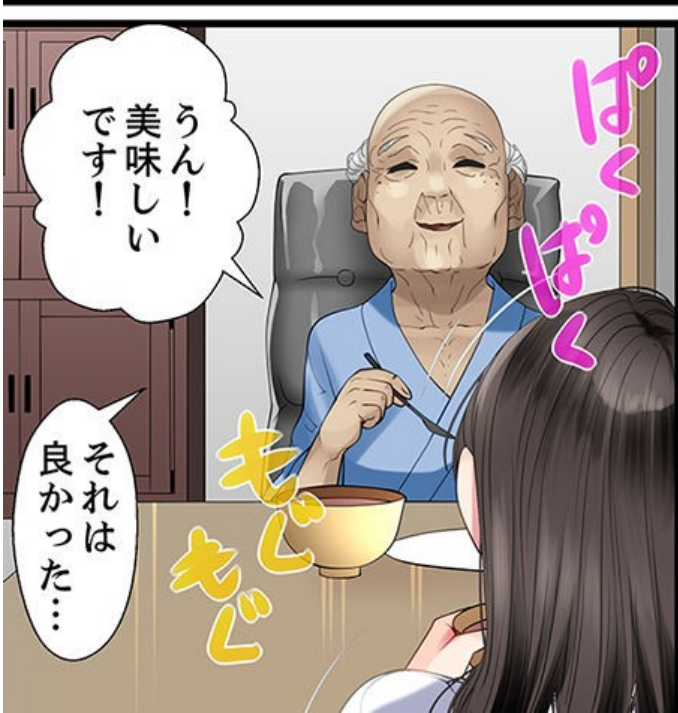
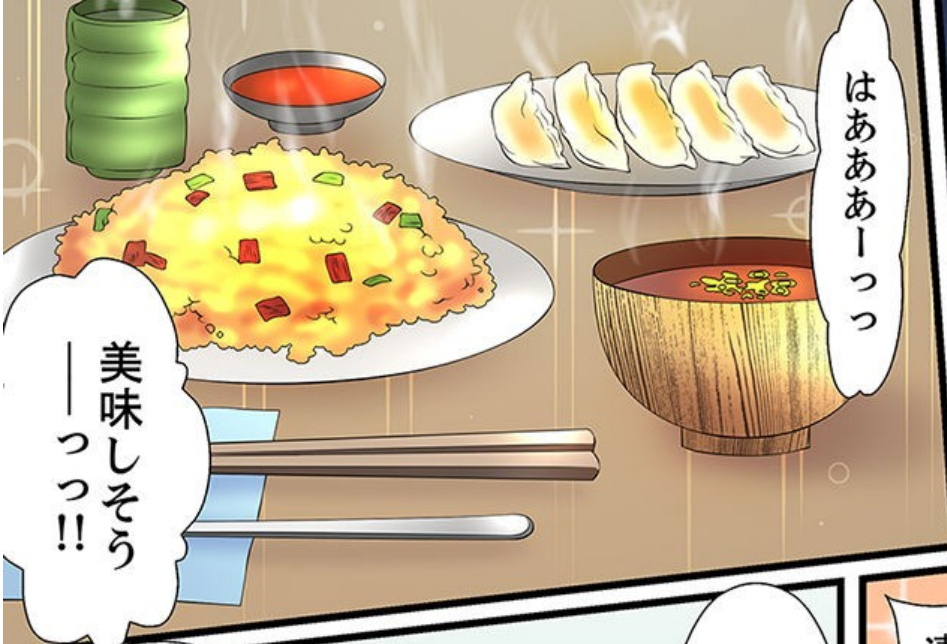
七城努…貴様が
一番苦しむ復讐の
方法をなあああ…!!



何も殺してしまつことが
復讐の全てではない…!!

…そうだ…!!

ギギギ



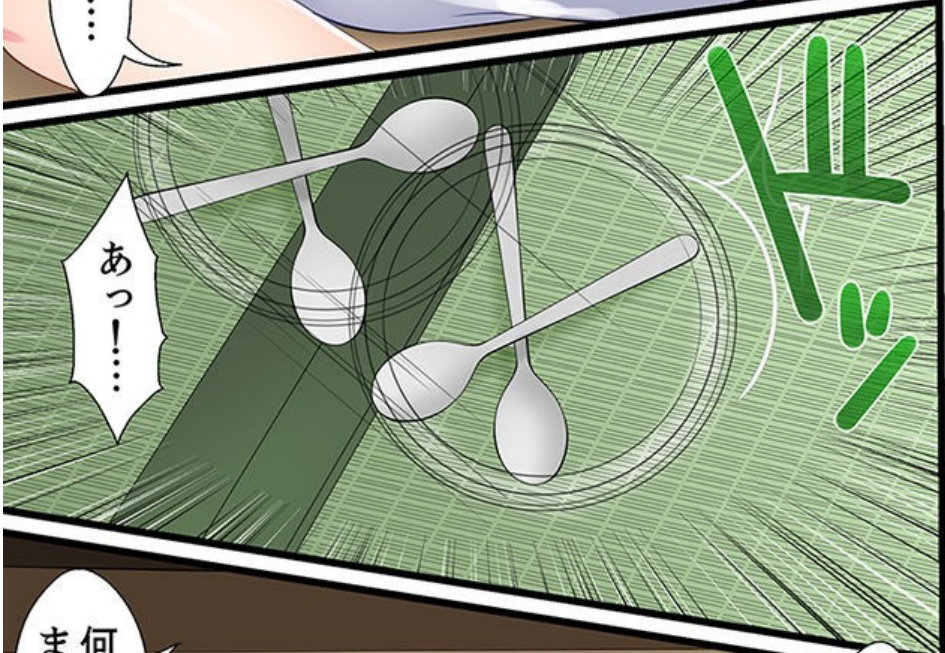


でも菊池さん
凄いですね!

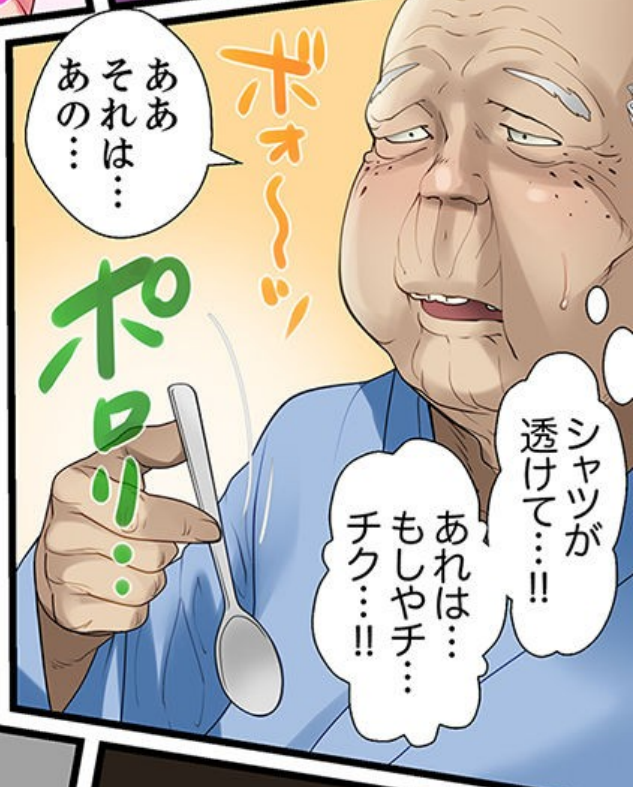
目が見えなくても
ここまで美味しく
作れるなんて...

ん?...

...ってどうか
私がおはん作ろうって
思ってたのに...



あっ!...



ああ
それは...
あの...

ポオッ

ポロリ

シャツが
透けて...!!

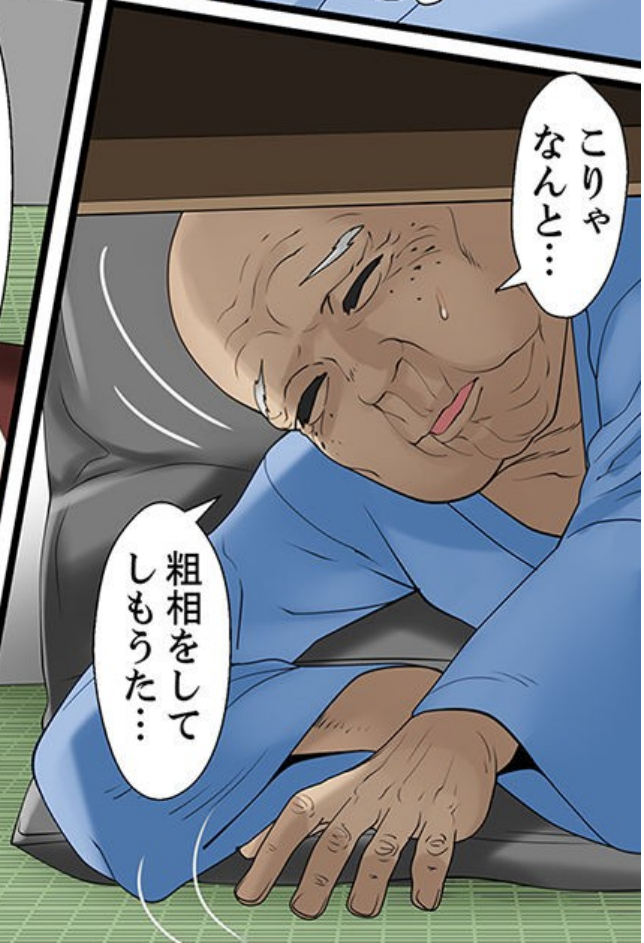
あれは...
もしやチ...
チク...!!



何か落と
しました?

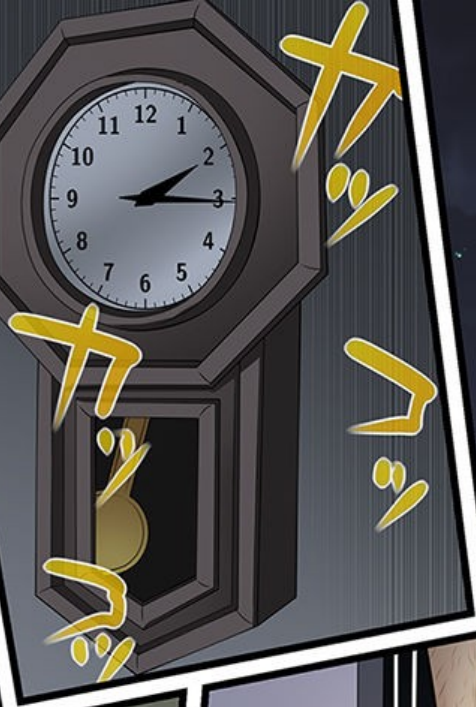
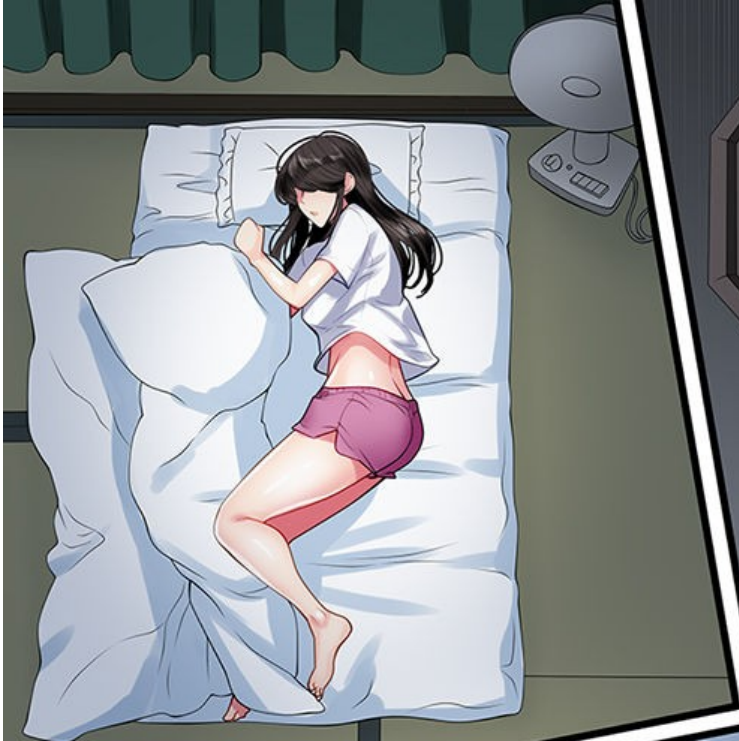
大丈夫ですか?
菊池さん!

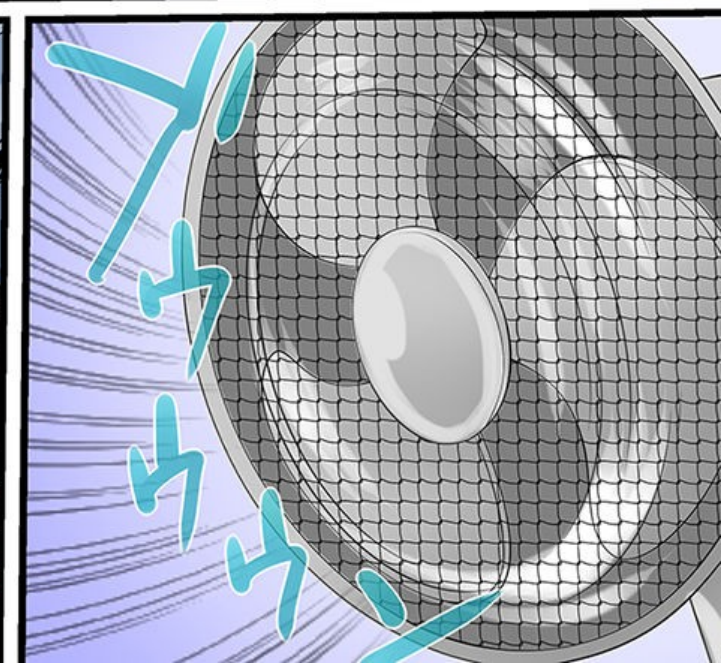
...むっ!!



こりや
なんと...

粗相をして
しもうた...

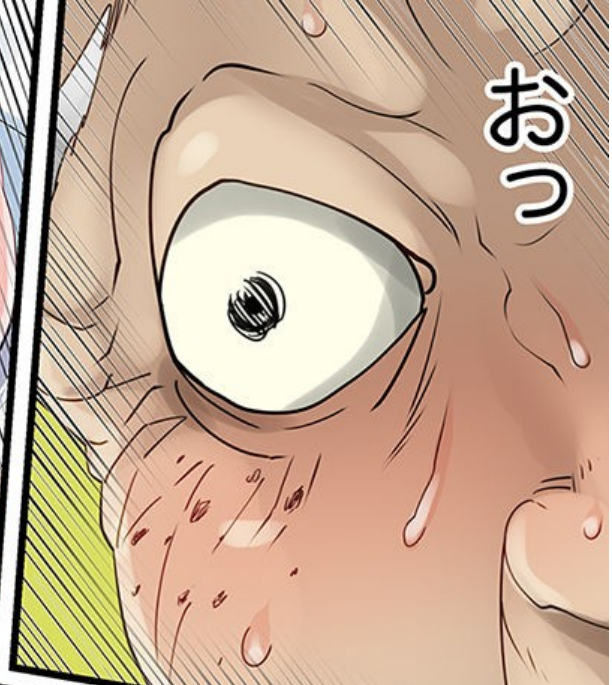




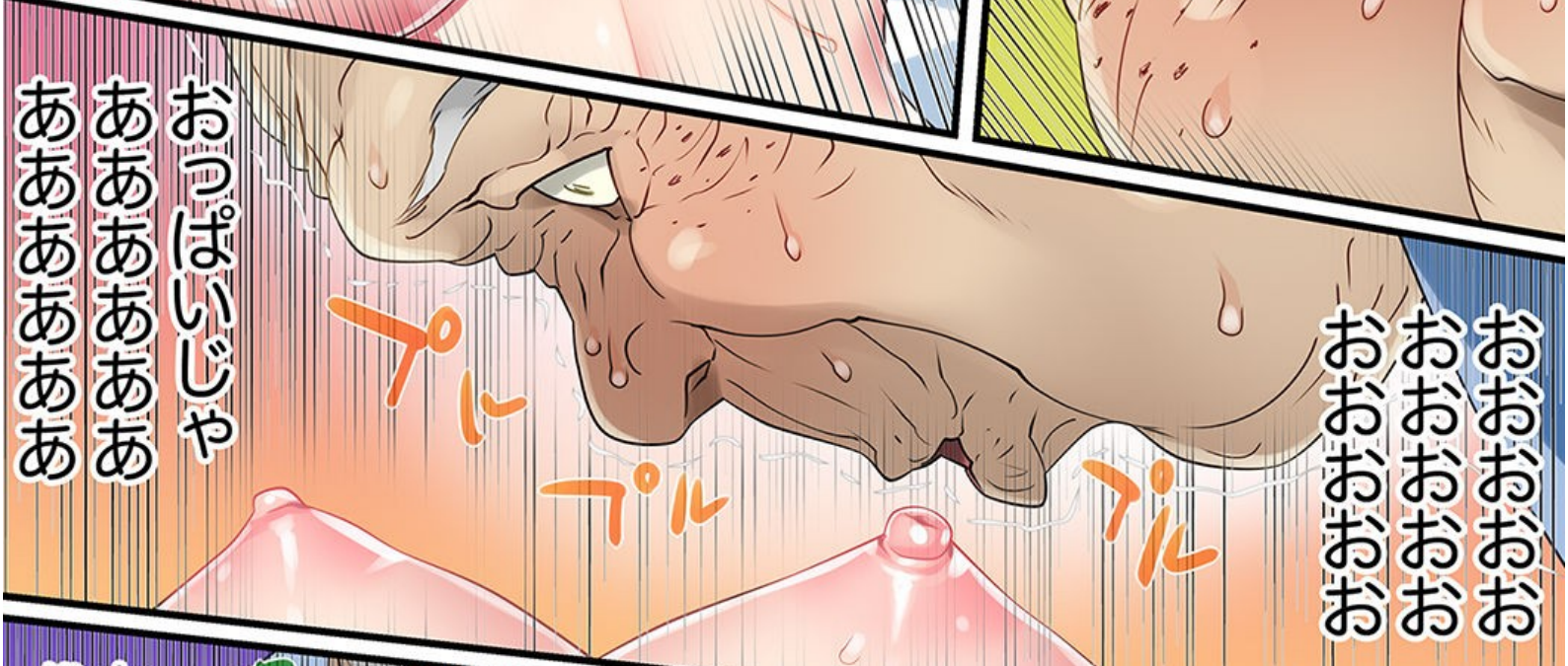


だっぱん♡♡♡♡♡

おっ!!...



おっ



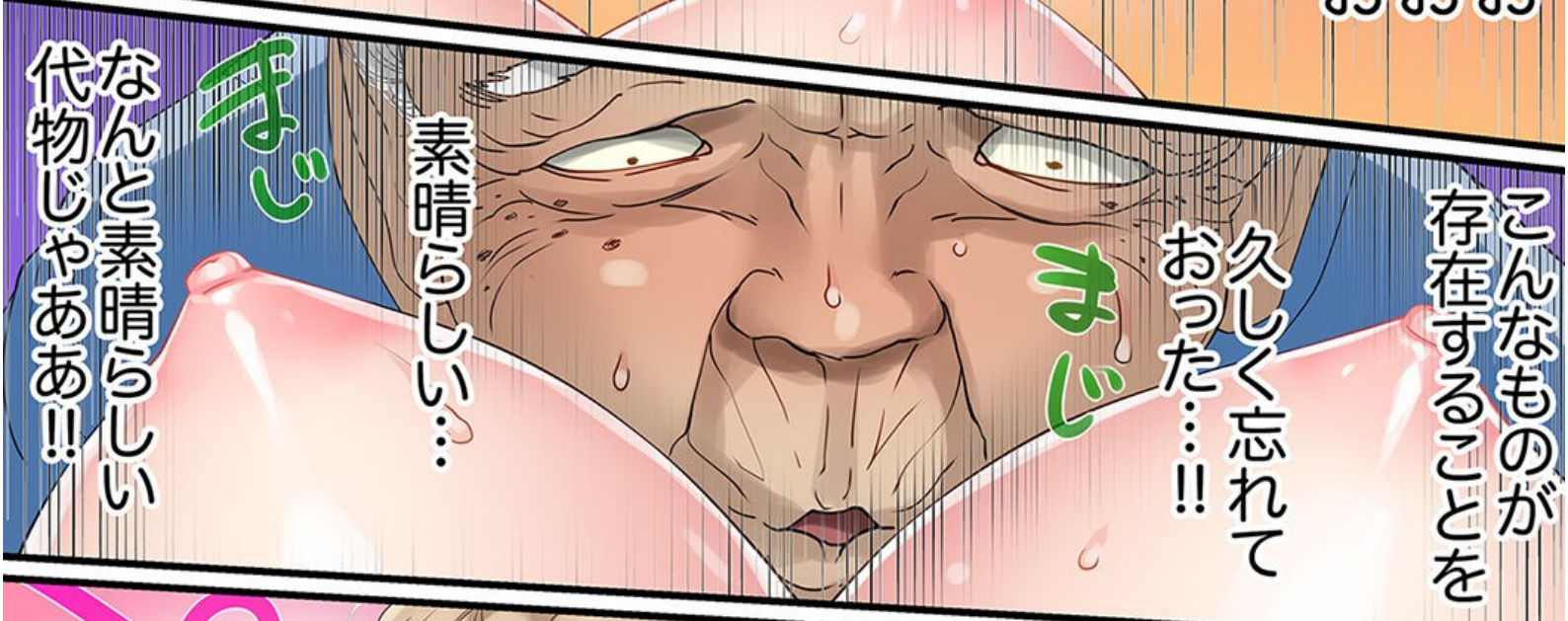
おっばいじゃ
あああああ
あああああ

プル

プル

プル

おおおおお
おおおおお
おおおおお



まじ

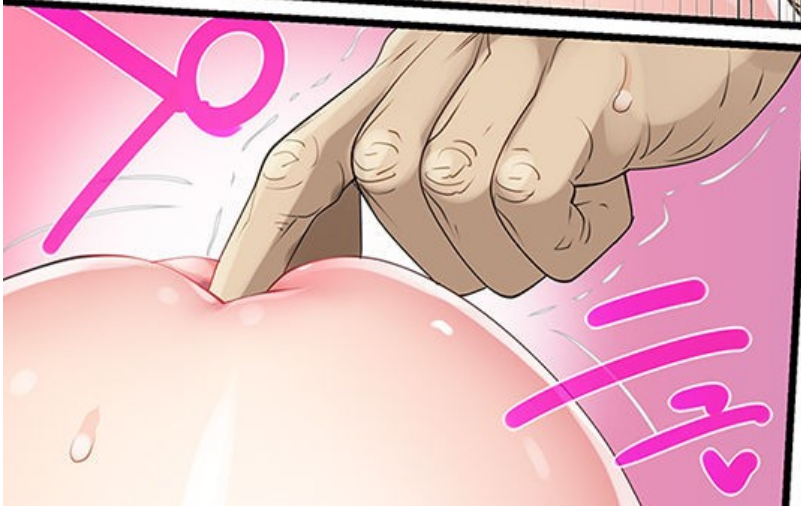
素晴らしい...

なんと素晴らしい
代物じゃああ!!

まじ

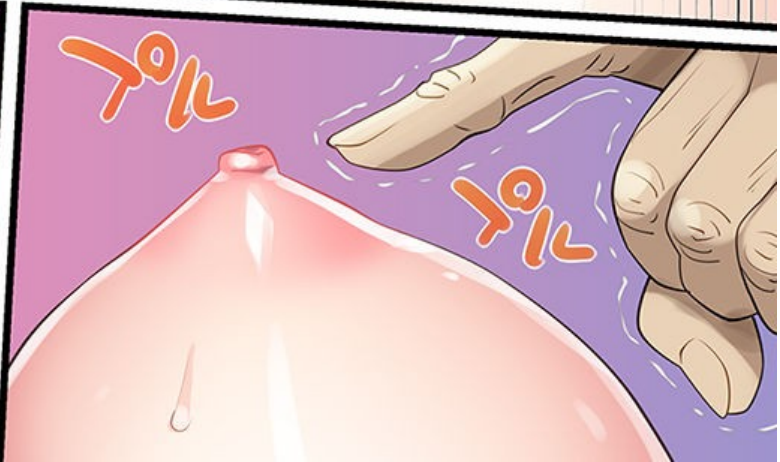
久しく忘れて
おった...!!

こんなものが
存在することを



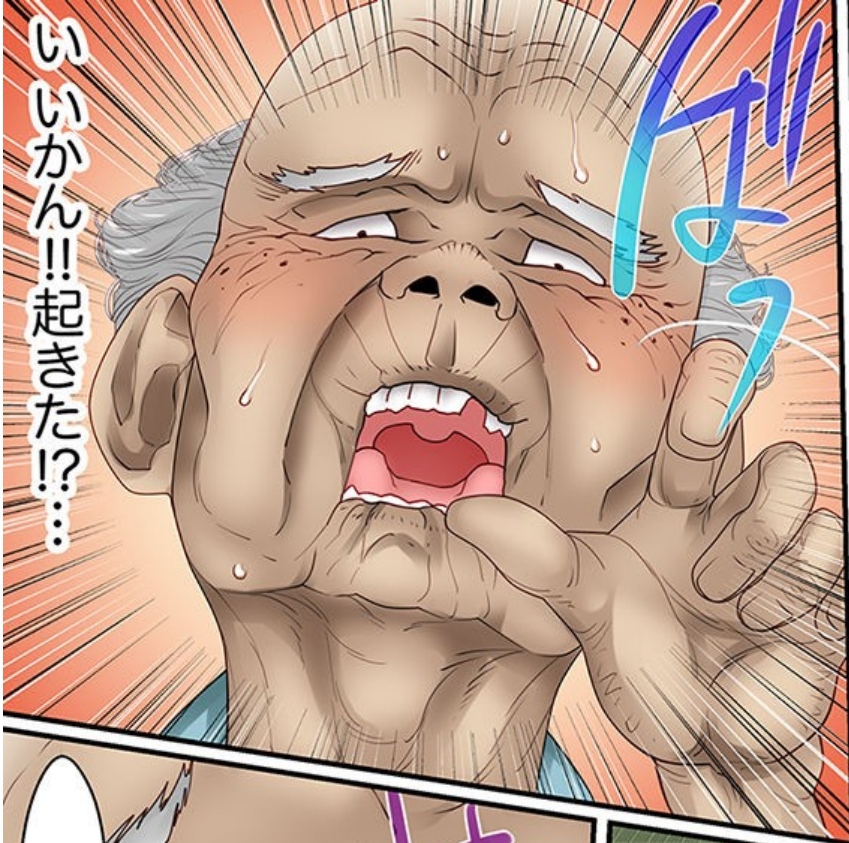
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡



プル

プル



いいかん!! 起きた!?!...

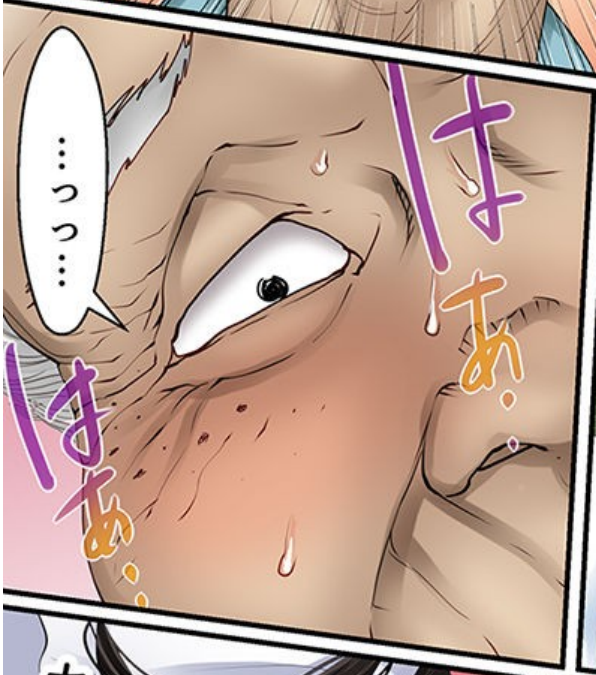
アッ



うんっ...

んっ...

んっ...!!!



...っっ...

はあ



...か?...

いや...大丈夫...
起きてはいないか...



もっと触りたい!!!

もっと...



アル

す素晴らしい……こんなに
柔らかく……

すべすべもちもちと
手に吸いつくような……

パル
パル
パル

ああ手が止まんらん……!!

止まんらんのじゃあああ!!

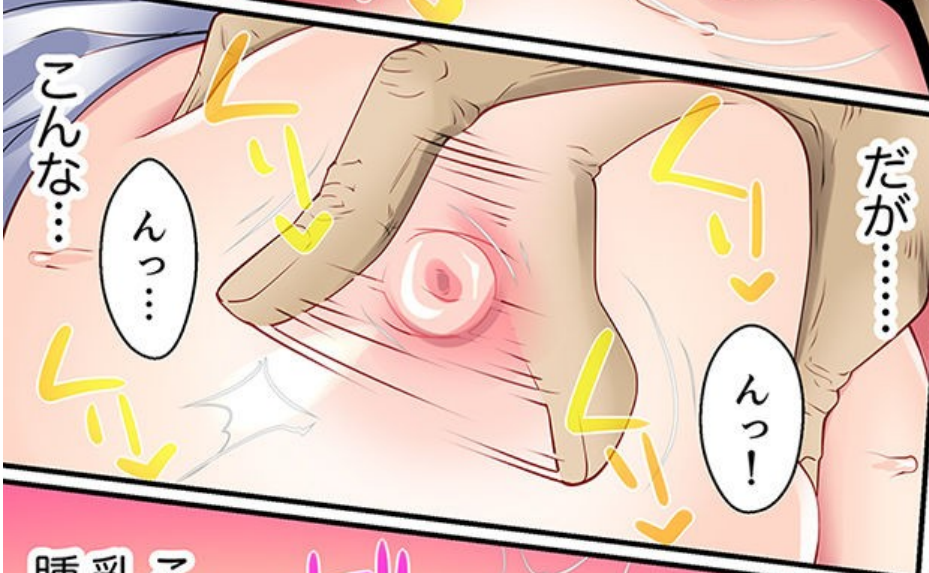


だが……

こんな……

んっ……

んっ!



こんなに
乳首を
腫らして……

ゼ

んっ



すまん!
すまん楓さん!!

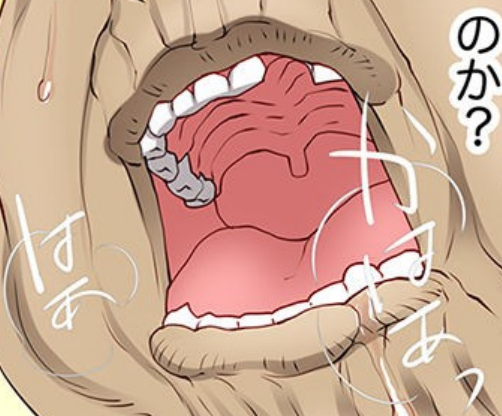
こんなつもりじゃ
なかつたんじゃあ
ああああ!!

もみ

感じとる
のか?

感じとるのか?
楓さん……!!

はあ



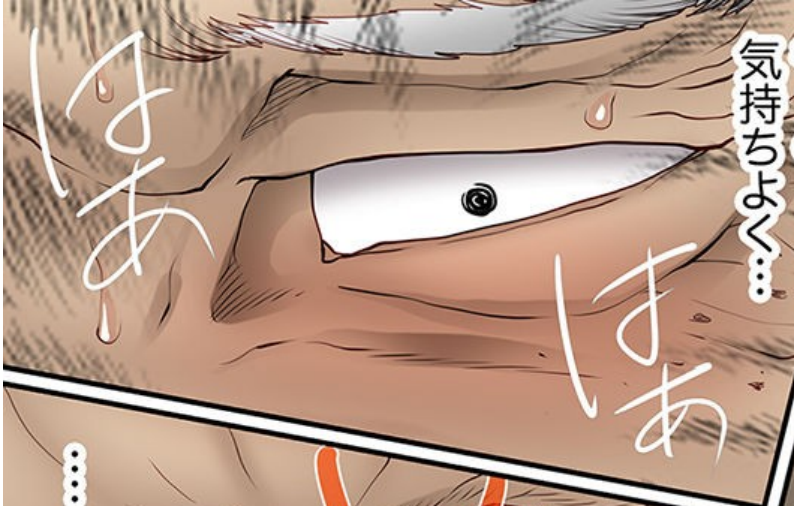
んっ……

ふ……

んくっ……

もみ
もみ
もみ

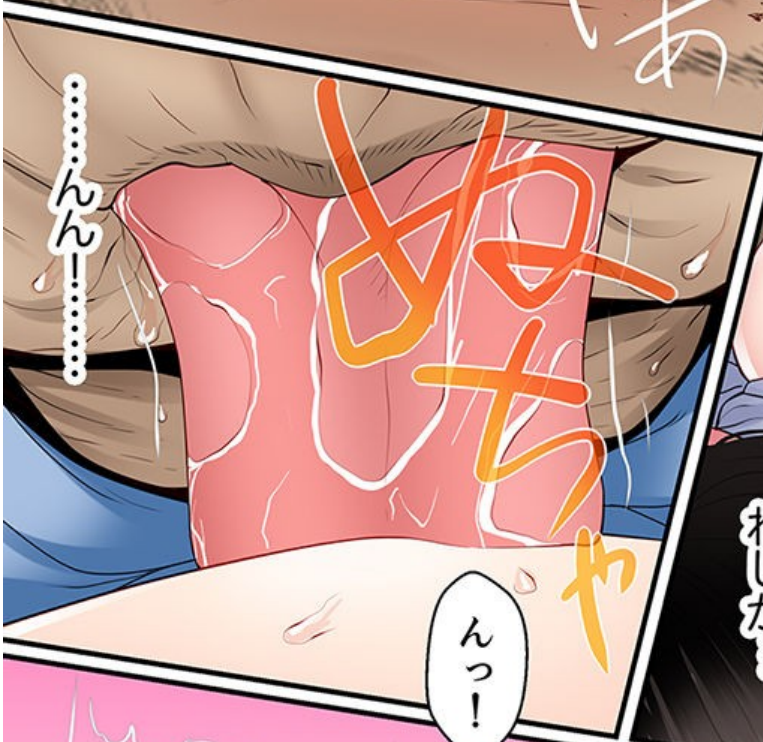
もみ
もみ
もみ



もっとう
気持ちよく...

はあ

はあ



.....んん.....

んっ!

わしが...



それなら...それならば...

はあ

はあ
ブルブル



美味しすぎるぞ
楓さんの柔肌は!!

ぬぬ

.....んんんん
んんまい!!

デクニッ

んっ

っふ...



全身...



少しばかり
しよっぱくで...



ひらっ!!



全身舐めて
しまいたいっ!!

あーあーあー



はむっ!!

ぢゅぽ

っん...

あっ

はぐっ
はぐっ!



もう止まらんっ!!

ぬちゅ



は...

んむっ!
んぐぐっ!

んむう
~!!



...ん...

んぐっ!

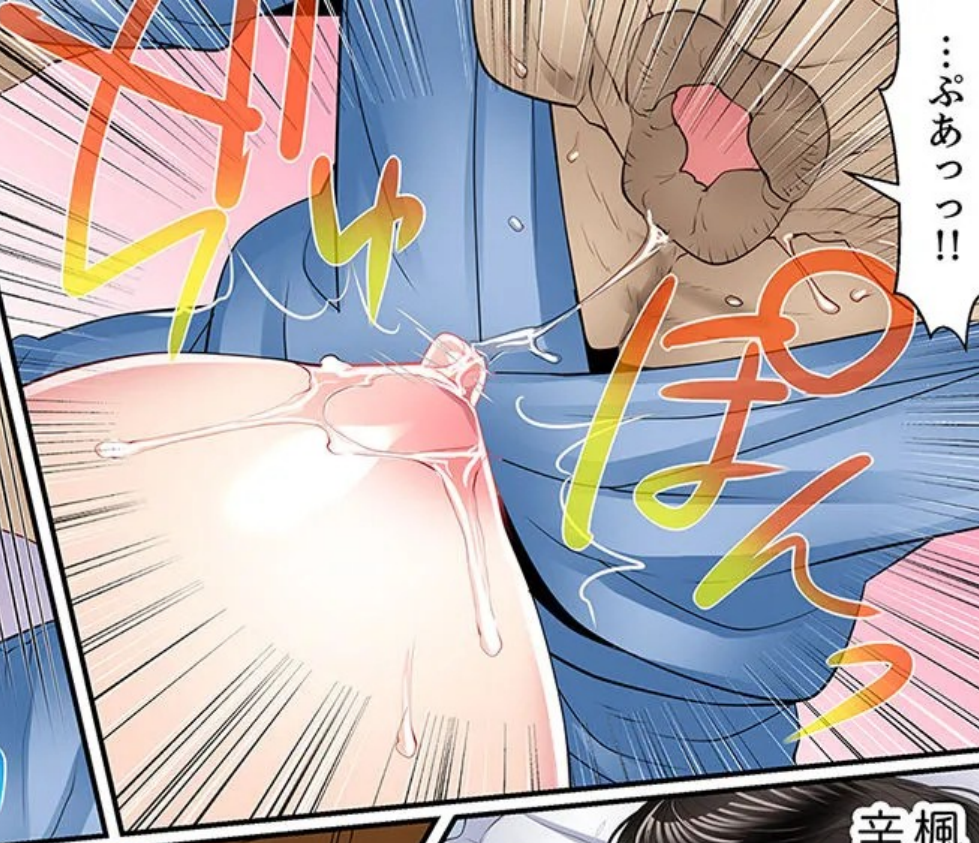


あっ

...っは

むぐらっ

…ぶあつっ!!



いがかんっ!!

つい夢中になって
しゃぶりのついでにもうた!!

ポッ
ポッ

楓さん…昨日から色々
辛い目に遭ったと言っておったな…

あまり眠れなかった
んじやろう…



熟睡して居る
のをさすんで…

わしはなんと卑劣な…



しかし…

ギ
ギ
ギ

だがしかし…!!

これは…

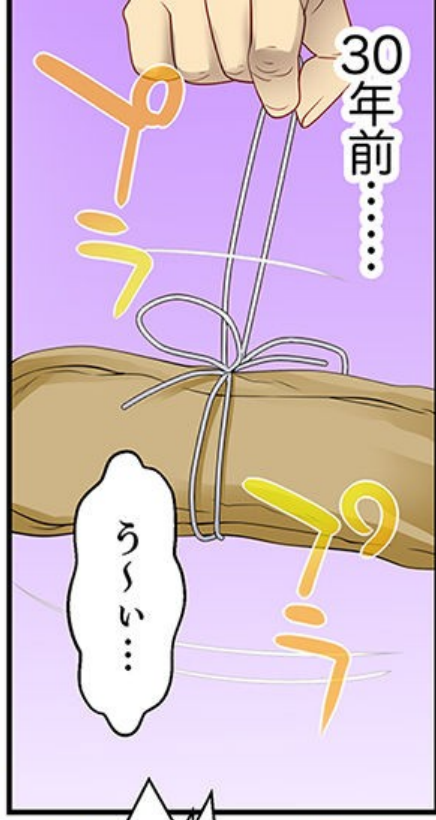


これは復讐なんじゃ!!

あの男への……



30年前……



う……い……

毎日飲兵衛で
ごめんなかーちゃん……

ひ……っく……

お土産あるから
許してねーちゃん……

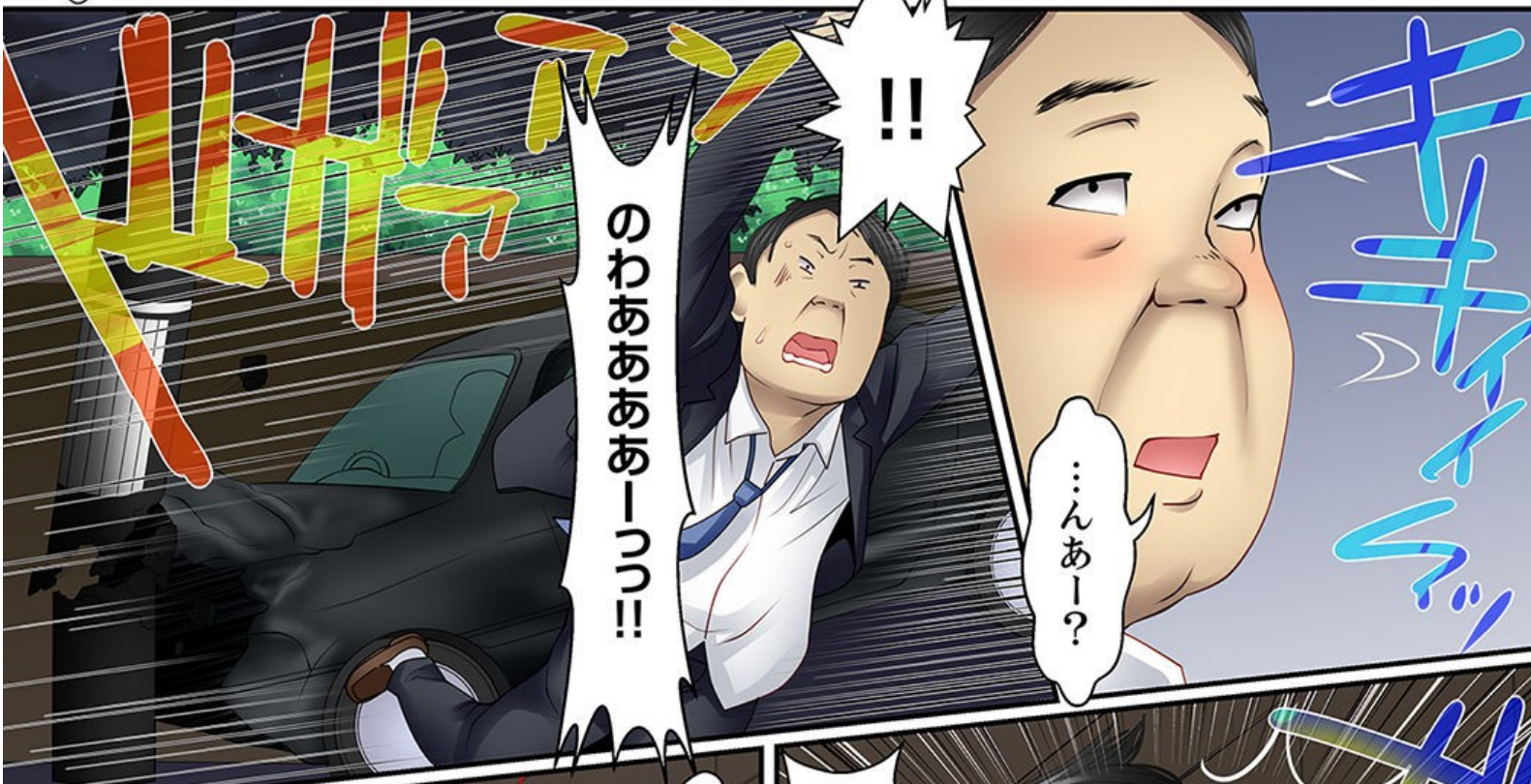


キキキキキキ

!!

……んあー?

のわあああーっ!!



ガガガガガガ

あいだっ!!

う……

う……

痛え……



あの夜…私が帰宅しているとき
突然車が突っ込んできた…

私は頭を強く打ち…

朦朧とした意識の中で
ぼんやりと事故車を見ていた…



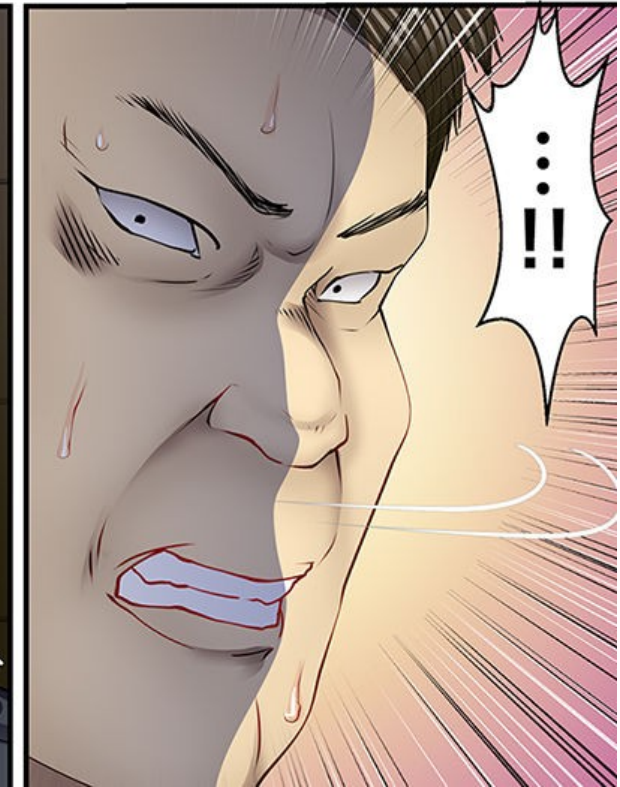
マズいぞ…
どうする…



すると炎上する
車から男が出てきた…

くそっ！
やっち
まった！

そこで私の意識は
途切れてしまった…



七城努!!

お前のせいであはは…!!

30年も服役
したんじゃあ!!

これは…

これはその
お返しなん
じゃああ!!

んっ…

ふっ…

ふんっ…

七城っっ!!



わしは今っ!!...

こんなことをして
いるぞおおおっ!!

うははははは
はははは!!

あっ

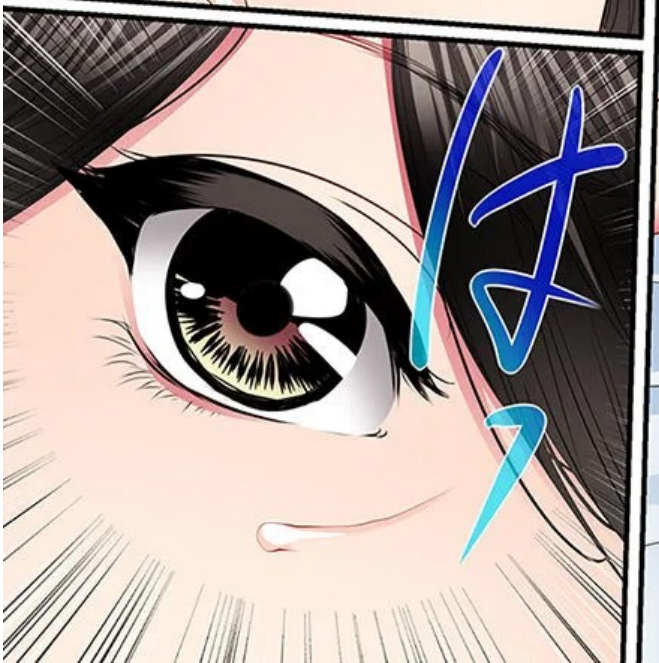
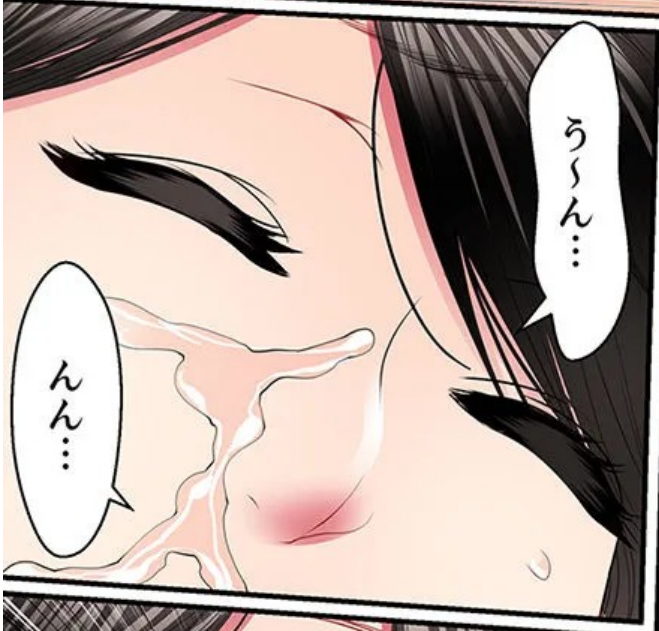
んっ

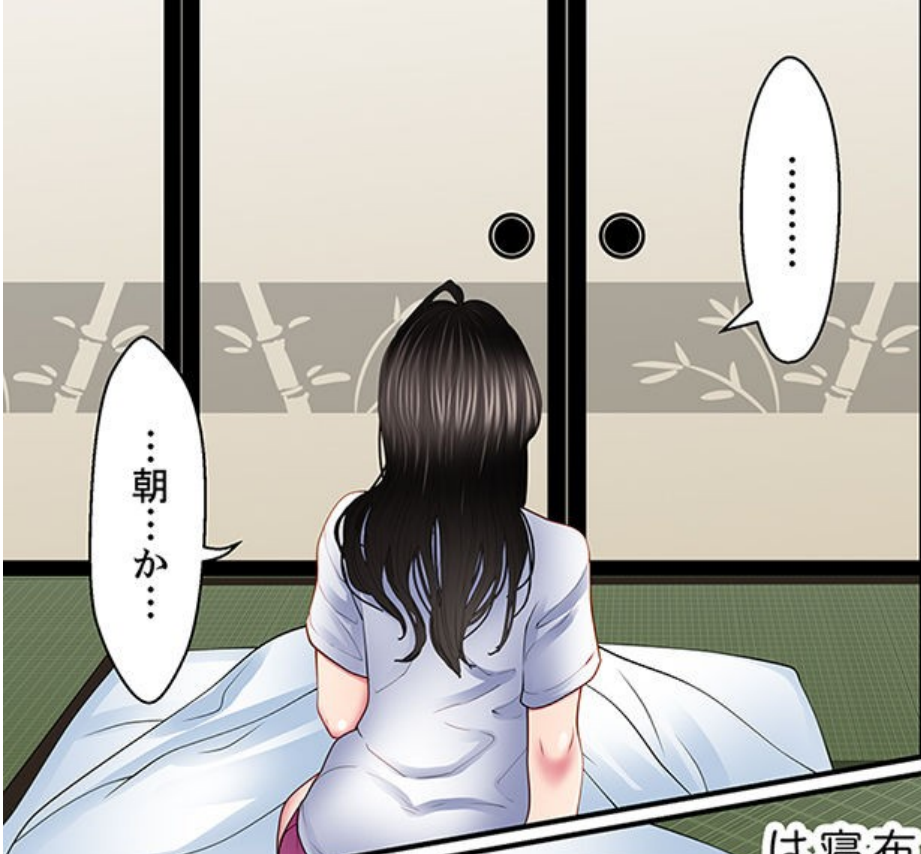
ははははは...

貴様の孫にっ!!...

いっ
い
かん!!...

.....
の
目





…朝…か…

……



…っ!!…



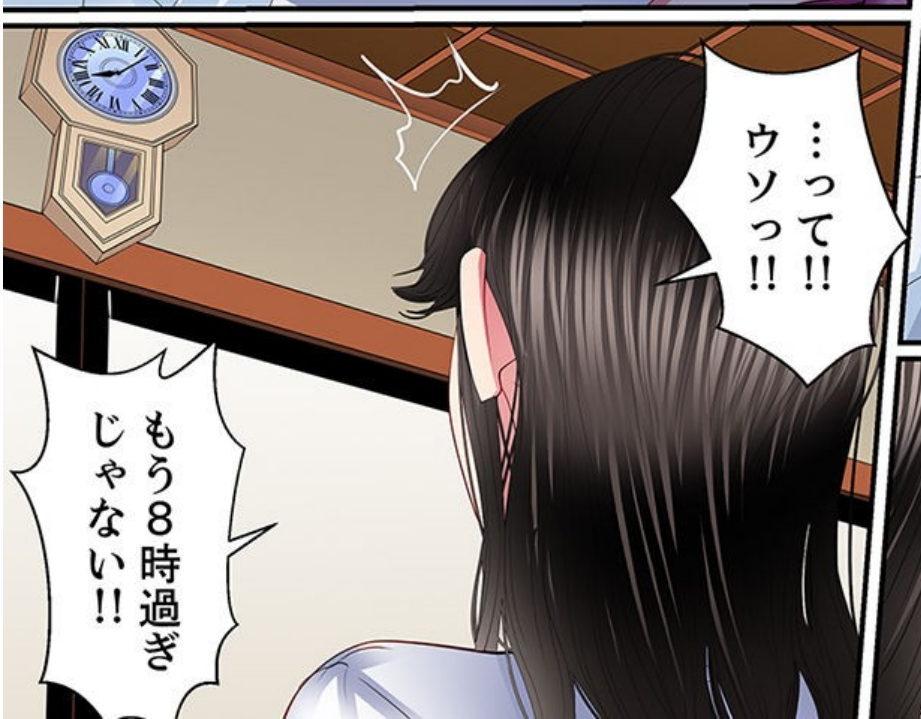
布団…いつもなら寝相が悪くてずり落ちてるはずなのに…

き…菊池さんが……?



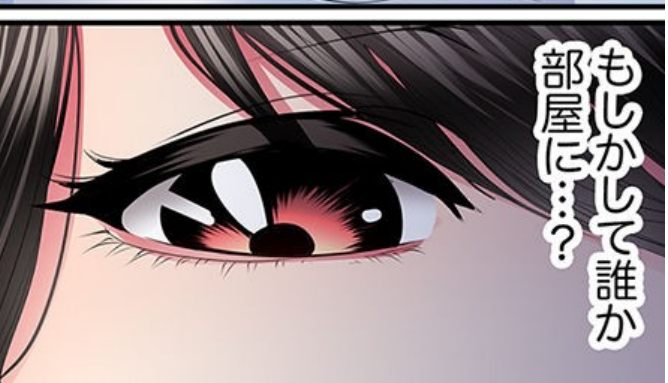
なんたる…ぐっすり…眠れたけど

変な感じ…



…って!!
ウソっ!!

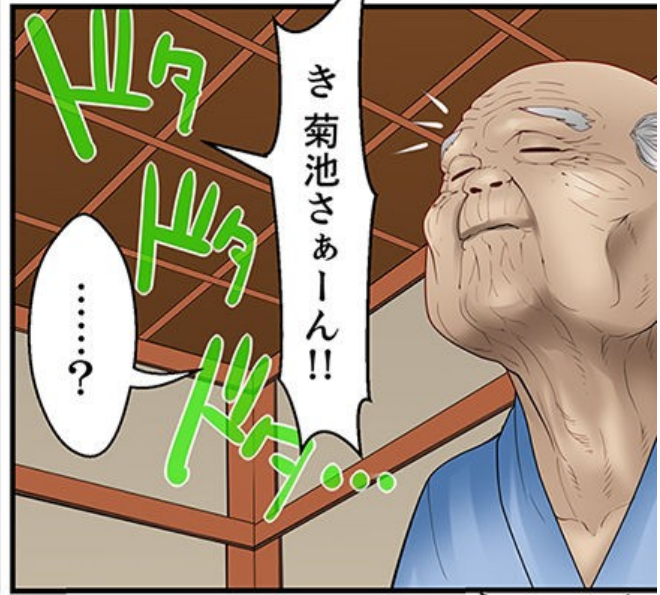
もう8時過ぎじゃない!!



もしかして誰か部屋に…?



ごめんなさい!!
私寝過ぎしちゃい
ましたあ!!



き菊池さあーん!!
……?



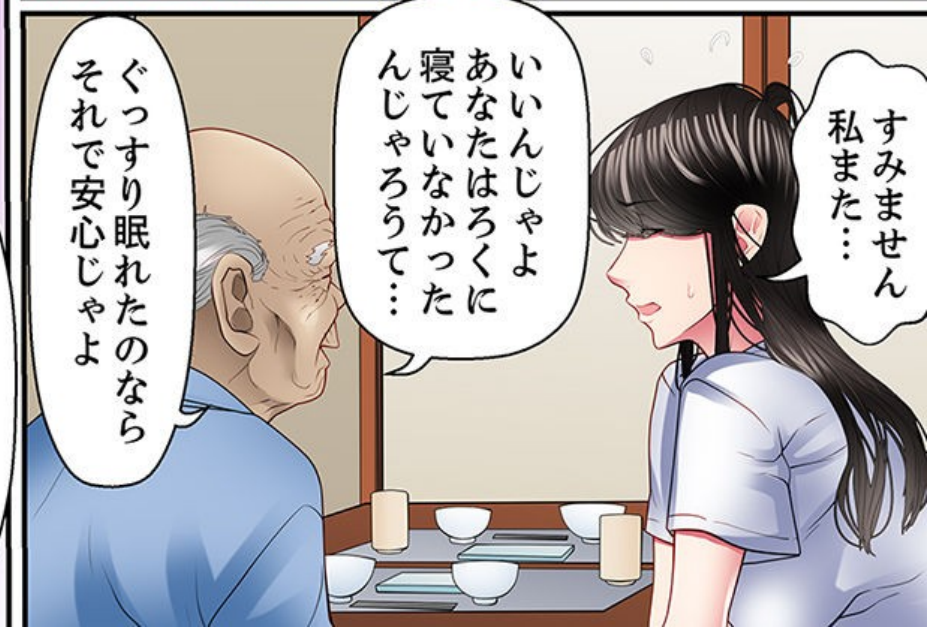
なあ楓さん

できることは
一日一つずつ…
それで十分じゃよ



ごはん作っちゃい
ましたよね?

あ〜っ!!
やっぱり!!



すみません
私また…

いいんじゃよ
あなたはろくに
寝ていなかった
んじゃろうて…

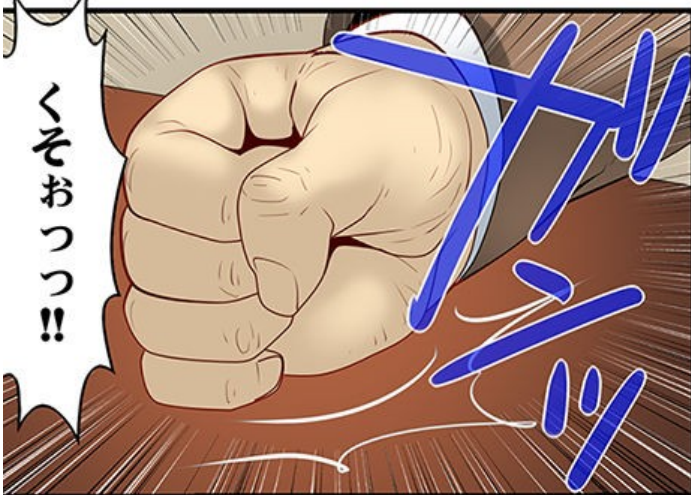
ぐっすり眠れたのなら
それで安心じゃよ

優しいなあ
菊池さん

ありがとうございます
ございます

うる
うる

私だったら…さつきは失礼な
想像しちゃったな…



くそおつっ!!

何をもたもた
しておる!!



楓はまだ
見つからないのか!?

大の大人が…
警察まで動員
しておいて

家出少女の一人
も見つけられん
とは!

お前たちも親なら
自分の娘の行先
くらいわからん
のか!!

全く…
この無能
どもが!!



草の根分けて
探し出せ!

見つけるまで
帰ってくるん
じゃない!!

あーあ…
こんな家じゃ
逃げ出したくも
なるよねえ…

楓ちゃん…





今戻り
ましたあ！

菊池さん



だけどもあ…

俺にとつちやあ
チャンスかも
しれないなあ…

探してやるよ…
楓ちゃん♥



なっ何!?
もしか
して…



きつ菊池さん!
大丈夫ですか!?



買い出し行って
来ましたよ…

菊池さん…
あれ?…

いないのかな?



おお...

大丈夫ですか!?

風呂に入りたかったんだがね...

床が濡れているのに気づかなかったんじゃない...



きゃああつ!!

き菊池さん!!



そんな... お風呂くらい私が付き添いますよ! そのために私がいるんですから...



さすがにもう何日も入っておらんから...

私が臭うと楓さんに失礼じゃろうと思うてな... ははは...



全然考えてなかった...

そっか... お風呂...

私が... 入れてあげるんだよね...

当然じゃん 介護を条件に住まわせてもらうんだから...



は...

これぐらいいできなくて
介護だなんて
言えないよね…

任せてください！

おお…

せ
4
ヤ

すまんな楓さん…
臭いもきつかるうて…

何言ってるんですか！
住まわせていただいでる
んですからこれくらい
やって当然です！

嬉しいよ…
風呂は好き
なんじゃ…

菊池さん意外と
筋肉質なんだ…

本当に何日も
お風呂入れ
なかつたんだな…
確かに臭いは
ちよつと
するかも…

でもそれより…

昔何か
スポーツとか
やってたのかな？

ムキッ



天にも昇る
ようじゃ…

おおくツツ…
こりゃあ…

極楽じゃよ
楓さん…

ちやほん



うふふ！
お湯は熱く
ないですか？



あつ…え？
体…？

体も洗うのを
手伝ってもらえん
じやろうか？



ああ丁度
良い湯加減じゃ

それと悪いが
楓さん…



けど…菊池さんの
顔見てるとなんだか…

やってあげたく
なっちゃうんだよなあ…



すまんなあ…

年頃の娘さんに
お願いすること
ではないんじゃないか

目が見えんと
石鹸を落としたり
それを踏んだりと
危なくて…

いいかのう？

あ…はあ…

か体を洗うのは
さすがに抵抗あるな…



痛くありませんか？

いい塩梅じゃ

もっと強くしてくれても大丈夫じゃよ



仕事をやるってこういうことなんだ！

菊池さんに会わなかつたらこんな当たり前なことも知らずに生活してたんだらうな…私…



私…介護つてお仕事を甘く見てたかもな…

陽だまり園でも

ピアノ弾いてただけだったし…

こちらですか？

うん気持ちがいい



えっ?! ま前…ですか？

そうじゃ

わわかりました…



楓さん ありがとう

次は…前も頼めるかな？



ま前は自分で
できるんじゃない...

こここんな感じ
ですか？

もっと力を
入れて...

はい...

前を向けない...
男の人の体こんなに
間近で見たことなんて
ないし...



ここ...

そこは特に
念入りに
頼めるかな？

まさか...!!



こうですか？

触ったのも...
初めてだから...

どこがどう洗えば
いいのかわからないよ...!!



触っちゃってる
よおおおお!!

男の人の...

おっ！...

菊池さん...いい痛い
のかな？

おふ...

うぐぐ...

ひくひく

直視できないから
ちやんと洗ってるのか
わかんないよ...

おぐ...

ぬうう...

どうなの？その反応は
痛いの？気持ちいいの？

えっ？...

ぬっはあああああ!!...

ももういいよね？
これくらい洗えば...

ヤクッ

な...じ...これ...？

お大きく...
硬くなってる!?

ギンッ

ギンッ

ギンッ

どろどろ...
どろどろ...
どろどろ...

どろどろ...!!

すずまんなあ
楓さん...

あつ...
いいえ...

これは不可抗力と
いうやつで...

目が見えないと
他の感覚が過敏に
なってしまうんじゃ...

わ悪く
思わんでくれ...

仕方のない
ことでない...

そ...そっか...
私また考えが
及ばずだ...

それじゃあ...

どどんな風に
洗ったらいいですか?

そうじゃな...

良ければ...
手で握るようにして
じよ上下に擦って
もらえるかな?

はい...

こっ...こっ
ですか?

パル
パル

もつと...
上下に...

うんうん……

なんんだか変なこと
してるみたい……

でも……なんんだか
……凄い……!!

タオルの上からでも
ドクドク脈打ってる……

硬くて……太い……

まるで……私の手首みたいなたさ……

凄く……熱いつつ……!!

これが……男の人の……つつ……

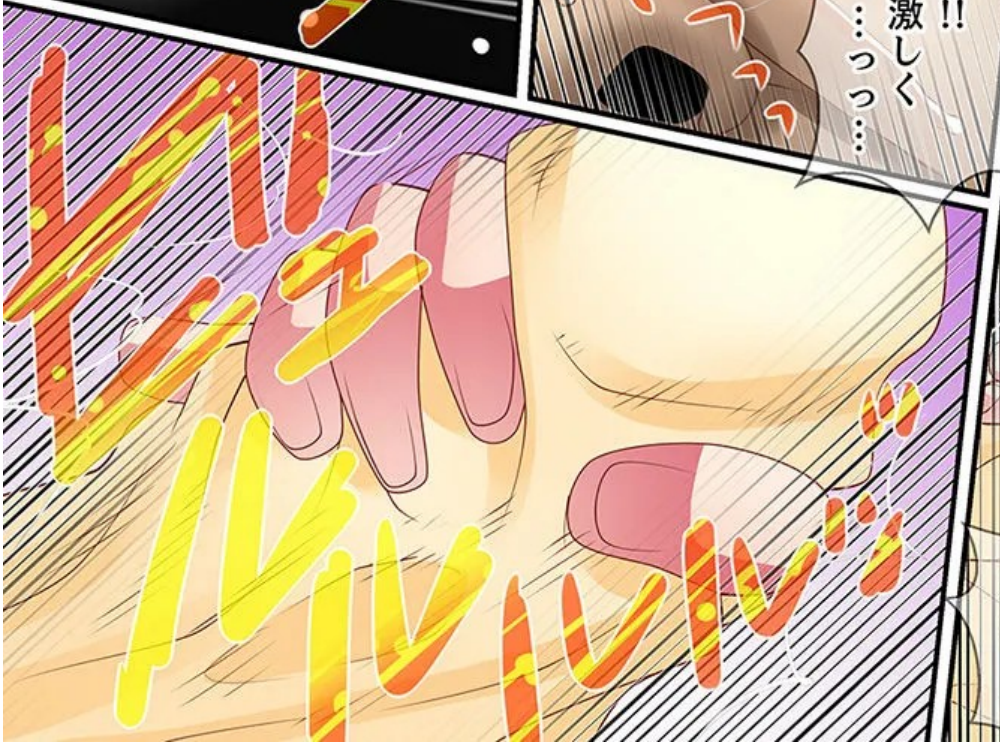
楓さんっ!!
そんなに激しく
しては!!……つつ……

ぬおおっ!!

うっ……

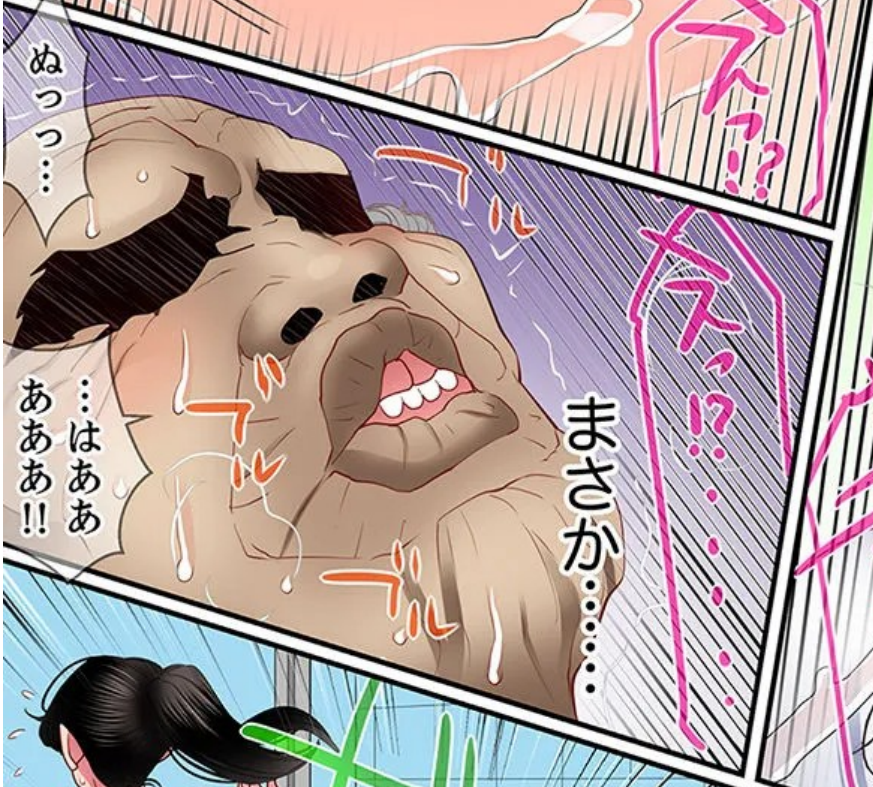
おっ……

おおっ!!
楓さん!!





えっっっ!!
これ…!!



ぬっっ…

…はああ
あああ!!

まさか…!!



何っっ!!?



失礼しますっ!!

かっ…
楓さんっ!!

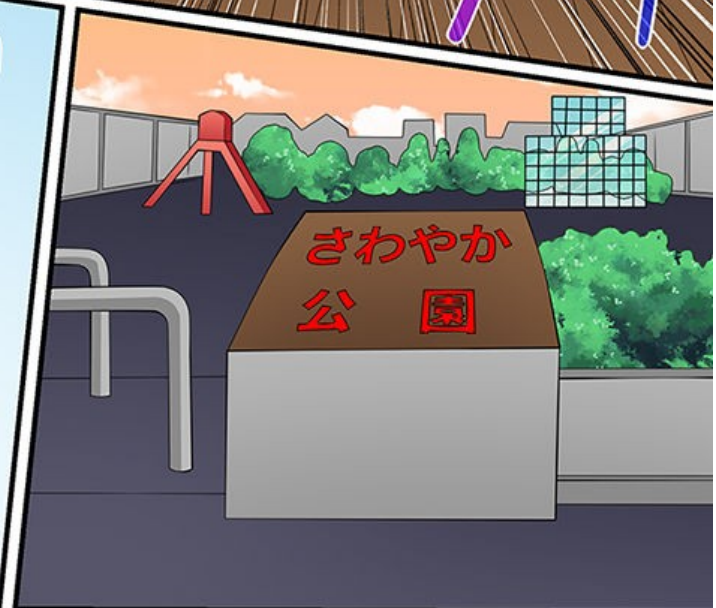


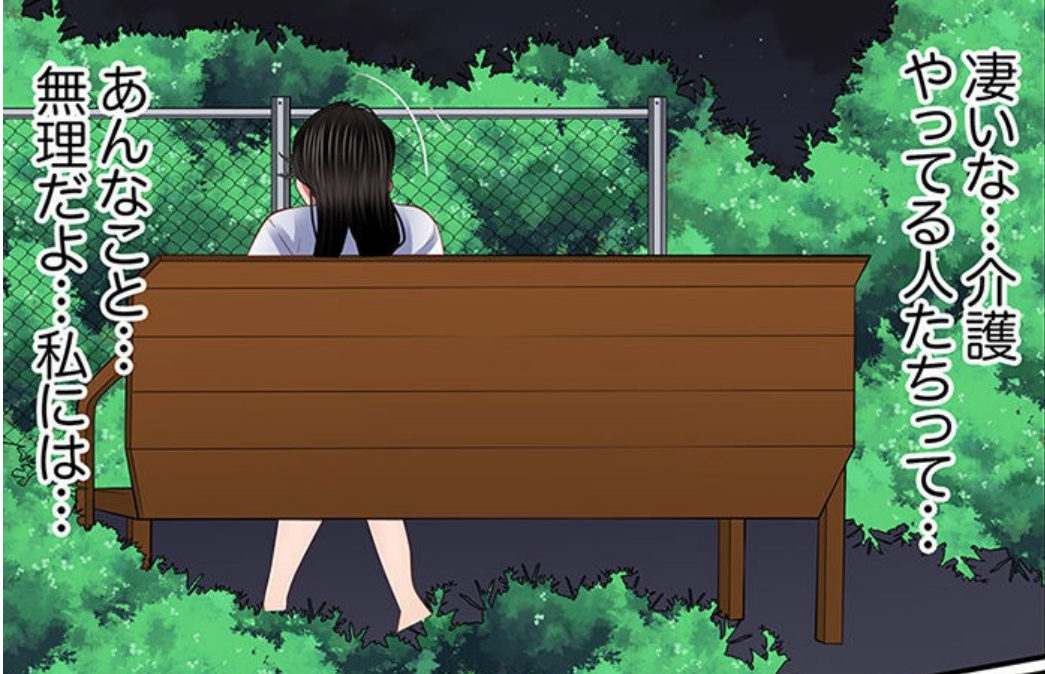
無理…



嫌あああああああああっっ!!

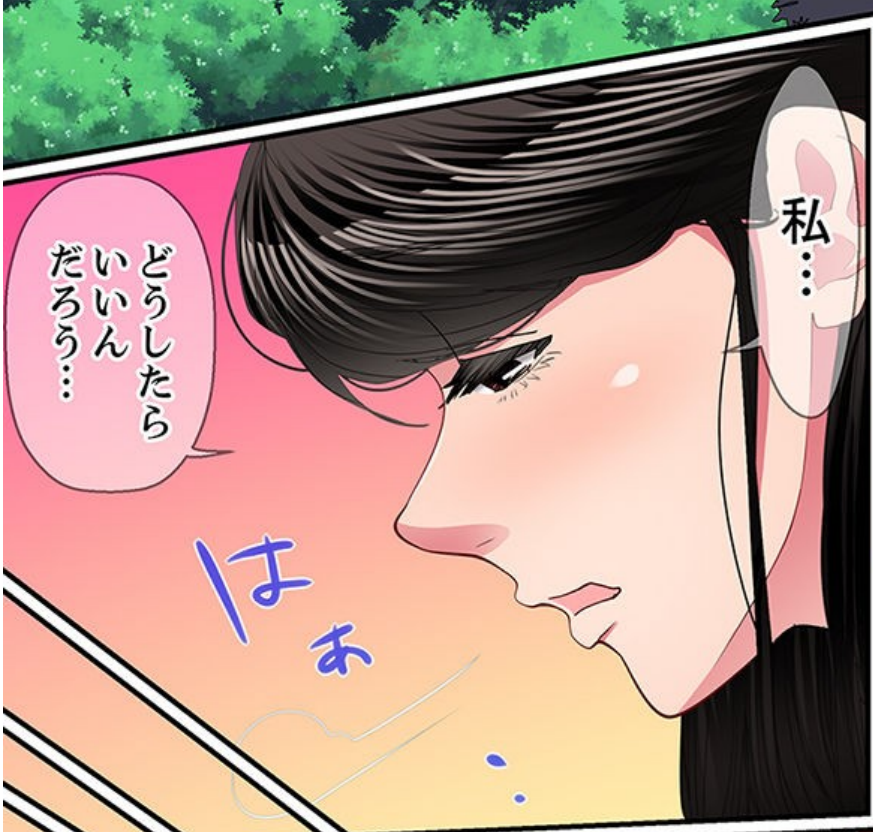
いっ…





あんなこと……
無理だよ……私には……

凄いな……介護
やってる人たちって……



私……

どうしたら
いいん
だろう……

はあ



はあ……

やっぱり私……
世の中知らない
んだなあ……

でもこれが普通
なんだよね……



御爺様……
楓です

カ
タ
ニ





はあ……

お前を不満に
思わせているのは
わかっている

だが大事な事
なのだ……

血筋を繁栄させるために
お前は七城家にとって
大事な存在……

わしの子どもらは皆
種無しやら不妊やらで
跡継ぎが見込めんのだ

呪われているとしか
言いようがない

ぽしょぽしょ

……そんな中に
唯一の孫である
お前がいる

いえ……あの……

どういうことか
わかるな？

そこで裸に
なりなさい

っっ!!

どこの良くない
種を残すわけにはいかん……

だからこれから毎月
わしが診断する
ことにした

楓……

きゃー

お…

脱げと言っておるんだ！

お前の裸なぞ
何度も見ておる

い今…
おつしや
なんと仰い…

御爺様…

身知らん相手でも
あるまいに…

今更恥じることか!?

モタモタするな！

はい！…

もっと早く
気づけば
よかったんだ…

この家がおかしい
ってマコトだ…

下着もだ!

何を戸惑う?!

昔はよく一緒に風呂に入っただろう? 裸になるくらいなんだ?

わしが診断することはひとつ…

お前が処女であるかどうか

えっ!?

い嫌!!

何を…

なさるおつもりですか?...

しいっ…

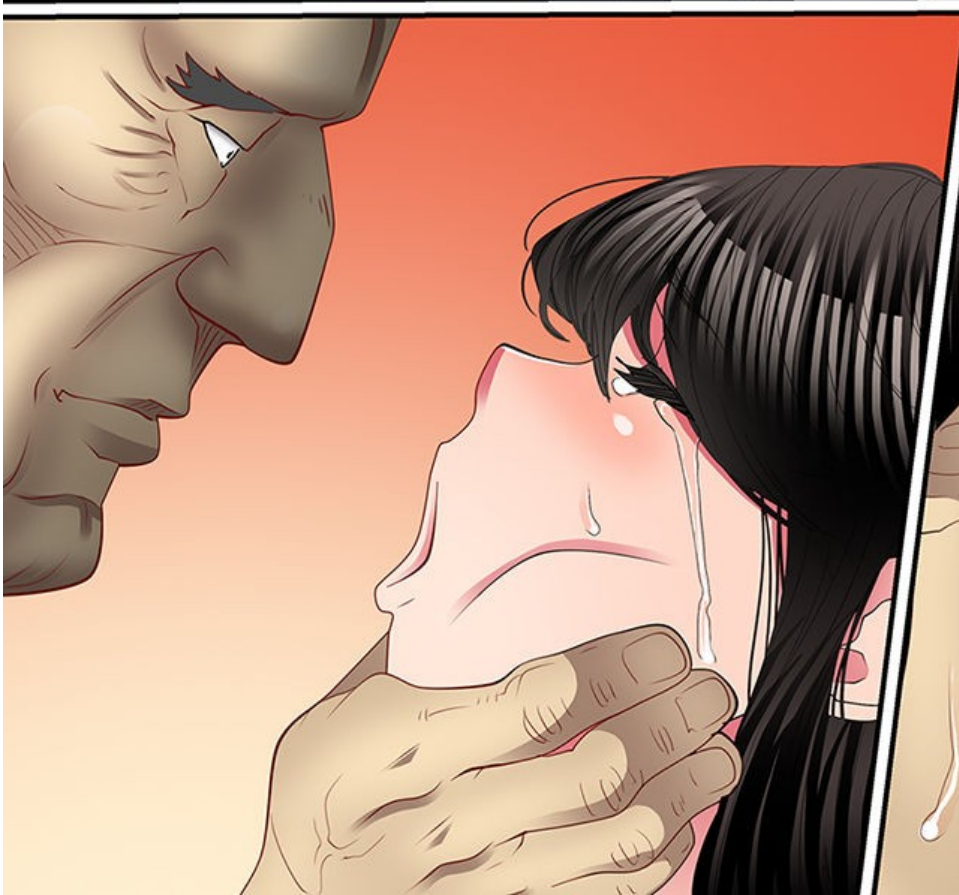
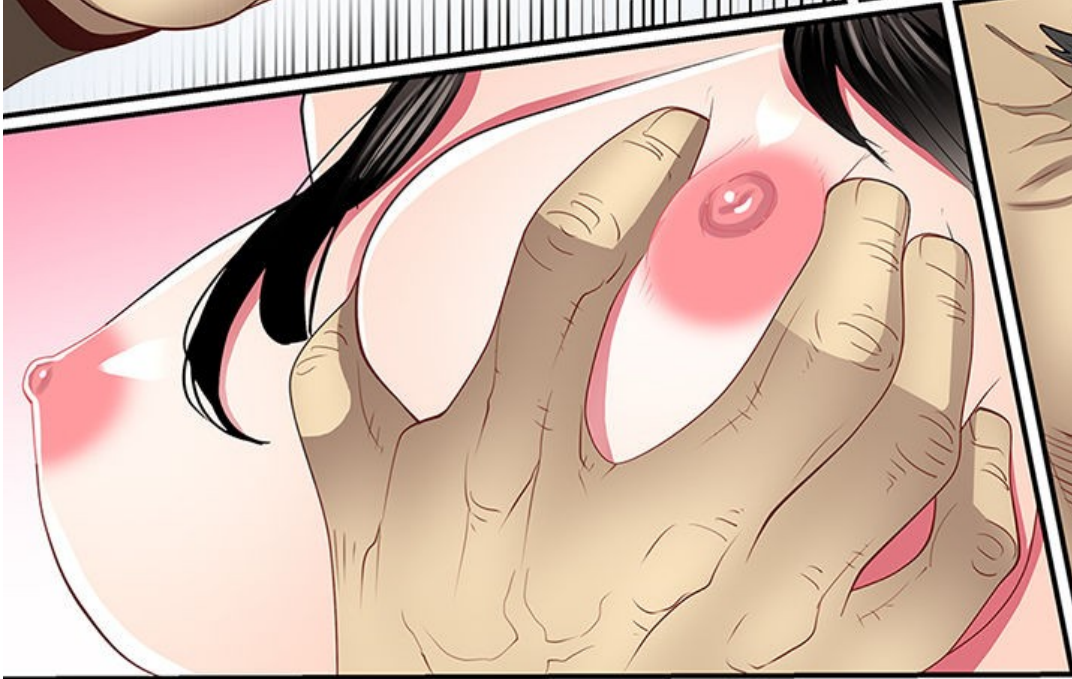
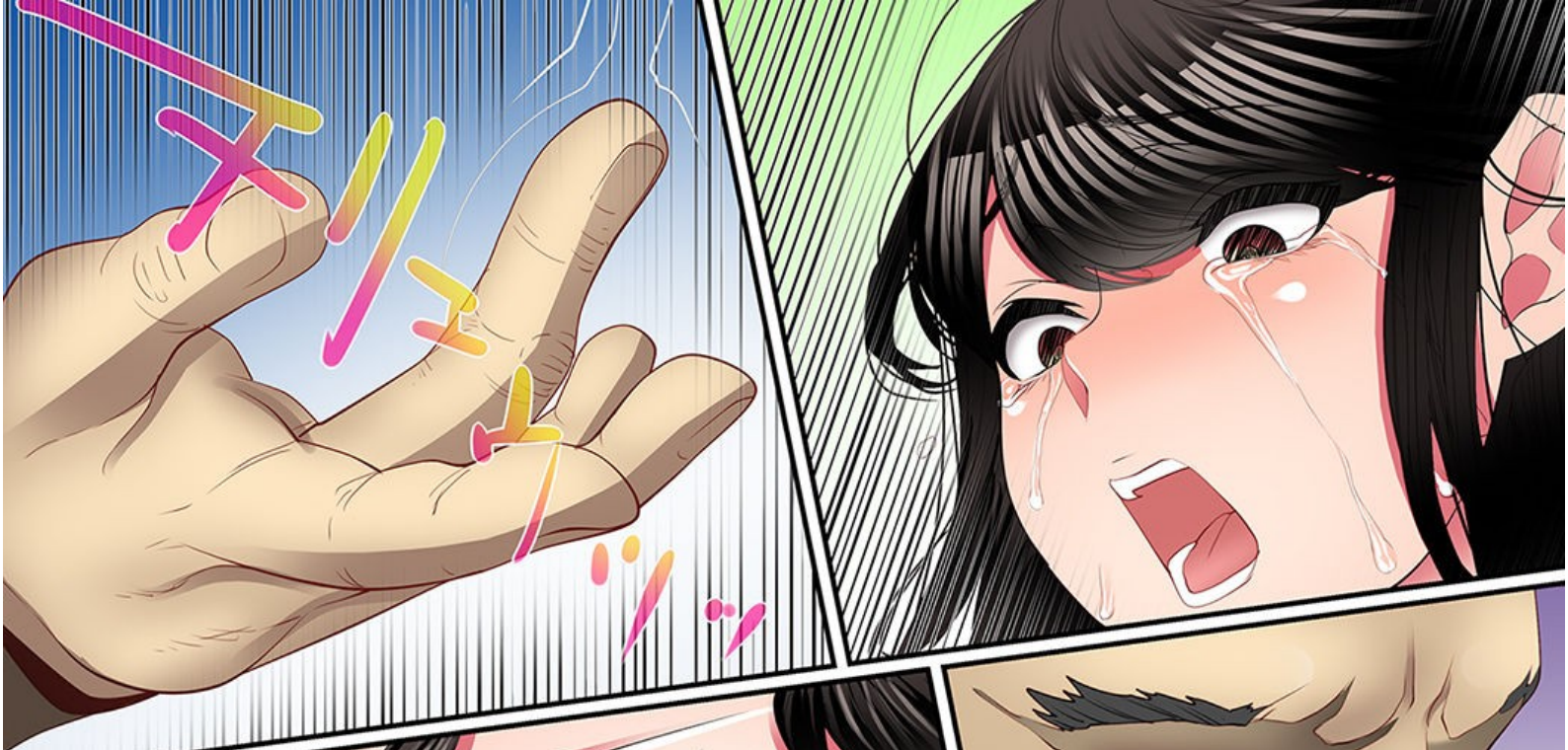
カッ コッ

カッ

セクッ

カッ…

ぐぐぐぐ…



きつ…菊池さん!!
大丈夫ですか!?

心
ロ
オ
ン
ン

泥だらけじゃ
ありませんか!!

ああこれ…

あはは…楓さんを
探しているうちに
その土手でね…

とにかく楓さんが
無事でよかった…

すまなかつた
ねえ…

大したことは
ないですよ…

私の肩に
掴まって…!

そんな…

こんなな怪我
してるのに…

すまなかつた…
楓さん…わしは…

あんたに甘えて
おったんじゃあ…

えっ…

たん…

甘えてただなんて...

ポロ

一人だと外もまともに歩けないのだ...

んがま

ポロ

私...そんな人を置いて出ていくなんて...!!

甘えてたのは私の方だ!!...

ごめんなさい 菊池さん...

とにかく...中に入りましょう...

温かいお茶でも飲んで...

お風呂に入って今日は寝ましょう...

ガラッ

ちんちん...

そろそろ...

楓さんに飲ませたお茶の催眠剤が効いている頃じゃろう...

ッ...

探すのに手こずらせ
おって…

おかげで二度も
風呂に入ること
になった…

だともう遊びも
これで終わりじゃ…

楓さん…

もう逃がす
わけにはいかん
……

これをしなければ
わしの復讐は
成り立たんのじゃよ…

だから悪いが…

あんたには犠牲になってもらう…

恨むなら…

爺様を恨むんじゃ…

そして七城努…

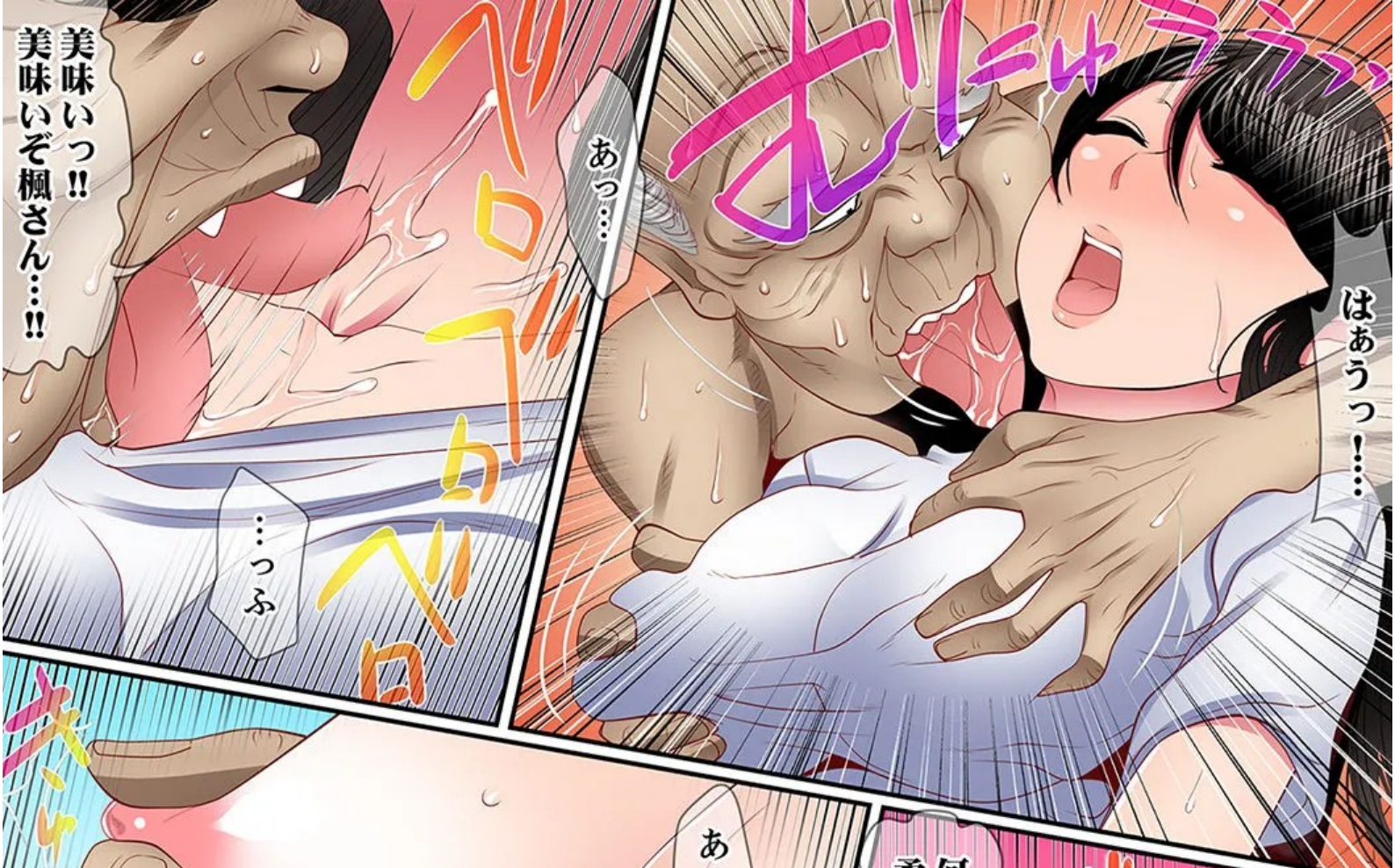
何とも皮肉な
ごとよのう…

貴様の愛するこの
孫娘の無防備な
寝姿ときたら…

暗がりにも白く光る
汗ばんだ肌がもう…

なんとも
美味そうじゃあ…

もう辛抱ならん…



美味いっ!!
美味いぞ楓さん...!!

あっ...

オレはやらう

はあうっ...

...っふ



あっ!...

何とも美味しい
柔肌じゃああ!!

ベロベロ

...ぐっ



ああっ!...

キキヤ
まな

それにこの...
この乳も!
手に吸い付いて
きおる!!

もみ

もみ

もみ

もみ



ふあああっ♡

せろ

楓さんっ!! 楓さんっ!!

あっ...

うん...

あああつ
楓さん...

なんと...
なんと艶めかしい
カラダなんじゃ...

本当は...本当は
こんなことしたくは
ないんじゃ...

ああつ
あんっ!

あむっ!

はぐっ!

あんっ!

あはっ

ぼぼ
もぞもぞ

わろわろわろわろ

ぶぐぐっ!! ぶぐぐっ!! ぶぐぐっ!!...

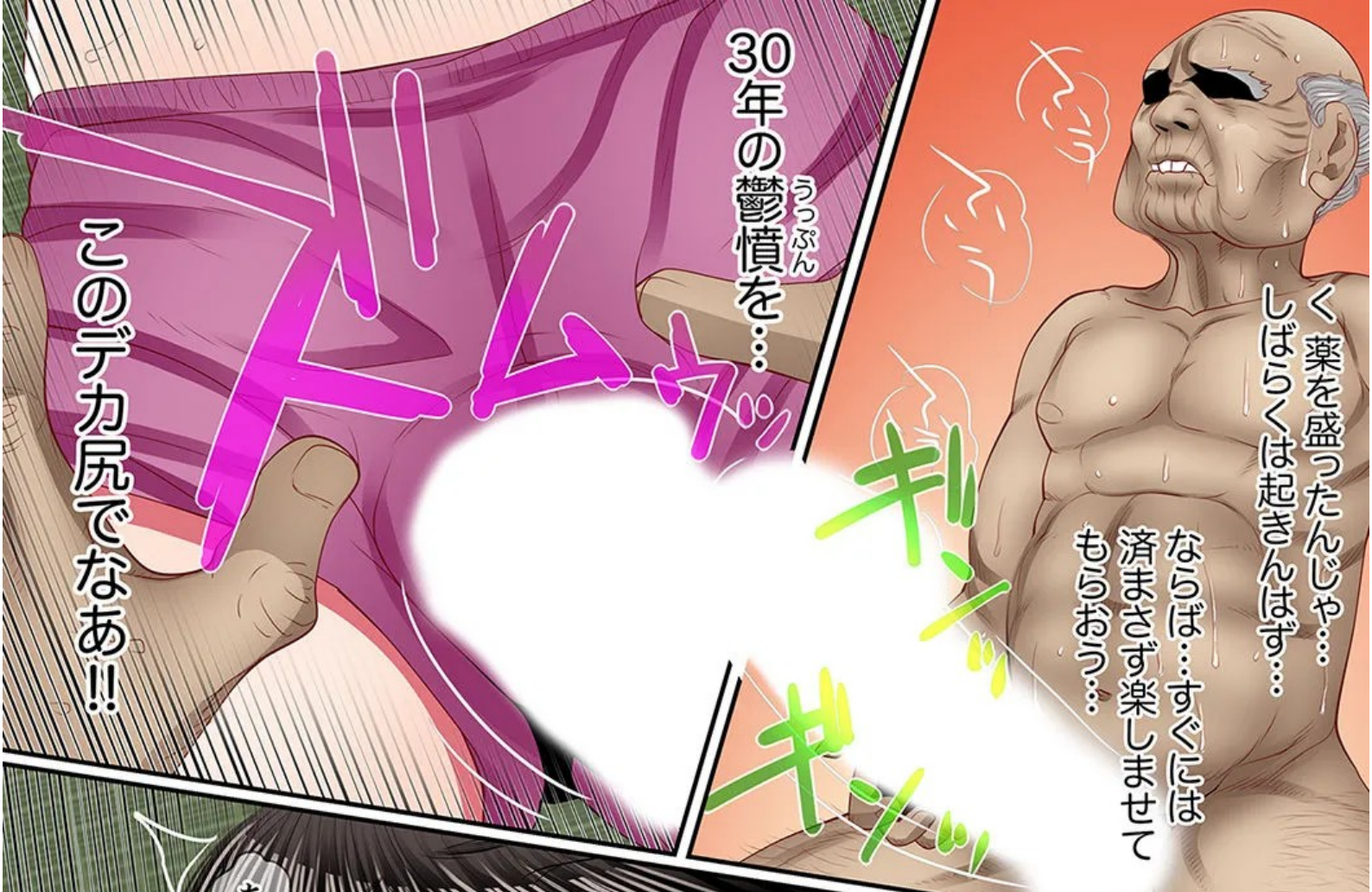
あっ♡

やああつ

このっ!!
このカラダめがつ!!

いちいちエロい
形をしおつて...!!

わしを狂わせよる!!



く薬を盛ったんじゃ...
しばらくは起きんはず...

ならば...すぐには
済ませず楽しませて
もらおう...

30年の鬱憤を...
うっぶん

このデカ尻でなあ!!



ほれっ!

ほれっ!

ほれほれえ!!

あっ♡

あっ♡

あ...

たっ...たまらんっ!!

たっ...たまらんっ!!

ぬおおおっ!!

ぬおおおおおおおお!!

ふっ…太ももの圧が…

んっ…

あっ…

尻が凄くて気持ちえええええ!!

いっいかん!!

つい果ててしまう
ところじゃった…

しかしこれは…

うくん…

これでは復讐にならん…

やはり直接
楓さんの粘膜に…

まるで…
天使じゃ…

改めて見るなんて
美しい…

しかし…こんな…
まだあどけなさを残る娘を…

わしは…

…うん…

クソっ!! 考えるな!!

心を鬼にするんじゃ!!

すまん!! 楓さん…!!

女ハ

クソッ
クソッ
クソッ

クソッ

はふっ!!

う美味いつ!!
美味いぞっ!!

む夢中で
舐めてしまっ!!

つく…

うっ…

はふうっ!
じゅるっ…

クソッ
クソッ

クソッ

なんじゃ…?

ん…

か楓さん…まさか…

んっ…

クソッ
クソッ
クソッ

うっ…

感じてるのか？...

ヤルヤル

こんな爺の舌で... 感じておるのか!?

たっ... たまらんっ!!

んくっ...

あ...あ...

この自わのうしろきめ細かやうらら... 柔らかく... 吸い付く肌とら...!!

甘い香りも... 味も...

あっ!

んう!

ふうんっ!!...

んくうらら ふうんっ!!...

赤く染まる頬も...!!...

うっ...

あああっ!...

楓さんの全てが わしを狂わせていく...!!

はぐはぐはぐっ!!
じゅるるっ!!
ゴクッ...ゴクリッ!
レロレロレロレロ
〜ッッッ...!!

ついさっき痛んだ 良心も吹き飛ばすほど...!!

ザッザッ

ザッザッ

…っはあああっっ!!

はあっ…

はあっ…

…は果てたのか?

わしなんかの
愛撫で…

か楓さん…

30年ぶりだからか…?

別れた妻も含め正直こんなに
興奮したことなどなかった…

た…
食べてしまいたい
くらいじゃ…
楓さん…

んっ

あ…

超えるぞ…
一線を

んっ…ああああ

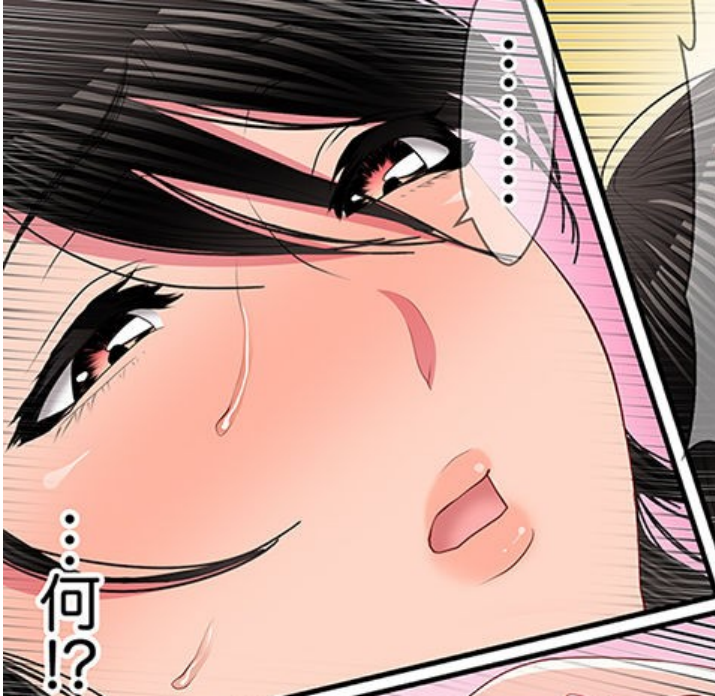
セクッ
セクッ
セクッ

セクッ
セクッ
セクッ

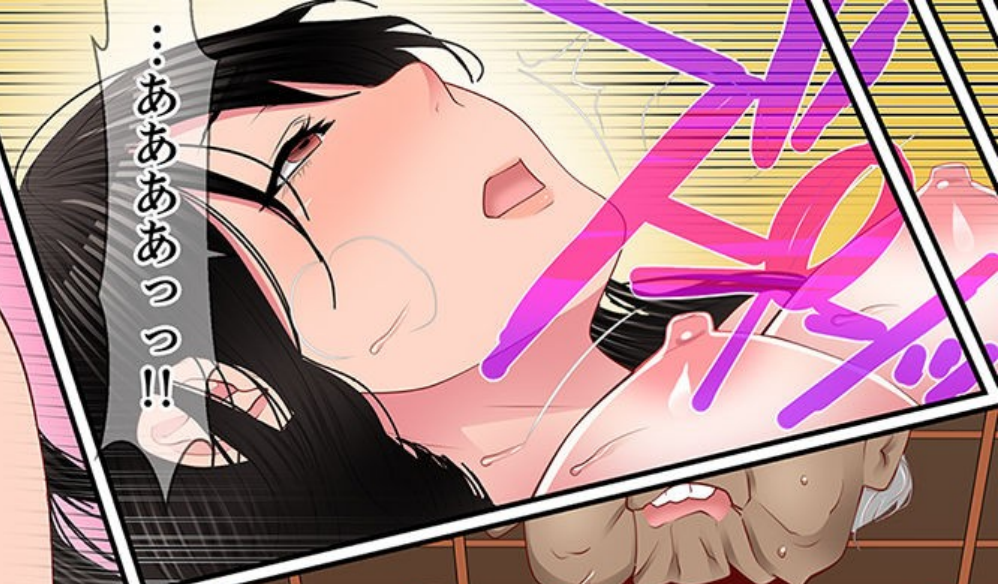
セクッ
セクッ
セクッ

ぬっ
ぬっ
ぬっ

…



何!?



ああああっ!!



えっ?.....

おぎゃうっ!!



いっ.....
嫌ああああ
あああああ
あああっ!!



おおおっ!!



気持ちいいん
じやな?
楓さん...

痛いくらいに
キュキュウ
締め付けて
きよる!

気持ちいいな...!!

あっ!

...あっ!あっ!
あっ!あっ!...

...っあ!!

ううう
ううう
!!...

ああんっ!

これは夢だ...夢なんだ!!

ああっ!

早く覚めてえええっ!!.....

あああっ

胸...

らめえええっ!!

あはあっ!

うあああ
あああっ!!

お願い!!
夢なら...

ふぐうっ!!
楓さん!!出るっっっ.....

あっ



おおおはよう
楓さん…

外が気持ち良くて
出とるんじゃあ…



おはよう
ございます
菊池さん…

昨夜はありがとう
ございました…



…ここにいたんですね



…でも…

そう思おうとした…



多分お風呂でのことが
シヨックであんな夢を
見たんだ…



やっぱり普通の
おじいちゃんだ…

…確かに
気持ちのいい
朝ですね



夢は毎晩のように
続いた…

あっ！…

あああああああ
~~~~っっ!!

あああっ!

夢の中で何度も菊池さんとセックスをした...

あっ!

何度も同じ夢を見るうちに...

あっ...

んんん...  
んんん...  
んんん...

あっ!

あっ!

あはああっ

次第に私の方から身体を動かすようになっていった...

ああんっ!

オーガズ△さん...

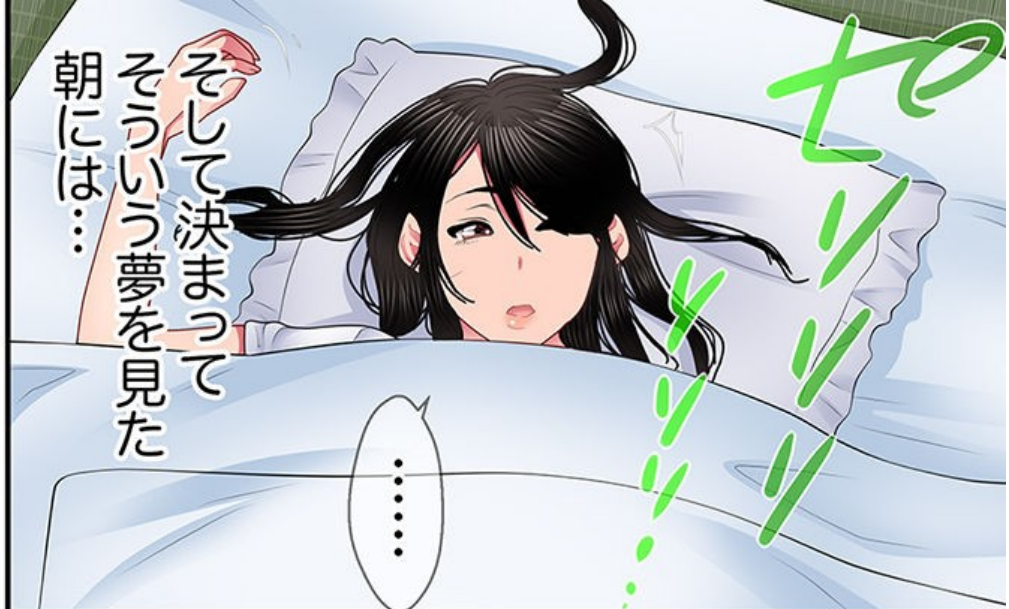
まるで現実のように鮮明で快感も本物のよう感じられた...

たほん たほん たほん たほん たほん

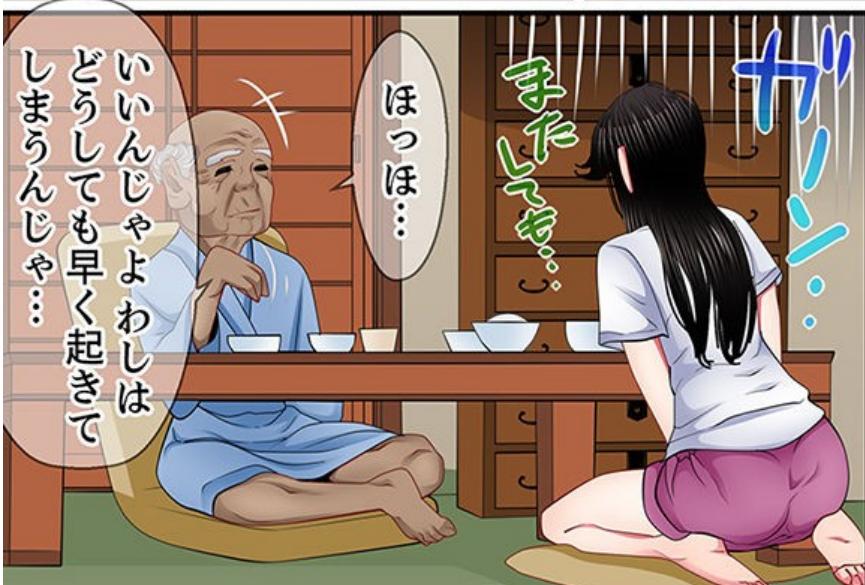
あああ あああ あああ



えええ!!もう!  
どうして起きられないの!?



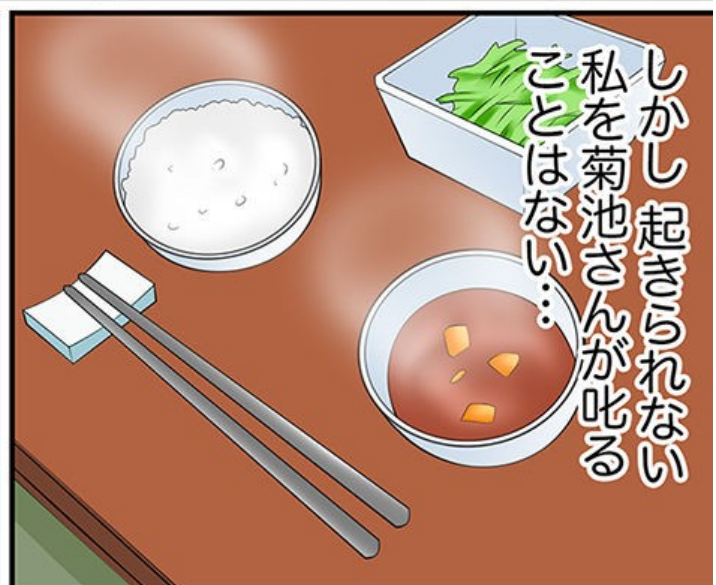
そして決まって  
そういう夢を見た  
朝には...



いいんじゃないよわしは  
どうしても早く起きて  
しまらんじゃ...

ほっほ...

またしても...



しかし起きられない  
私を菊池さんが叱る  
ことはない...



そんな奇妙な生活にも  
数週間経つ頃には  
慣れ始めている  
自分がいた...



足が不自由でかつ  
ほぼ盲目に近い老人に  
おかしい夢の事を問う  
わけにもいかず...



世間では私の失踪に  
ついて何か動きが  
見られるわけでも  
ない...

しかし事は密かに動いていた…

CAFE WEW

OPEN

本日のおすすめ  
メニュー

楓失踪の1週間後

ねえ君たちさ…

それって

きよは  
清羽学園の  
制服だよね？

ちよっと  
いいかな？

あつ…ここ…  
この人って…!!

…っっ!!

有名な伊東商事の  
一人息子…

っっ!!

い伊東裕也さん!!  
いとうゆうや

あもしかして僕の事  
知ってた？

あのさ君たちさえ  
よければ頼み事を  
聞いてくれないかな？

ある人を探して欲しいんだ…

もちろんお礼はするよ…





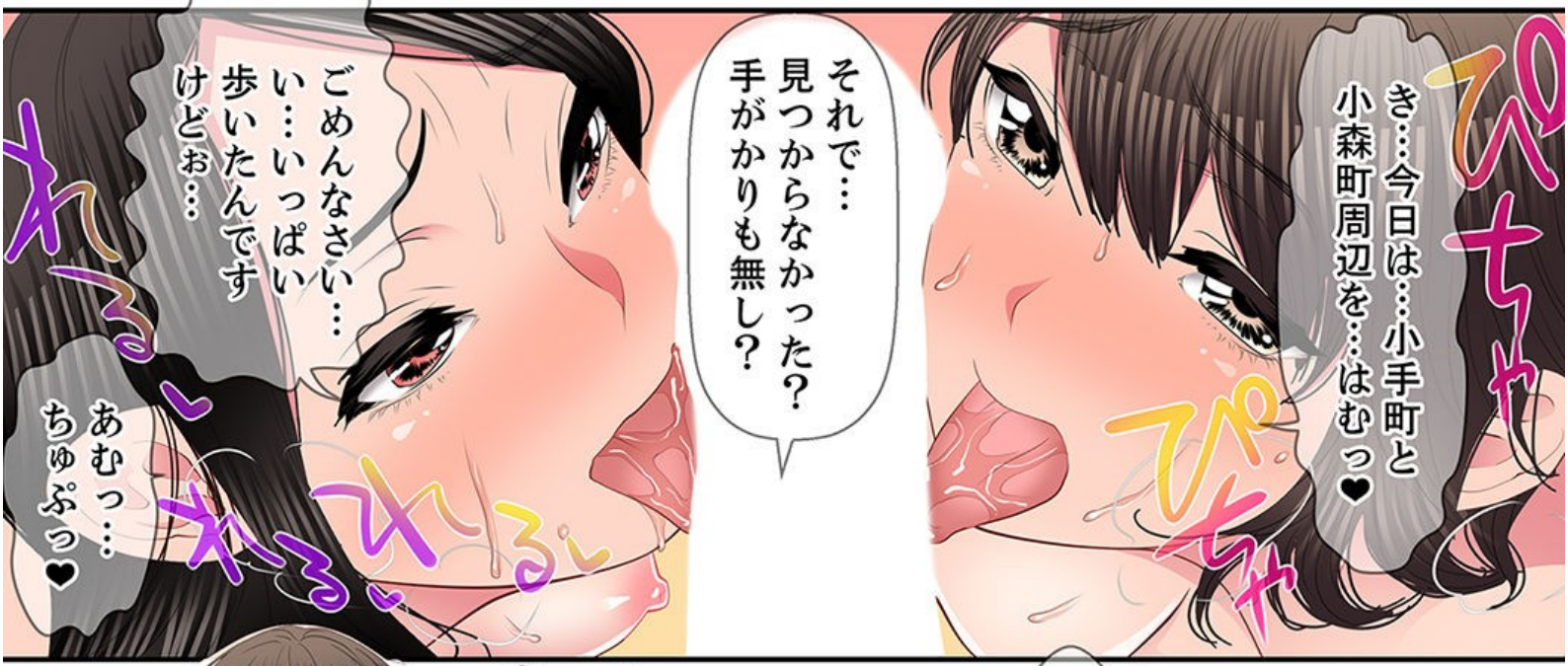


それで君たち  
今日はどこを  
探したの？

はむっ…

っは……

んっ…



ごめんなさい…  
い…いっぱい  
歩いたんです  
けどお…

それで…  
見つからなかった？  
手がかりも無し？

き…今日は…小手町と  
小森町周辺を…はむっ♡

あむっ…  
ちゅぷっ♡



あっ♡  
嬉しいです…

あんっ♡はあああ  
お…大っきい♡



今日のご褒美…  
入れてもいいよ

君から…ちゃんと  
ゴムはつけてね…



ふーん…

まあいいよ  
お疲れ様…



はあああ♡♡

七城さん



ああんズルい!  
私もお♡♡

あっ!

あんっ♡

おいで...  
キスしよっか...



あんっ♡

ああっ!  
裕也さん♡♡



あはんっ♡  
私も...それ気になりますう  
だって...

裕也さんが七城さん  
探すなんて...あんっ♡  
どうしてですかあ?

あんっ♡

あんっ♡

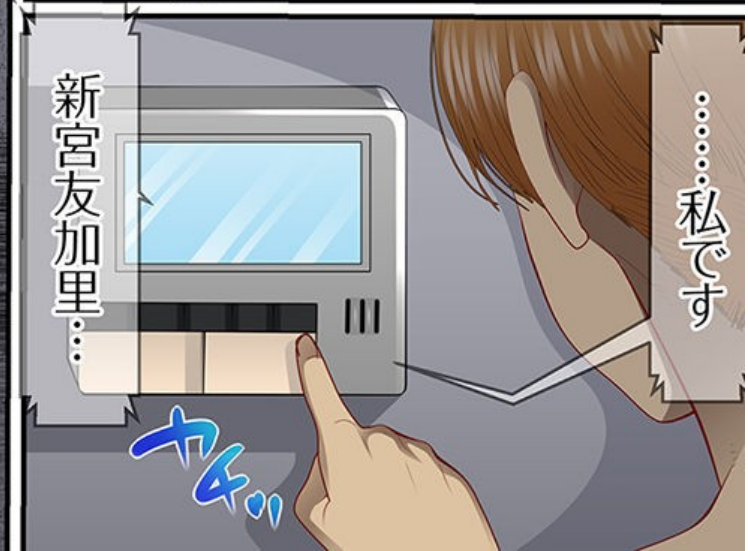
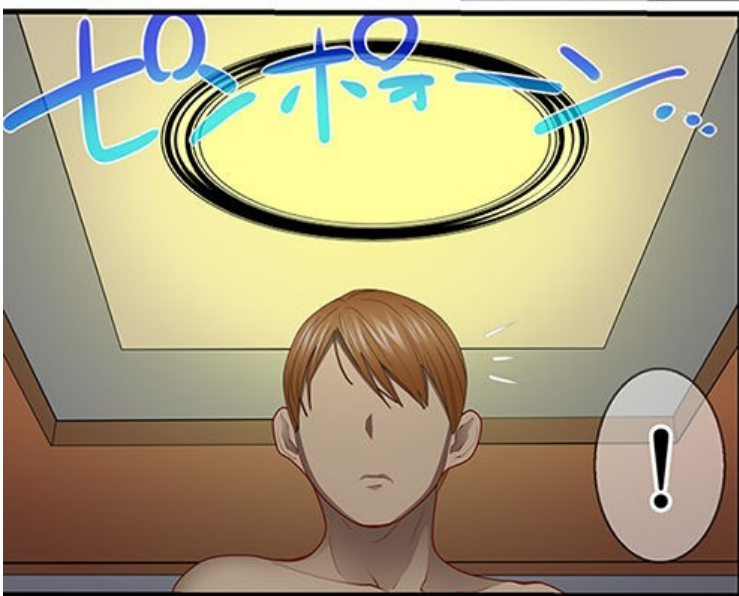


嬉しいっ!  
ああっ♡あっ...

ほっ

憧れの裕也さんと  
こんな風に繋がれる  
なんてええ♡♡♡

あんっ!でもお...  
七城さんと...あっ!  
どんな関係なんですかあ?





ありがとう  
助かったよ...

良かったら上がって  
行きなよ君も  
僕と...

結構です

私をどこぞのバカ女達と  
一緒にしないでいただけます？

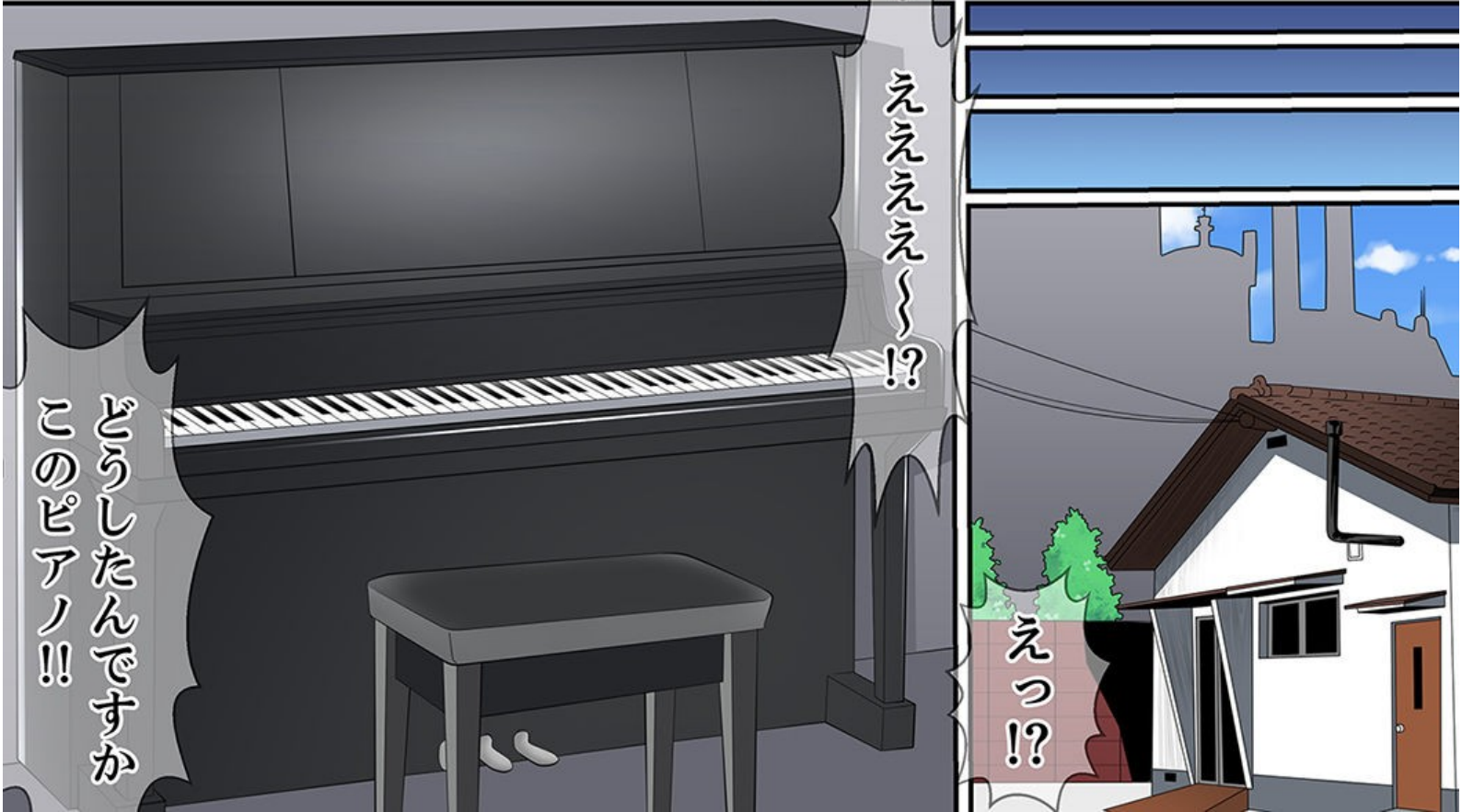


こんな2流マンションの  
小汚い部屋でなんて死んでも  
御免です.....

それにすねかじりで七光りの  
短小包茎ペ〇スもね...

.....

いいね...  
嫌いじゃないよ  
そういうの



えええええ〜!?

えっ!?

どうしたんですか  
このピアノ!!



そんな悪いですよ!

いいんじゃないよ  
もう捨てることも  
できないし...



これはあなたへの  
プレゼントです

えっ!? 私にですか!?

うん 安く譲り受けたんじゃ  
良いものではないが調律も  
してある



何か弾いて  
くれませんか?

はい!  
喜んで!

本当に  
ありがとうございます!!



それにひだまり園で  
あなたのピアノを  
聞いたから!

あなたを助ける  
気になったんです



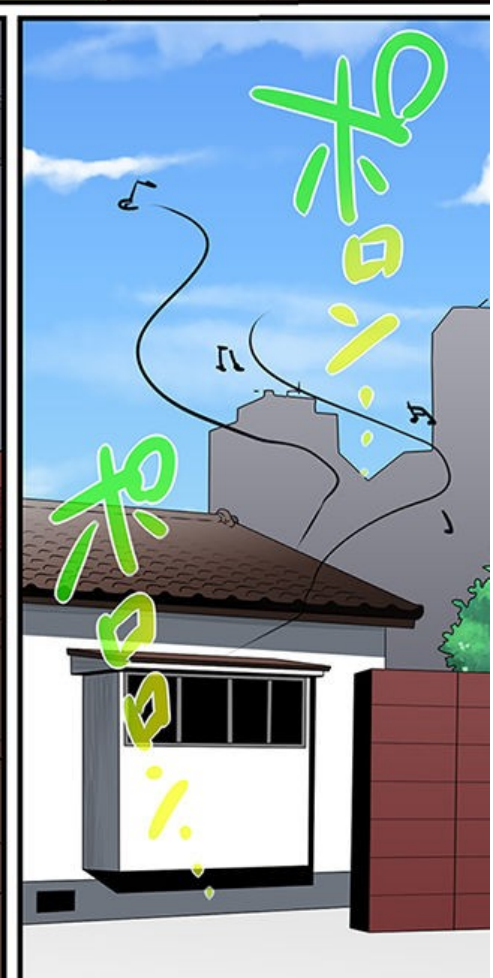
.....ふんふん.....

.....楓ちゃんみいっつけた.....!!!



.....!!!

.....この音色は.....



ホロリン!



大丈夫じゃよ…  
私は目が見えん…

そっ…そういう  
問題じゃ…!!  
恥ずかし…

…んああっっ!!

お奥までっっ!!……

ダメええええっっ!!

あっ!

いつも…  
これで何度も  
絶頂に達して  
しまっ…

あ—っっ♥♥  
イッチやいますら  
〜っっ!!

もう我慢できん!  
入れるぞ楓さん…!!

あっ……

お上品な言葉づかいも  
そそののう…

はふう…

はふう…

あっ

せゅ  
せゅ  
せゅ

ガッ  
ガッ  
ガッ

あ  
あ  
あ

んあ  
んあ  
んあ

あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ

避妊っっ…あああっっ!!

あつダメ!…

奥までっっ…

ふぐうっ!!  
締まるっっ…  
楓さんっっ!!

ふうりんっっ♥

ふんぐおおおおおっっ!!

気持ち良すぎてっ!!…

こっ腰がつ!!止まらんっ!!

いいかんっ  
もう出るっ!!

やつ!!…

ダメえっっ!!…

止まらんっっ!!

あっ!!…





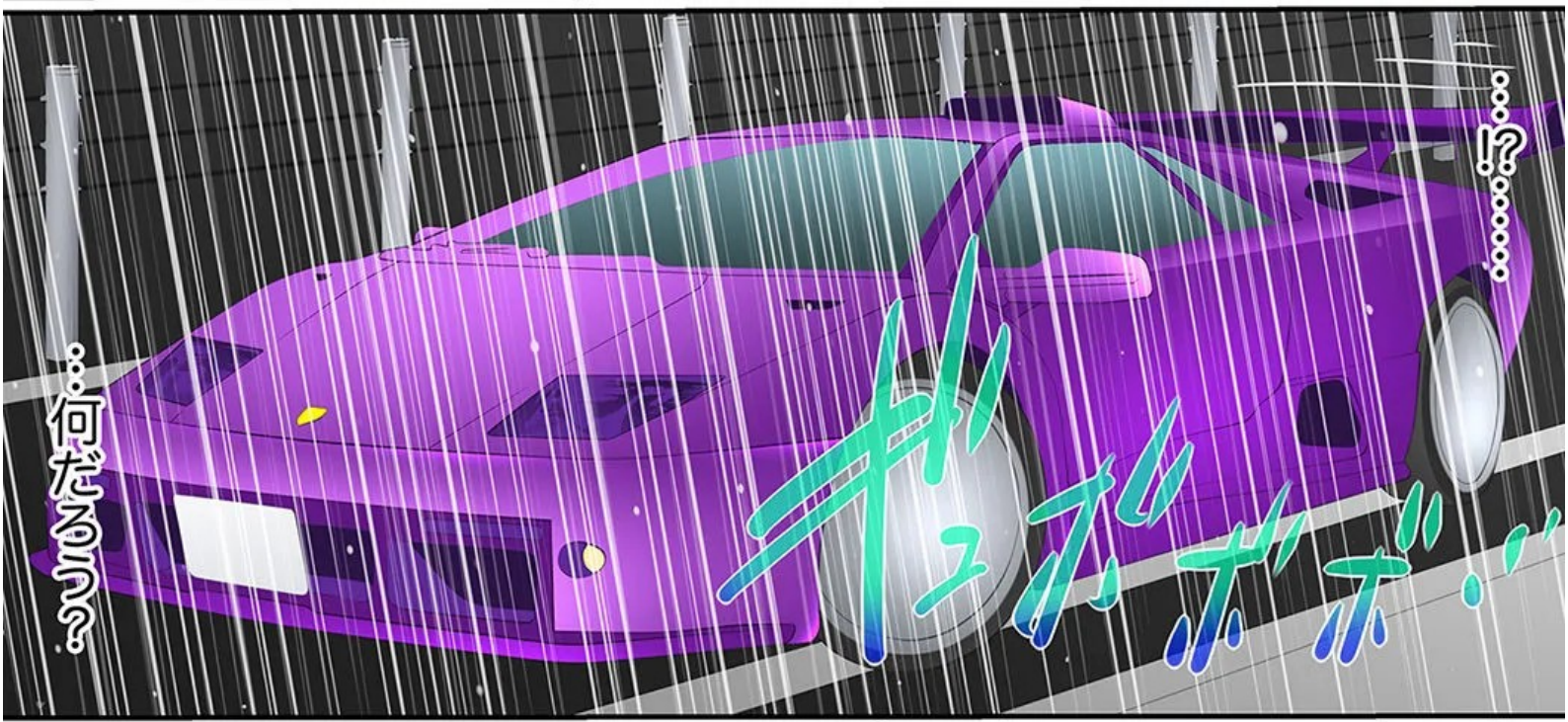
ちよつと遠出したのが裏目だったな...

こないだ新宮さんと出くわしちゃったから



〇×〇×駅 東口

はあ、あ...  
凄い雨...



?!

何だるん?



伊東さん...

あつ...え...  
どうしてここに...

.....まさか



...楓ちゃん?...  
楓ちゃんだよね!?

探したんだよ.....

クワッ

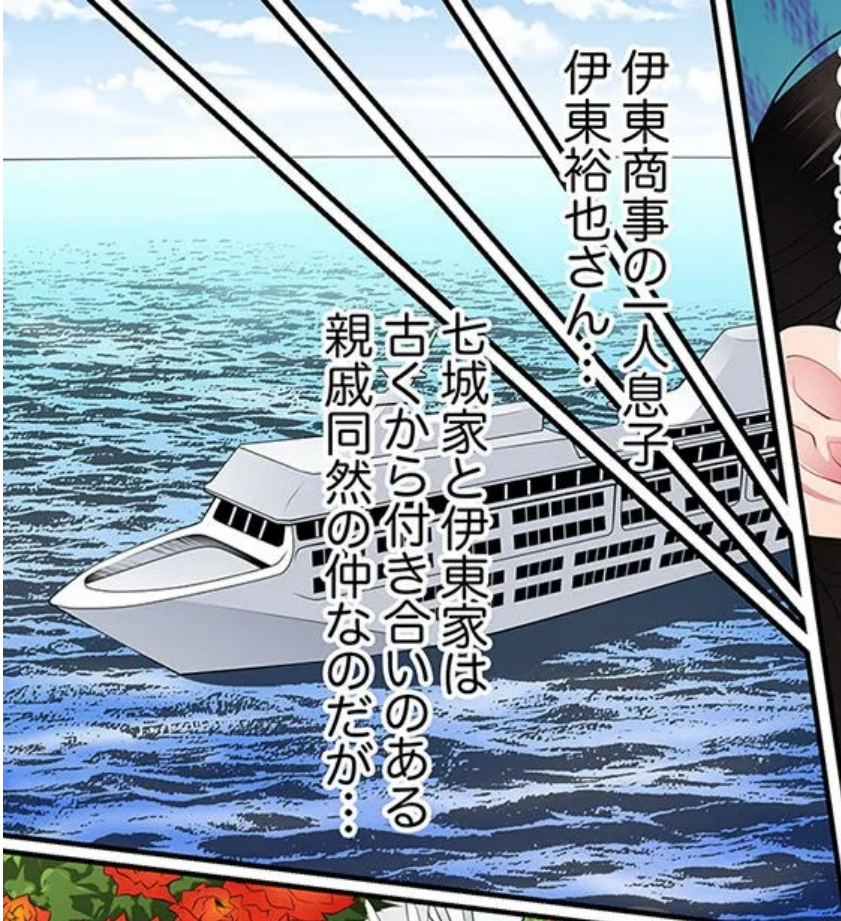
い嫌な人に見つかってしまった……

よりもよ……あの伊東さん……!!

わあ……

伊東商事の二人息子  
伊東裕也さん……

七城家と伊東家は  
古くから付き合いのある  
親戚同然の仲なのだ……



どうい……  
こうい……  
おごそかな  
パーティーの  
雰囲気や……

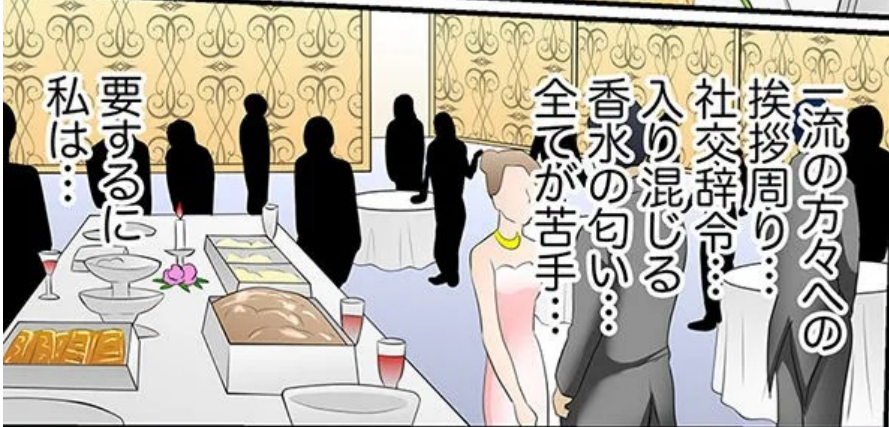


お誕生日おめでとう  
ございます!

おめでとう  
ございます!

私は昔からどうしても  
裕也さんが苦手だった……

ありがとう!  
皆さんお祝いに  
来てくださって!



一流の方々への  
挨拶周り……  
社交辞令……  
入り混じる  
香水の匂い……  
全てが苦手……

要するに  
私は……



そもそも……

お金持ちの家  
なんか生まれる  
べきじゃなかった  
んだ……

伊東さんは何とつか私と真逆で…

う…船酔いかな…  
なんだか具合が…

名家に生まれたことを勲章のように掲げている人だった

横暴で自信過剰…  
そんなイメージがあった…

もう部屋でゆっくゆっく…  
うん…

ガチャ…

だから小さな頃から伊東さんを心なしか避けていた…

ところがあの夜…

待って！  
楓ちゃん！！

えっ？

僕も入れて！

あっ！あの…

やあつと面倒な取り巻きから解放されたよ…

疲れるっつらないよね…

……

ワタシ

ガチャ…

ありがとう：  
かくまってくれて：

ちなみにまだ楓ちゃんからは  
おめでどうの言葉を  
もらってなかったな：

あとおめでどう  
ございます！

ごめんなさい！  
私…具合が…その…

あまり…

またまたあく！！僕の事  
あからさまに避けてる  
くせに！！

ショックだなあく！！

ホッ  
ホッ

いいじゃん僕ら  
幼馴染なんだ  
からさ！

気を遣わずに  
仲良くしよーよ！

ほらほら添い寝  
してあげるから：

具合が悪いなら  
一緒に寝ようよ  
楓ちゃん♥

やめてくださいいつ…

お茶を淹れます  
から：

飲んだらパーティに  
戻ってくださいね！

……

きやつ!!...

なつ.....

何をっっ.....

楓ちゃんってさ.....

知ってた？

俺たちいずれ結婚するんだよ？

やつぱり  
なあくんにも  
知らされて  
ないんだ...

残念だね

えっ？

.....  
かわいそうに

僕が結婚  
相手で...





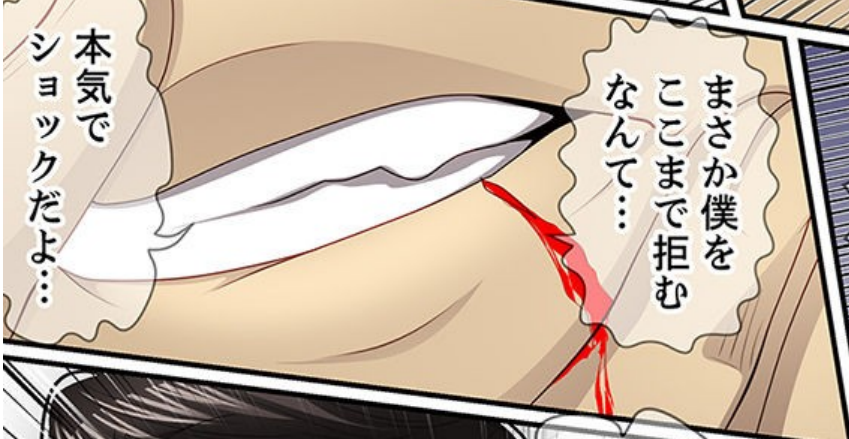
んっ!?

んんんっっ!!

びるんっ

んん—っっ!!

バァバァ



本気で  
シヨックだよ…

まさか僕を  
ここまで拒む  
なんて…



うっ!!

この…!!



本気で  
ムラムラ  
してきたよ!

ひっ!!…



でも燃えてきた…!!

この予想外な  
感じ…

ちよっと  
からから  
つもりが…

君のおじいさんは  
名家として  
政治家として  
力を発揮し  
続けるために

嫌あああつ!!

伊東商事とは仲良く  
あり続けなければ  
ならない

やめてっ!!

ウチも同じさ

触らないでっ!!

だから両家の  
結束を固めるのに  
一番手っ取り早くて  
確実なのは...

僕と君が結婚して  
家族になることさ

ううっ!!

どうせあと数年後に  
結婚するんだしさ...

私の人生って...

い...

もうやっちゃったっ?

もう決められ  
てるの...??

そんな...!!

嫌ああ.....

...今こじで...

お父さん...  
お母さん...

あの時私の脳裏に  
浮かんだのは…

おらっ!  
これがいいのか!?

叩かれるのが  
好きなんだろ!?

あひいっ!

父と母の「アヒマ」

おっと楓ちゃん…  
もう観念しちゃった?

まあ叫んでも誰にも  
聞こえないしね…

抵抗しないん  
だったら…

~~~~  
っっ!!…





君が乗らないなら
僕もここでこうして待つ

目立つと思うけどな
君にとってが一番
困るんじゃないか？

大丈夫おじいさんの
所へは行かないから…

君が行きたい
ところまで
送るよ

で…ではお願い
致します…

小森の交差点の方に
向かっていただけ
ますか？…

…了解

いやそれにしても…
本当に探したんだよ…
御爺さんがほら…

捜索を警察に頼みたがらない
だろう？

だから僕らも駆り出されて
大捜索さ

でも君が無事で安心した

ご迷惑を
おかけしました…

う…いきなり本題か…



楓ちゃん…

…あの日以来
余計避けるように
なっただろ…?

……

……



わ私の心…
読まれているの？

怒らないでよ
自分でも
わかってるんだ
話題が直球
すぎるってね

怒らないでよ



またまた
ど直球…

ドキッ

えっ!?!う…



やっぱり好きに
なれない…
この感じ…

僕は人生が短いと
思ってる人間だからね
たく生きるために
なんでも手間を
省きたいんだ

……

ズ…





あの…母は…

ごめんね
あれウソなんだ…

…えっ?…

楓ちゃんが家に
帰りたくない理由はわかる

でもあんな見ず知らずの
老人の家に住み込む
なんてよくない!

だからこの僕の
部屋を使ってよ



あああ!
帰らせてください!!

フッ

さうは
いかない

きゃああつ!!

何するん
ですかっ!!

あのっ!

僕の婚約者が
見知らぬ老人の
家で男女二人
きりとは…

捨て置けないよ
楓ちゃん…

まだっ!
結婚するって
決まった
わけじゃ…

ひゃあっ!

どっちがいい？

しお

!?

御爺さんに居場所を
ばらすのと...

ここで僕と
新婚生活を
始める...

こっちの方が
いいと思うなあ...

結婚するって
決まってるん
だよ!!

ガッ

やっぱり...
好きになれない!!

つつ!!.....

ああ~~~~.....

ガッ

どっちを選んでも
地獄だとは思うけどね...

まあ早いうちに
僕って人間に
慣れといた方が
いいんじゃない？

ショックだよホント…
僕ってお爺さん位
嫌われてるの…？

これでも僕君に
謝りたかったん
だから…

あの日からずっと
後悔してたんだ…

なぜゲロ吐かれた
くらいのこと…

君ほどの女を
抱かなかったんだ
ろうなって…!!

ひっ!!…

あの時から…

何も変わってない!!

か変わってない!!…

14

でも決まってるんだ
運命はね…

うっう

あっ！

お爺さんの
敷いたレールの上を
行く人生は嫌だよな…

んんんんん

おんんんんん

んんんんん

んんんんん

欲しいものは
手に入れる…

君は僕と
結ばれる…

嫌われていようと
何だろうとね…

君が拒んでも
これが現実さ!!



To be
continued...





ドキドキの数だけ
エッチがある



かわいい女の子に心も体も満たされて…♡



たっぷりドキドキ

めしあがれ♡

Hな大人のための電子コミック

エロマンガ島

新作・人気作が大好評配信中!

エロマンガ島

歪んだ復讐セックス ～少女の蜜奥まで捻じ込まれて…！ 【完全版】 1

発行日 2019年 4月 1日

著者 ころすけ

発行 モバイルメディアリサーチ

この物語はフィクションです。登場する人物・団体・名称等は架空であり、実在のものとは関係ありません。
本作品の全部あるいは一部を無料で複製・転載・配信・送信したり、ホームページ上に転載することを禁止します。
本作品の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。